



三重大学 (三重県)



教育学部(研究科)で指導教員制度により、きめ細かい指導を実施。

◇大学紹介

○大学の概要

三重大学は総合大学で、人文学部、教育学部、医学部、工学部、生物資源学部の5学部があります。また、大学院は6研究科があります。キャンパスは、津市にあります。自然環境に恵まれ、キャンパスのすぐ東側には海岸の波が打ち寄せ、北西には鈴鹿の山が連なります。

また、三重大学の国際化の中心となる組織として、国際交流センターがあり、外国人のための日本語教育、英語による国際教育、夏季休暇中に海外の協定大学から招いた学生を対象としてサマースクールなどを行っています。

○国際交流の実績

・留学生数

266名(2011年11月1日現在)

・受入実績

2005年度	1名	(ミャンマー)
2006年度	1名	(ベネズエラ)
2007年度	1名	(メキシコ)

◇教員研修コースの概要

○プログラムの特色

教育学部(研究科)において、指導教員制度により、きめ細かい指導を実施します。

○受入定員

各分野毎に1名(一部は2~3名)

○研修コースの概要

・日本語教育

国際交流センターの日本語研修コースで、6ヶ月間集中して、基礎的な日本語及び日本事情の教育を受ける。

留学生の希望により、国際交流センターの日本語補講を受講することができます。

また、教育学部留学生担当教員による日本語指導も随時行われます。

・専門教育

留学生が希望する研究テーマにより、1年6ヶ月間、指導教員の指導の下で、個別に研修を行います。

・見学・地域交流等の参加型科目

特に設定されていません。ただし、指導教員や学部国際交流委員会等からのアドバイスにより、教員研修留学生の立場を生かし、大学近くの学校を訪問し、母国の学校生活について、児童生徒に教えることが可能です。

・その他

国際交流センター、留学生支援室が主催する行事等に参加できます。

◇修了生へのフォローアップ

教員研修修了後も、Emailや三重大学卒業生Moodle等を用いて、情報交換を進めていきます。

◇宿 舎

大学の近くには、各種設備の完備した「a. 外国人留学生会館」・「b. 外国人留学生寄宿舎」・「国際女子学生寄宿舎」があります。本プログラムの留学生は、このいずれかで生活します。

○宿舎数

- ・単身用 a. 30室 b. 52室 c. 25室
- ・夫婦用 a. 5室
- ・4人部屋 b. 8室(女子のみ)

○宿舎費

- ・単身用 月額 a. 5,900円 b. 13,000円
c. 5,900円
- ・夫婦用 月額 a. 11,900円
- ・4人部屋 月額 b. 6,500円(1人当たり)

○宿舎設備・備品

ユニットバス(a・c)、トイレ、エアコン、ベッド、冷蔵庫、机、椅子、洋服タンスなど。

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

周辺には、コンビニエンスストア等があり、生活に困ることはありません。

◇問い合わせ先

大学所在地：〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
担当部署：三重大学 学務部

学生サービスチーム留学生支援室

連絡先 TEL：+81-(0)59-231-9688

Fax：+81-(0)59-231-9058

E-mail：ryugaku@ab.mie-u.ac.jp

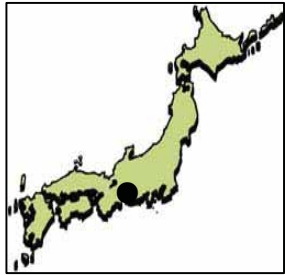
三重大学ホームページ：http://www.mie-u.ac.jp

国際交流センターホームページ：

http://www.cie.mie-u.ac.jp

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

教 育 学 部						
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）
27001	須曾野 仁志 教授	susono@edu.mie-u.ac.jp	学習科学、教育メディア	電子ポートフォリオとしてのデジタルストーリーテリング、語学用コンピュータ学習プログラムの開発、遠隔学習。	1-2人	受入条件：講義を理解できる日本語能力を有すること。 受入実績：なし
27002	下村 勉 教授	simomura@edu.mie-u.ac.jp	教育工学、情報教育	教育におけるICT(Information and Communication Technology)の活用、情報教育用教材の開発。	1-2人	受入条件：講義を理解できる日本語能力を有すること。 受入実績：タイ、1名
27003	松岡 守 教授	matsuoka@edu.mie-u.ac.jp	技術教育、知財教育	創意工夫を要するものづくり教材開発を通じて技術教育および知的財産教育手法を体験的に学ぶ。	1-2人	受入条件：日本語ないし英語により意思疎通が可能である者。
27004	松本 昭彦 教授	amatsu@edu.mie-u.ac.jp	日本中古、中世文学	『土佐日記』『和漢朗詠集』等について、原文を綿密に読解し、注釈を更新する。	1人	受入条件：日本語能力試験 N1合格 ・『土佐日記』『和漢朗詠集』等の古典文学作品が、原文で読解できること。 受入実績なし。
27005	秋元 ひろと 教授	hakimoto@edu.mie-u.ac.jp	哲学	高等学校の学習内容にかかわる哲学、倫理学、思想史。	1人	受入条件：哲学、倫理学、思想史の学習経験、日本語または英語の能力を有すること。 受入実績なし。
27006	荒尾 浩子 准教授	arao@edu.mie-u.ac.jp	英語教育	日本の英語教育の理解、課題。英語学習者論、英語教育教材における異文化要因、諸外国の英語教育など。	1-2人	受入条件：英語教育や第二言語習得に関連する英語の文献を読みこなすのに十分な英語読解力と英語教育に関する基本的な知識を有すること。



滋賀大学 (滋賀県)



留学生の研究テーマに関連の専修講座の教員による個別指導と関連講義の受講を基本とし、県内外の教育機関等の見学や諸行事に参加できます。

◇大学紹介

○大学の概要

本学は大津市と彦根市にキャンパスが分かれており、大津市には教育学部と大学院教育学研究科が設置され、彦根市には経済学部と大学院経済学研究科が設置されています。

教育学部には学校教育教員養成課程、及び環境教育課程の2つの課程が、教育学研究科には、「学校教育専攻」、「障害児教育専攻」及び「教科教育専攻」の3専攻が設置されています。キャンパスは琵琶湖岸に近く、勉学にもスポーツや文化活動にも恵まれた環境にあり、また、京阪神への交通の便もよく、容易にその文化に接することができます。

○国際交流の実績

・留学生数(平成23年5月1日現在) 266名
(うち教員研修留学生 1名)

・受入実績

本学とミンガン州立大学(アメリカ合衆国)、ディーキン大学(オーストラリア)、チェンマイ大学(タイ)、40ラジャパット地域総合大学(タイ)、ハノイ教育大学(ベトナム)、東北財経大学(中国)、グアナファト大学(メキシコ)、モンゴル人文大学(モンゴル)、啓明大学(韓国)との間で学術交流協定が結ばれ、短期の学生交流をはじめとして、留学生の派遣による教育研究等の相互協力が図られています。

◇教員研修コースの概要

○プログラムの特色

本学大学院教育学研究科は、初等、中等教育及び教師教育に関する教授法の追求、授業分析法の研究、カリキュラムの開発について力を入れています。また、本学は琵琶湖畔に位置していることから、環境科学や環境教育、地域社会環境や陸水科学の研究が盛んで、このような分野に関心を持つ留学生を積極的に受け入れています。

○受入定員 5人

○研修コースの概要

・日本語教育

2012.10～2013.3

文部科学省指定の大学で日本語予備研修を受講します。

2013.4～2014.3

本学の日本語に関する授業を受講します。

・専門教育 2013.4～2014.3

留学生の研究テーマに関連する専修講座の指導教員による個別指導及び関連の講義を受講します。授業は日本語により行われ、必要に応じて、英語による説明を加えて授業を行っています。

・見学・地域交流等の参加型科目

野外実習を含む実験実習に参加したり、附属学校等の見学、他機関主催の行事等に参加できます。

◇留学生へのフォローアップ

メール等による情報提供によりデータベースを作成し、ネットワーク作りに取り組んでいます。母校に招待するプログラム(講演やセミナー等への出席)を実施しています。

◇宿舎

○宿舎数 学生寮は、全室単身用
(男子28室、女子39室)

空き室があれば留学生も入居可能

○宿舎費 1万5千円程度。電気代実費

○宿舎設備・備品

風呂、トイレ、調理施設は共用。

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

大学周辺(徒歩10分以内)には多くの民間アパートがあり、家賃は月額4万～5万円程度。

大学の周りには、スーパーマーケット、銀行、郵便局、コンビニエンスストアがあり、最寄りのJRの駅まではバスで10分くらいです。

◇問い合わせ先

大学所在地:滋賀県大津市平津2丁目5の1

担当部署 :滋賀大学教育学部学生・就職支援係

TEL: 077-537-7708

FAX: 077-537-7861

E-MAIL : soudan@edu.shiga-u.ac.jp

ホームページアドレス:

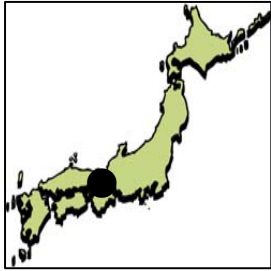
<http://www.shiga-u.ac.jp/index.html>

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

教育学研究科						
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学の能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
28001	喜名 信之 教授	kina@edu.shiga-u.ac.jp	教育史	日本の教育の歴史	1名	
28002	近藤 文良 教授	-----	教育心理学	児童・生徒の動機づけ		グアテマラ 1名
28003	兒玉 典子 教授	kodama@edu.shiga-u.ac.jp	発達心理学	初期経験		
28004	井上 毅 教授	-----	認知心理学	記憶、認知過程		
28005	遠藤 修一 教授	endoh@edu.shiga-u.ac.jp	地球環境学	地球環境に関する科学と教育	1名	
28006	市川 智史 准教授	-----	環境教育	初等教育を中心とした環境教育実践論及び教育プログラム開発	1名	
28007	松原 伸一 教授	matsubar@edu.shiga-u.ac.jp	情報教育	高度情報通信社会と情報教育	1名	
28008	宮田 仁 教授	miyata@edu.shiga-u.ac.jp	情報教育	学校教育における情報教育の教材開発	1名	日常会話レベルの英語の能力を有するもの ・ ペルー 1名
28009	岩井 憲一准教授	iwai@edu.shiga-u.ac.jp	情報教育	学校教育におけるWebアプリケーションの開発	1名	日常会話レベルの英語の能力を有するもの ・ フィリピン 1名
28010	近藤 文里 教授	-----	障害児心理学	発達障害児と脳損傷児の神経心理学的研究	1名	
28011	黒田 吉孝 教授	kuroda@edu.shiga-u.ac.jp	発達障害学	知的障害児、自閉症児、学習障害児の発達と障害の研究	1名	日本語か英語を習得していること ・ ガーナ 1名

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学 の能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入 国、人数)
28012	秋山 元秀 教授	akiyamam@edu.shiga-u.ac.jp	人文地理学 歴史地理学	地域調査を通じての日本の地域性の理解	1名	
28013	木全 清博 教授	kimata@edu.shiga-u.ac.jp	社会科教育 授業方法	①滋賀県教育史 ②社会科教育史 ③アジア・オセアニアの社会科教育	1名	ブラジル 1名
28014	早川 洋行 教授	hayakawa@edu.shiga-u.ac.jp	社会学	日本の地方自治・地方政治・地方文化	1名	
28015	岸本 実 教授	minoruk@edu.shiga-u.ac.jp	社会科教育学	①市民教育 ②社会科教育 ③教育評価 ④授業研究	1名	
28016	高澤 茂樹 教授	takazawa@edu.shiga-u.ac.jp	数学科教育	数学教育における認識論的研究	1名	
28017	杉江 徹 教授	sugie@edu.shiga-u.ac.jp	代数学	代数曲線、整数論		
28018	神山 保 教授	kohyama@edu.shiga-u.ac.jp	統計物理学	統計物理学	1名	
28019	大山 真満 准教授	ohyama@edu.shiga-u.ac.jp	天文学	太陽・天文学	1名	
28020	杉江 淑子 教授	norioaka@edu.shiga-u.ac.jp	音楽教育学	音楽科の教材研究	1名	
28021	若林 千春 教授	wakabaya@edu.shiga-u.ac.jp	作曲	作曲・音楽の理論	1名	
28022	犬伏 純子 教授	inubushi@edu.shiga-u.ac.jp	音楽 (ピアノ)	ピアノ演奏法	1名	
28023	林 睦 准教授	hayashi@edu.shiga-u.ac.jp	音楽教育	地域と連携した音楽教育	1名	
28024	村山 勤治 教授	murayama@edu.shiga-u.ac.jp	武道論	武道論	1名	
28025	平井 肇 教授	hirai@edu.shiga-u.ac.jp	スポーツ社会学	スポーツ・レクリエーションの社会的分析	1名	

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学 の能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入 国、人数)
28026	辻 延浩 教授	ntsuji@edu.shiga-u.ac.jp	保健体育科教育	課題解決的学習の方法原理	1名	ブラジル 1名
28027	三浦 幹夫 准教授	miura@edu.shiga-u.ac.jp	スポーツ運動学	スポーツにおける運動フォームに関する研究	1名	
28028	千葉 訓司 教授	kchiba@edu.shiga-u.ac.jp	流体力学	非ニュートン流体および繊維懸濁液の流れの数値解析	1名	
28029	磯西 和夫 教授	isonishi@edu.shiga-u.ac.jp	粉末冶金 金属間化合物	新しい金属材料の創製	1名	
28030	大嶋 彰 教授	kchiba@edu.shiga-u.ac.jp	絵画制作及び理論	絵画の空間構造に関する研究	1名	
28031	橘 美知子 准教授	mtachiba@edu.shiga-u.ac.jp	美術科教育	創造的意識体験を促す教材開発	1名	日本語を習得していること
28032	谷田 博幸 教授	tanita@edu.shiga-u.ac.jp	西洋近代美術史	英国ヴィクトリア朝の美術	1名	日常会話レベルの英語の能力を有するもの ・ メキシコ 1名
28033	新関 伸也 教授	niizeki@edu.shiga-u.ac.jp	美術科教育	図画工作・美術科の題材開発	1名	
28034	藤田 昌宏 准教授	fujitama@edu.shiga-u.ac.jp	具象彫刻	美術(ワークショップなど)を通じた社会連携活動の研究	1名	
28035	世ノ一 善生 准教授	yonoi@edu.shiga-u.ac.jp	グラフィック・デザイン	タイポグラフィーにおけるシスマティックなデザイン制作の理論と方法	1名	
28036	中村 史朗 教授	shirou@edu.shiga-u.ac.jp	書道	書表現 書写指導の比較研究	1名	
28037	天野 知幸 准教授	amano@edu.shiga-u.ac.jp	日本近代文学	GHQ占領下における日本文学・文化の研究	1名	
28038	松丸 真大 准教授	matumaru@edu.shiga-u.ac.jp	社会言語学 方言学	言語変化に関する研究	1名	日本語か英語を習得していること



京都教育大学 (京都府)



歴史豊かな国際都市・京都で日本と世界の教育を学ぶ

◇大学紹介

○大学の概要

京都教育大学は、1876年（明治9）年に創設された京都府師範学校を受け継ぎ、135年の歴史と伝統を有しています。

本学は、教員養成単科大学ですが、学部には、教育学、国語、社会、理科、美術、音楽、体育をはじめ、13の専攻がある「教育の総合大学」です。大学院には修士課程の教育学研究科と専門職学位課程の連合教職実践研究科の2つの研究科があります。

京都教育大学は京都市の南部に位置しています。京都は日本を代表する古都で、世界遺産に選ばれた多くの文化財、豊かな精神文化を有する街です。また、現代的な京都駅ビルの建築やマンガミュージアムも有名です。古い歴史と新しい文化がともに体験できる街だと言えます。

○国際交流の実績

・留学生数

年 度	2007	2008	2009	2010	2011
留学生数	53	36	52	55	56

・受入実績

年 度	2007	2008	2009	2010	2011
教員研修	8	6	10	12	7
留学生数					

◇教員研修コースの概要

○プログラムの特色

一人一人の希望に応じたきめの細かい指導を行います。研修や生活の支援をしてくれる日本人のチューターとの交流も活発です。

○受入定員 8人

○研修コースの概要

・日本語教育

日本語研修を必要とする場合、最初の半年は京都大学で日本語教育を受けます。日本語能力が十分な場合は、日本語研修コースには参加せず、本学で1年半の研修を行います。本学でも日本語授業が開講されており、日本語学習を継続することができます。

・専門教育

【研究指導】希望する研究テーマについて指導教員の指導を受けながら論文を作成します。

【留学生対象科目「世界の教育」】様々な国の留学生と日本や世界各国の教育について学ぶことができます（使用言語は日本語）。

・見学・地域交流等の参加型科目

「世界の教育」の一貫として附属学校の授業に参加します。授業科目以外に、地域との交流プログラムや京都市国際交流協会主催の国際理解プログラムPICNIKに参加できます。これらのプログラムでは、地域の学校の訪問や自分の国の紹介を行います。

・その他

年2回の研修旅行（一泊二日）に参加することができます。

◇修了生へのフォローアップ

研修終了後も指導教員がメールで相談に応じています。修了生は研修の成果を活かして各国の学校現場で活躍しています。大学院に進学しさらなるキャリアアップを行う人もいます。

◇宿 舎

来日当初は原則として向島学生センターに入居します。

○宿舎数

- ・単身用 10室
- ・世帯用 1室

○宿舎費

- ・単身用 22,000円
- ・世帯用 60,500円

○宿舎設備・備品

各居室に冷暖房設備、給湯設備、バス・トイレ、カーテン、家具類が備え付けられています。

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

近くにショッピング街、病院、公園、図書館等があります。大学まで電車で約30分、京都の中心まで約1時間です。日本語研修終了後、空きがある場合は、本学の宿舎（大学まで徒歩15分）に入居することができます。

◇問い合わせ先

大学所在地

〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1番地

担当部署：学生課学生支援グループ留学生担当

連絡先 TEL:++(0)75-644-8159

FAX:++(0)75-644-8169

E-mail: intel@kyokyo-u.ac.jp

ホームページアドレスなど

<http://www.kyokyo-u.ac.jp/>

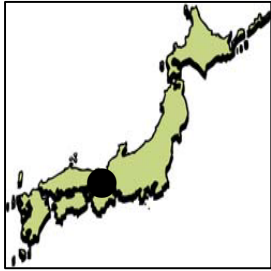
◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

教育学研究科						
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
29001	宗雪 修三 教授	muneyuki	日本古典文学	1. 日本古典文学の研究	1人	古典文法を理解し一定程度古文が読めること。
29002	浜田 麻里 教授	hamadam	日本語教育 異文化間教育	1. 第2言語としての日本語の教育の内容と方法に関する研究 2. 異文化接触場面における諸現象に関する研究	1人	1年以上の日本語教育実践又は外国語教育指導の経験を有すること。 日本語で研究指導が受けられる程度であること、もしくはTOEFL61点(iBT)以上に相当する英語運用力を有すること。(過去5年間の受入実績 5)
29003	谷口 匡 教授	tadashi	日本漢文学	1. 日本漢詩文の研究	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。
29004	平石 隆敏 教授	hiraishi	社会哲学 応用倫理学	1. 哲学・倫理学研究の現状及び現代の哲学・倫理学的諸問題についての基礎知識を深める。 2. 研究テーマに関する専門書の講読	1人	受入分野と同じ研究テーマであること。 日本語で研究指導が受けられる程度であること。
29005	山下 宏文 教授	mountain	社会科教育 環境教育	1. 社会科や環境教育についての基礎知識を深める。 2. 研究テーマに関する文献の講読 3. 小・中学校の授業の実地研修	1人	受入分野と同じ専門分野であること。 初等教育の教員であること。 日本語で研究指導が受けられる程度であること。
29006	水山 光春 教授	mizuyama	社会科教育 シティズンシップ教育 環境教育	1. 社会科教育、環境教育、シティズンシップ教育についての理解を深める。 2. 初等・中等学校の社会科授業の観察と研究	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。(過去5年間の受入実績 2)
29007	香川 貴志 教授	kagawa	都市地理学	1. 日本の都市の特徴について理解を深める。	1人	研究テーマは受入分野と同じものであること。 日本語で研究指導が受けられる程度であること。
29008	田岡 文夫 教授	taoka	日本経済論	1. 現代日本経済及び近現代日本経済史を学ぶ。	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。
29009	石川 誠 教授	ishikawa	環境経済学	1. 環境経済・環境政策に関する研究	1人	受入分野と同じ専門分野であること。 日本語で研究指導が受けられる程度であること。
29010	桐木 紳 教授	skiriki	力学系	1. 非双曲型力学系とカオス現象の研究	1人	
29011	芝原 寛泰 教授	shiba	理科教育 (化学)	1. 理科教材の開発(マイクロスケール実験) 2. 日本の理科授業の観察・研究	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること、又はTOEFL61点(iBT)以上であること。
29012	梶原 裕二 教授	kajiwara	生物学	1. 動物の発生、特に哺乳類の実験発生学について基礎的知見を深める。 2. 研究テーマに関する専門書の講読	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。
29013	田中 里志 准教授	stanaka	地学 (地質学)	1. 日本の地質の研究・観察	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
29014	田中 多佳子 教授	taka	音楽学	1. 日本の音楽文化と歴史についての知識を深める。	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること、又はTOEFL79～80点(iBT)以上であること。
29015	村田 利裕 教授	tomurata	美術教育	1. 日本の美術教育について知識を深める。 2. 指導方法について 3. 評価	1人	受入分野と同じ専門分野であること。(過去5年間の受入実績 2)
29016	中 比呂志 教授	gori	スポーツ経営学 発育発達 スポーツ政策	1. 日本と母国との子どものスポーツ環境の比較 2. 日本と母国のスポーツ振興施策の比較 3. 日本と母国の子供の体格・体力(発育発達)の比較 4. 日本と母国の学校体育カリキュラムの比較	1人	受入分野について興味・関心があること。 日本語で研究指導が受けられる程度であること。
29017	井谷 恵子 教授	itani	保健体育科教育	1. 日本の体育科教育についての知識を深める。 2. 研究テーマに関する専門的研究 3. 小・中・高の実地研修	1人	受入分野と同じ専門分野であること。 日本語で研究指導が受けられる程度であること、又はTOEFL61点(iBT)以上であること。
29018	井上 文夫 教授	finoue	学校保健	1. 日本における学校保健についての知識を深める。 2. 研究テーマに関する論文講読	1人	受入分野と同じ専門分野であること。 日本語で研究指導が受けられる程度であること、又はTOEFL61点(iBT)以上であること。 (過去5年間の受入実績 1)
29019	伊藤 伸一 准教授	itoh	情報学	1. Computational Physics	1人	研究テーマが同じであること。 日本語で研究指導が受けられる程度であること、又はTOEFL61点(iBT)以上であること。
29020	深沢 太香子 准教授	fukazawa	被服環境学	1. 着衣系における温熱生理 2. 衣服と健康・安全	1人	日本語で研究指導が受けられる程度であること、又はTOEFL65点(iBT)以上であること。
29021	井上 えり子 准教授	eriko	家庭科教育	1. 日本の家庭科教育の内容を知る	1人	日本語で研究指導が受けられること。
29022	西本 有逸 教授	yuitsu	英語教育 ヴィゴツキーの 教育理論	1. 外国語あるいは第二言語としての英語教育 2. ヴィゴツキーの文化-歴史的理論	2人	受入分野と同じ専門分野であること。 日本語で研究指導が受けられる程度であること、又はTOEFL79～80点(iBT)以上であること。 (過去5年間の受入実績 3)
29023	泉 恵美子 教授	emiko	英語教育 応用言語学	1. 第2言語/外国語としての英語教育に関する研究 2. コミュニケーション能力養成の為の指導と評価	1人	受入分野と同じ専門分野であること。 日本語で研究指導が受けられる程度であること、又はTOEFL79～80点(iBT)以上であること。 (過去5年間の受入実績 3)
29024	郷間 英世 教授	goma	障害児生理・病理	1. 障害児の療育等	1人	
29025	岡部 美香 准教授	okabe	教育史 教育人間学	1. 日本の教育史及び教育思想史 2. 子ども期に関する歴史的・人間学的研究	1人	受入分野と同じ専門分野であること。 日本語で研究指導が受けられる程度であること。(過去5年間の受入実績 1)
29026	本間 友巳 教授	honma	教育臨床心理学	1. 日本の教育臨床についての学習 2. 心理教育相談の観察・実習	1人	受入分野と同じ専門分野であること。 日本語で研究指導が受けられる程度であること。
29027	梁川 正 教授	yanagawa	園芸学	1. 園芸と環境教育に関する研究 2. 植物組織培養に関する研究	1人	受入分野と同じ専門分野であること。 日本語で研究指導が受けられる程度であること、又はTOEFL61点(iBT)以上であること。
29028	森 孝宏 教授	morit	学校精神保健	1. 学校精神保健についての知識を深める 3. 摂食障害などの研究テーマに関する論文講読 (英語または仏語、または伊語)	2人	日本語で研究指導が受けられる程度であること。 フランス語、イタリア語または英語のどれか1つで書かれた論文が理解できること。

連合教職実践研究科						
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
29028	佐々木 真理 准教授 (留学生受け入れ担当)	nsasaki	授業力高度化 コース	<方法> 研修生は研究テーマに応じて「授業力高度化コース」「生徒指導力高度化コース」「学校経営力高度化コース」のいずれかに所属する。指導教員は本研究科所属の21人の中から適任者が担当する。 <内容> 本研究科の授業の受講 各種教育機関の見学 本研究科の各種行事への参加 小中学校での国際理解教育への参加	3 人	授業の受講、各種教育機関の見学等に必要な日本語能力を有すること。 中学校の幹部教員及び行政機関職員を歓迎する。 本研究科の概要、開設授業科目、所属教員とその専門分野については本研究科ホームページに記載がある。 http://renjissen.kyokyo-u.ac.jp/index.html 受け入れ実績:2010年度4人、2011年度2人、2012年度3人 問い合わせ先は、renkoku@kyokyo-u.ac.jp または佐々木准教授(nsasaki@kyokyo-u.ac.jp)まで。
	小松 貴弘 准教授 (コース主任)	renkoku	生徒指導力 高度化コース			
	笠沙 知章 教授 (コース主任)	renkoku	学校経営力 高度化コース			

電子メールアドレスのユーザー名は“@kyokyo-u.ac.jp”を省略



大阪大学 (大阪府)



海外の現職日本語教師を対象とした日本語の研修と日本語教育学の専門研修

◇大学紹介

○大学の概要

大阪大学は、1931年に帝国大学として創設された大学で、自由で先進的な発想と新規性・先見性を尊び、学術・研究を重んじる学風を持つ優れた伝統ある大学である。本学は、地域に立脚し、産学官の連携を図りながら、卓越した教育研究拠点として世界的に高い評価を得ている。このような研究型大学として、本学では、学生の教育においては、あらゆる分野での高度な研究水準を背景に、21世紀の高度情報化社会における真のリーダーシップを発揮しうる有為の人材を育成することに力を注いでいる。学問・研究の場においては、ただ一つの専門分野の探求にとどまることなく、高度の専門性ととも、幅広い学際的視野を身につけることが必要であると考えている。総合大学である本学は、このような意味でも優れた環境を備えている。

2007年10月1日には、大阪大学と大阪外国語大学は統合した。現在は、吹田、豊中、箕面の3つのキャンパスを有する。本学には11学部、15研究科、5附置研究所、附属図書館、附属病院、30を超える教育研究施設などが置かれている。学生数は約24,000名、教職員数は約9,000名で構成されている。教員研修プログラムは、本学箕面キャンパスの言語文化研究科を専門研修の受入れ部局として実施される。

○国際交流の実績

- ・留学生数：2011年5月1日現在、1780人
- ・受入実績：平成23年度：なし
平成22年度：1名

◇教員研修コースの概要

○プログラムの特色

言語文化研究科日本語・日本文化専攻を中心に専門研修を行う。なお、最初の6ヶ月は、日本語能力に応じて、吹田キャンパスの国際教育交流センターにおいて日本語予備教育を受けることができる。

○受入定員 6名

○研修コースの概要

- ・日本語教育（2012年10月から2013年3月）
必要に応じて、国際教育交流センターにおいて、6ヶ月の日本語予備教育を受けることができる。なお、言語文化研究科の日本語関連授業を聴講することも可能である。
- ・専門教育（2013年4月から2014年3月）
言語文化研究科の授業科目から選択して履修する。
- ・その他
上記の専門教育の他に指導教員の個別指導を受ける。留学生見学旅行を年2回実施する予定である。専門教育の授業では、日本人学生と共に受講する。

◇修了生へのフォローアップ

言語文化研究科日本語・日本文化専攻において行われる、日本語・日本文化に関する研究会・シンポジウム等に参加することができる。

◇宿 舎

【大阪第一国際交流会館】

- 宿舎数：数戸
- 宿舎費：23,490円～31,000円
- 入居期間：最低6ヶ月、最大1年
- 宿舎設備（共同施設）：自炊室、洗濯室、シャワー室
- 備品：（居室）机、ベッド、クローゼット、冷蔵庫、エアコン
- 宿舎周辺の生活情報、通学時間：近くにスーパー、病院がある。自転車で吹田キャンパスまで約15分、箕面キャンパスまで公共交通機関を利用して約1時間。
- ※必ずしも入居できるとは限りませんので、民間住宅を探していただく場合があります。

【民間宿舎】（大学周辺の平均）

- 家賃：30,000円～50,000円
- 保証金：20万円～30万円
- ・契約に際して、保証人が必要となります。（大学が保証人になることができます）
- ・家具は基本的についていません。
- ・渡日してから不動産仲介業者に行き、賃貸契約を結ぶことになります。

◇問い合わせ先

大学所在地：〒565-0871大阪府吹田市山田丘1-1

担当部署：国際交流オフィス

学生交流推進課学生交流企画係

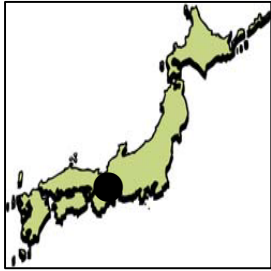
TEL：06-6879-7103 FAX：06-6879-8964

E-mail：kenkyou-r@ml.office.osaka-u.ac.jp

大阪大学HP：http://www.osaka-u.ac.jp

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

言語文化研究科						
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）
31001	鈴木 睦 教授	suzukimu@lang.osaka-u.ac.jp	日本語教育学	日本語教育学	2人	日本語能力は問わない。平成19年度1名（インドネシア）、平成21年度1名（インドネシア）
	真嶋 潤子教授	jmajima@world-lang.osaka-u.ac.jp	日本語教育学	日本語教育学	2人	日本語能力は問わない。平成20年度1名（中国）、平成22年度1名（中国）
	筒井 佐代准教授	tsutsui@world-lang.osaka-u.ac.jp	日本語教育学	日本語教育学	2人	日本語能力は問わない。平成19年度1名（刊）、平成20年度1名（インドネシア）



大阪教育大学 (大阪府)



大阪の文化に触れながら、教育大学で勉強しませんか

◇大学紹介

○大学の概要

大阪教育大学は、135年を超える歴史と伝統がある、我が国に数ある教育大学です。国立大学としては唯一の、夜間開講の小学校教員養成課程を設けています。「大学院教育学研究科(修士課程)」は18専攻の専門分野があります。

地域の特徴

メインキャンパスの柏原キャンパスは、大阪市の中心部から東へ約20km、金剛生駒国定公園の中に位置しています。柏原市は緑豊かな山並みと美しい自然環境、そして古い歴史を持つ町です。

○国際交流の実績

- ・留学生数：129名
(15カ国・地域、2011年12月現在)

昭和44年から留学生の受け入れをしており、現在中国、韓国、台湾、タイ、アメリカ、オーストラリア、ドイツ、スウェーデン、フランス、イギリス、フィンランドの26大学と学生交流協定を締結しています。

・受入実績

23人(過去5年間の教員研修留学生の総受入人数)

教員数 : 262人
 学生数 : 学部 4,216名 大学院 444名
 専攻科 27名



◇教員研修コースの概要

○プログラムの特色

教育大学としての特性を生かし、附属学校等で授業参観及び現場教員との交流を行います。

大阪教育大学では、以下の講座やセンターで教員研修留学生を受け入れています。(受入講座、分野、条件については別紙参照)。

学校教育講座、特別支援教育講座、国語教育講座、英語教育講座、社会科教育講座、数学教育講座、理科教育講座、家政教育講座、技術教育講座、音楽教育講座、美術教育講座、保健体育講座、養護教育講座、自然研究講座、教職教育研究開発センター

○受入定員：12人

○研修コースの概要

・日本語教育

ア) 文部科学省が指定する日本語コースでの半年間の教育

イ) 4月～1月 1週間に6～8時間
 日本語初級会話・文法、日本語初級漢字
 日本語中級会話、日本語中級文法など

ウ) 日本の教育 (4月～7月)
 日本の教育制度の基本的な知識や用語を、英語と日本語のテキストを用いながら学びます。

・専門教育

ア) 形態

講義演習に参加しながら、指導教員による個人指導において専門分野の研究を行います。最終レポートと発表が義務づけられます。

イ) 英語による授業科目

日本について学ぶオムニバス形式による授業を実施しています。「日本の教育養成」「日本の学校におけるいじめ」「スクールカウンセリング」「日本の国際教育」他。

ウ) チューター制度

留学生一人に対して選ばれた日本人学生が、専門分野や日常生活の支援を行います。

・見学・地域交流等の参加型科目

- ア) 1～2泊の文化体験研修(年1回)
- イ) 関西地域への文化体験バスツアー(年2回)
- ウ) 地域の日本人家庭でのホームビジット
- エ) 日本文化を楽しむ会
(お茶、着物の着付け、野球観戦など)
- オ) 研究発表会と修了式

◇宿 舎

○宿舎数：40名(単身) 12㎡
 留学生宿舎(柏原キャンパス内)

○宿舎費：5,900円(光熱水費は除く)

○宿舎設備・備品

居室：机、ベッド、トイレ、エアコン、インターネット
 共用設備：キッチン、シャワー、洗濯機、パソコン

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

キャンパス内に食堂、書店、ATM等、
 通学時間徒歩3分



◇問い合わせ先

大学所在地住所：

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

担当部署： 学術部学術連携課国際係

連絡先(TEL)： 072-978-3300

FAX： 072-978-3348)

ホームページアドレスなど

E-mail： isc@cc.osaka-kyoiku.ac.jp

Website： http://osaka-kyoiku.ac.jp

国際センターWebsite：

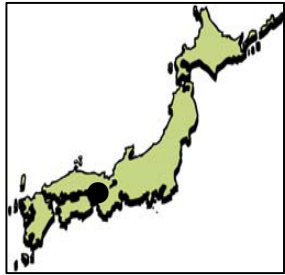
http://osaka-kyoiku.ac.jp/ic/

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

教育学研究科						
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
32001	米川 英樹 教授	yonekawa@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	教育社会学	学校制度・組織の比較社会学的研究	1人	自国の学校制度・組織を熟知している者(エジプト1名・ホンジュラス1名・中国1名)
32002	林 龍平 教授	rhayashi@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	心理学	認知学習心理学からみた教室学習に関する文献講読と討論	1人	大学卒(受入分野に関する修士号取得が望ましい)、日本語の会話および読解できることが望ましい(中国1名)
32003	金光 靖樹 准教授	kanemitsu@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	道徳教育	日本の学校における道徳教育	1人	教員研修留学生の定義どおり(メキシコ1名)
32004	富永 光昭 教授	tominaga@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	障害児教育	障害児の授業研究	1人	英語(読解、書字、会話) 日本語(会話、書字)(メキシコ1名)
32005	山本 晃 教授	avamamot@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	障害児臨床	障害児の治療教育	1人	独語(読解、書字、会話) 日本語(会話、書字)
32006	山本 利和 教授	yamamoto@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	障害児心理	障害児の心理研究	1人	英語(読解、書字、会話) 日本語(会話、書字)
32007	野浪 正隆 教授	nonami@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	日本語学	日本語の文章分析	1人	藤沢周平「痺しぐれ」が読解できること。俳句が作れること。
32008	土山 和久 准教授	hiromix@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	国語科教育	母語教育の指導法開発	1人	国語教育の文献が読みこなせ、議論ができる日本語能力(韓国1名)
32009	住田 勝 准教授	sumidam@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	国語科教育	母国語教育の基礎理論	1人	国語教育の文献が読みこなせ、議論ができる日本語能力(韓国1名)
32010	成實 朋子 准教授	narumi@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	児童文学	児童文学の基礎知識	1人	日本語か中国語で研究活動が行えること。
32011	寺田 寛 准教授	terakan@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	英語学	生成統語論	1人	文学学士または修士の学位を有すること。
32012	吉田 晴世 教授	hyoshida@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	英語教育	メディアを用いた英語教育	1人	学士または修士の学位を有すること。(韓国1名・モロッコ1名)
32013	伊藤 敏雄 教授	doji@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	日本史学、東洋史学、西洋史学、歴史教育	日本史学または東洋史学、西洋史学、歴史教育の研究	1人	(ミャンマー1名)
32014	串田 秀也 教授	kushida@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	社会学	コミュニケーション研究、会話分析	1人	英語または日本語
32015	小林 和美 准教授	kazumik@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	社会学	比較社会論、地域社会論、社会調査法	1人	日本語または韓国・朝鮮語、英語
32016	木下 百合子 教授	kinosita@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	社会科教育	社会科教育	1人	日本語または英語を話せること。(韓国1名)
32017	飯島 敏文 教授	iijima@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	社会科教育	社会科授業理論	1人	日本語または英語のコミュニケーション能力(韓国1名)
32018	峯 明秀 准教授	mine@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	社会科教育	社会科授業研究	1人	日本語または英語を話せること。(フィリピン1名)

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学 能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人 数)
32019	手取 義宏 准教授	tedori@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	社会科教育	社会科教育学	1人	日本語または英語を話せること。
32020	山近 博義 教授	yamatika@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	地理学	日本の歴史地理学	1人	日本語または英語の日常会話 (ルーマニア1名)
32021	水野 恵司 教授	mizuno@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	地理学	地理教育、自然地理学	1人	日本語または英語の日常会話(韓国1名・モンゴル1名)
32022	岩田 文昭 教授	iwata@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	哲学	いのち教育、日本の哲学・宗教	1人	基礎的日本語運用能力もしくはフランス語の会話能力
32023	中井 英一 教授	enakai@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	解析学	実解析学、調和解析学、フーリエ解析学	1人	大学等で数学を専攻した人(フィリピン1名)
32024	田中 秀典 教授	htanaka@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	幾何学	位相空間論の研究	1人	位相空間論の基礎を学習していること。
32025	馬場 良始 教授	ybaba@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	代数学	アルテン環の研究	1人	群・環・R-加群について学習していること。
32026	柳本 朋子 教授	ytomoko@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	数学教育	教材、カリキュラム開発	1人	英文読解力、数学の基礎的知識をもつこと。 (ベネズエラ1名)
32027	越桐 國雄 教授	koshi@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	物理教育、コンピュータ物理、 固体物理学	物理教育の教材・カリキュラム開発	1人	日常の日本語会話と英語読解力、物理学の基礎的知識をもつこと； (ミャンマー1名・フィリピン2名)
32028	神鳥 和彦 教授	kandori@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	物理化学	コロイドに関する研究	1人	日常の日本語会話と英語読解力； (エジプト 1名)
32029	川村 三志夫 教授	kawamura@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	生化学	イヌリナーゼに関する研究	1人	日常の日本語会話と英語読解力
32030	福江 純 教授	fukue@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	天文学 天文教育	膠着円盤に関する研究、マルチメディア	1人	日常の日本語会話と英語読解力、物理学の基礎的知識をもつこと
32031	野田 文子 教授	noda@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	家政科教育学	家庭科教育	1人	日本語会話能力と英語論文読解力
32032	鈴木 真由子 准教授	suzukima@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	生活経営学 家政科教育学	生活経営の課題、家庭科教育	1人	日本語会話能力と英語論文読解力
32033	岡本 正子 教授	mokamoto@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	育児学	子ども虐待	1人	日本語会話能力と英語論文読解力
32034	中田 忍 教授	snakata@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	食物学	食物成分の分析	1人	日本語会話能力と英語論文読解力
32035	井奥 加奈 准教授	ioku@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	食物学	食品機能性成分の分析	1人	日本語会話能力と英語論文読解力
32036	織田 博則 教授	hoda@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	被服学	繊維科学、機能性色素	1人	日本語会話能力と英語論文読解力
32037	今中 誠 教授	imanaka@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	機械工学	機械工学に関する基礎知識	1人	日本語会話能力と機械工学に関する基礎知識
32038	高田 博史 教授	takadahr@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	電気工学、微小電子機械システム(MEMS)	電気工学及びMEMS教育	1人	電気工学に関する基礎知識
32039	山本 勇 教授	iyama@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	機械工業・材料工学・破壊力学・材料強度学	ものづくり教育に関する基礎知識	1人	機械工学あるいは材料工学に関して大学卒業程度の基本的な知識を有していること。

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
32040	小島 律子 教授	ritsuko@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	音楽教育学	音楽の教育に携わっている人	1人	日本語及び英語で会話でき、文献の読める人
32041	秋岡 美帆 准教授	akioka@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	デザイン	グラフィックデザイン	1人	英語又は日本語が話せる。
32042	長町 充家 教授	mitsuie@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	美術教育	日本の美術教育	1人	日本語で会話ができ、論文が読める。
32043	佐藤 賢治 准教授	ksato@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	美術教育	日本の美術教育	1人	日本語で会話ができ、論文が読める。
32044	田中 久和 教授	hisakazu@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	日本美術史	日本美術史に関する基礎研究	1人	日本語による講義を理解でき、日本美術史についての基礎知識を有すること。(メキシコ1名)
32045	佐藤 隆士 教授	sato@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	情報科学	計算機システム・ネットワーク・メディア情報学・データベース	1人	日本語会話能力と英語論文読解力(フィリピン1名)
32046	前田 律雄 教授	mritsu@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	絵画	絵画制作研究	1人	日本語で会話ができ、論文が読める。
32047	向井 康比己 教授	ymukai@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	生命科学	遺伝学、植物染色体の研究、ゲノム解析	1人	英語または日本語能力を有すること。
32048	鈴木 剛 准教授	gsuzuki@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	生命科学	植物分子生物学、遺伝子工学	1人	英語または日本語能力を有すること。
32049	堀 一繁 准教授	kzhori@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	有機合成化学	有機合成に関する研究	1人	日常の日本語会話と英語読解力、化学の基礎的知識をもつこと。
32050	串田 一雅 准教授	kkushi@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	物理教育および関連分野	物理教育の教材開発およびカリキュラム開	2人	十分な日本語会話力と基礎的な物理学に関する知識
32051	定金 晃三 教授	sadakane@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	天文学	天体観測法、天文教育	1人	英語の専門書、あるいは論文の読解ができることが望ましい。
32052	中田 博保 教授	hynakata@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	物理学	固体の光物性	1人	英語または日本語能力を有すること。(タイ1名)
32053	瀧 一郎 教授	takiichi@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	美学・芸術学	日本の美学・芸術学	1人	日本語・英語(またはフランス語)
32054	渡邊 美香 講師	mwatanab@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	絵画・美術教育	絵画制作・日本の美術教育	1人	日本語で日常会話ができること。英語、フランス語も可。
32055	赤松 喜久 教授	akamatu@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	保健体育科教育	運動学習の目標・内容、方法	1人	日本語で会話ができ、論文(日本語)が読めること。
32056	太田 順康 教授	yori@cc.osaka-kyoiku.ac.jp	体育学	日本の武道教育	1人	日本語で会話ができ、論文が読めること。



兵庫教育大学 (兵庫県)



◇コースの特色 兵庫教育大学は教育に関するあらゆる専門家を擁する”教員のための大学院大学”。日本の小中高校の現職教員等とともに、教育現場の課題に密着した研究を行います。

◇大学紹介

(1) 大学の特色および概要

兵庫教育大学は、主として現職教員の学校教育に関する高度の研究、研鑽の機会を確保する大学院修士課程、初等教育教員を養成する学部を有する教員養成大学として1978年10月に設置された大学である。さらに、1995年4月には、わが国初の教員養成系博士課程として、兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科博士課程が設置された。在籍学生は、大学院、学部生あわせて約1,600名であり、教員は、あらゆる分野の専門家を擁しています。

(2) 国際交流の実績

留学生：90名12か国(地域)
(2011年4月現在)

学術交流協定校：

ヴァンダービルト大学ビーボディ教育学部、ウイスコンシン大学オークレア校(以上 アメリカ合衆国)、ソウル教育大学校、大邱教育大学校、京仁教育大学校(以上 大韓民国)、華南師範大学、海南師範大学、湖南理工学院、浙江師範大学(以上 中華人民共和国)、屏東教育大学(中国(台湾))、タイ国地域総合大学(タイ王国)

(3) 国際交流の実績(過去5年間)

年度	2007	2008	2009	2010	2011
留学生数	71	79	114	120	98
教員研修留学生数	3	6	6	7	7

◇教員研修コースの概要

- 兵庫教育大学教員研修留学生プログラムは、教員としての資質の涵養と能力の向上を図ろうとする諸外国の現職学校教員が、学校教育に関する総合的かつ学際的な研究を行い、学校教育に関する教育方法論とスキルを理論的に構築する研修を行うことを目的としている。
- 兵庫教育大学大学院は学校教育に関するあらゆる分野の専門家を擁しているため、教員研修留学生のあらゆるニーズに応えることができる。
- 教員研修留学生のニーズにあったきめ細かい指導スケジュールを組んで、指導を行っている。

(1) 受入定員 7人

(2) 日本語教育

- ・ 文部科学省が指定する大学の日本語研修コースで日本語教育を受ける。
期間：2012年10月1日～2013年3月31日(6ヶ月間)
- ・ 兵庫教育大学で外国人留学生を対象とした日本語補講を行う。
期間：2013年5月～2014年3月(週1回)
- ・ 兵庫教育大学で外国人留学生対象科目である「日本語と日本の文化」(30時間)および「日本の教育事情」(30時間)を開講する。 期間：2013年4月1日～2014年3月31日(1年間)

(3) 専門教育

- 期間：2013年4月1日～2014年3月31日(1年間)
- ・ 教員研修留学生の関心と日本語および専門の理解度に応じて、日本人大学院生・学部学生用の講義、英語による特別講義(必要に応じて)、指導教員による個別指導、小中学校での実地研修を組み合わせ個々の研修プログラムにしたがって、専門教育を受ける。
- ・ 大学教員が指導教員となり、責任を持ち教員研修留学生の関心に合致した指導を行う。研究計画は、教員研修留学生として受け入れが決定した後に、電子メール等で連絡調整を行った上、決定される。
- ・ 指導教員の指導を得て、研究課題にしたがった研究を行い、修了時に研究論文(レポート)を作成し、発表する。

(4) 実地見学、行事等

地元加東市、加東市国際交流協会およびボランティア団体が企画するイベントや懇談会が季節に応じて多彩にある。

◇修了生へのフォローアップ

本学を修了時にはメーリングアドレス及びSNS等により連絡を取り、進路の確認などを随時行っている。また、本学の大学院への進学などについての相談などを行っている。

◇宿 舎

- 大学キャンパス内に、一般学生宿舎とともに兵庫教育大学国際交流会館がある。
単身室28室、夫婦室8室、家族室4室

- 宿舎費 単身室 4,700 円
夫婦室 11,900 円
家族室 14,200 円

● 宿舎設備、備品(夫婦室の例)

ユニットバス、キッチン、給湯設備、冷暖房用空調設備、ベッド、平机、回転椅子、書棚、ワードローブ、シューズボックス、応接セット、食卓テーブル・椅子、食器戸棚、洗面台、洗濯機、テレビ、CSチューナー、ビデオ付きDVDプレーヤー、オープンレンジ、冷蔵庫、ガスコンロ学習スタンド、掃除機、ジャーポット、傘立て、クズ入れ、電話機

● 宿舎周辺の生活情報、通学時間

キャンパス内にコンビニエンスストア・食堂がある。宿舎から講義棟まで徒歩5分。



大学図書館



国際交流会館

◇問い合わせ先

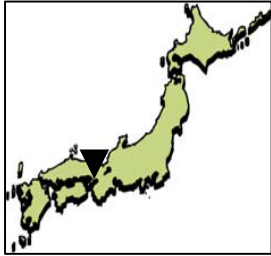
〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1
兵庫教育大学教育研究支援部学生支援課
Tel +81-795-44-2043
Fax +81-795-44-2049
E-mail office-ryugaku-t@hyogo-u.ac.jp
ホームページ <http://www.hyogo-u.ac.jp/>

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

学校教育研究科						
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
33001	安部崇慶教授	abe@hyogo-u.ac.jp	日本教育思想史、教師論	日本教育思想史、教師論	大学全体で7人	語学能力(日本語または英語)、メキシコ
33002	名須川知子教授	nasukawa@hyogo-u.ac.jp	幼児教育	就学前教育・保育内容		
33003	浅川潔司教授	kasa@hyogo-u.ac.jp	学校心理学	学校心理学, 学校適応, 社会的支援		
33004	鳥越隆士教授	torigoe@hyogo-u.ac.jp	聴覚障害心理学	聴覚障害児心理学、手話、言語指導		英語文献読解力
	河相善雄教授	nba00147@hyogo-u.ac.jp	障害児教育経営学 障害児地域教育経営論	障害児教育、障害児教育方法、障害児教育経営学		日本語文献読解力
	芝田裕一教授	hshibata@hyogo-u.ac.jp	障害児心理学(視覚障害)	障害児心理、視覚障害、障害体験、手引き、点字		日本語文献読解力, 英語文献読解力
	井澤信三准教授	isawa@hyogo-u.ac.jp	発達障害臨床心理学	発達障害, 自閉症, 応用行動分析		英語文献読解力
	石倉健二准教授	kenji@hyogo-u.ac.jp	リハビリテーション心理学	肢体不自由、重度重複障害、心理リハビリテーション		語学能力(日本語または英語)
33005	前田貞昭教授	sadm@hyogo-u.ac.jp	日本文学	日本近代文学、現代文学		日本語文献読解力, 日本語会話能力
	鈴木敏雄教授	tosuzuki@hyogo-u.ac.jp	中国古典文学	中国中世文学、漢魏六朝文学、魏晉南北朝詩、漢文訓読法、漢文教育		日本語文献読解力, 中国文献読解力, 大韓民国
	堀江祐爾教授	yujhorie@hyogo-u.ac.jp	国語教育学	国語科カリキュラム開発、指導法の研究など		フィリピン
	田中雅和教授	tnkms@hyogo-u.ac.jp	国語学(日本語学)	国語史(日本語史)、中世語、和漢混淆文		古典等が理解できること

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
33005	山口眞琴教授	makyama@hyogo-u.ac.jp	日本古典文学	中世文学、物語、説話、日本仏教	大学全体 で 7人	古典等が理解できること
	菅井三実准教授	ksugai@hyogo-u.ac.jp	現代日本語学 理論言語学	言語の認知処理、日本語との対照研究、日本語の文法、日本語の動態		
	山岡俊比古教授	yomaoka@hyogo-u.ac.jp	英語教育	ELT、Input Processing、Focus on Forms		英語会話力、ガボン
	大嶋 浩 教授	hoshima@hyogo-u.ac.jp	英文学	英国小説、ヴィクトリア時代		英語会話力
	有働眞理子教授	mariudo@hyogo-u.ac.jp	英語学・言語理論	英語語法文法研究、文法指導、言語能力獲得と身体性		英語会話力
	今井裕之准教授	imai@hyogo-u.ac.jp	英語教育	英語科授業論、英語コミュニケーション、質的研究		英語会話力、ラオス、フィリピン
	吉田達弘准教授	tyoshida@hyogo-u.ac.jp	英語教育	英語教育、英語科カリキュラム研究、英語科指導法研究		英語会話力、アフガニスタン
	中田賀之准教授	nakata@hyogo-u.ac.jp	英語教育学	外国語教育における動機づけ、学習者・教師の自律性、プロフェッショナル・ディベロップメント		英語文献読解力、英語会話力、タイ、ウズベキスタン、パキスタン
33006	河村昭一教授	kawamura@hyogo-u.ac.jp	日本史	日本中世史	大学全体 で 7人	日本語文献読解力
	難波安彦教授	namba@hyogo-u.ac.jp	経済学	経済理論、日本経済論		日本語文献読解力
33007	國岡高宏准教授	kunioka@hyogo-u.ac.jp	数学教育	算数・数学教育、カリキュラム・教材の開発、指導法、授業研究	大学全体 で 7人	日本語文献読解力、ブルネイ
	尾関 徹 教授	ozeki@hyogo-u.ac.jp	化学、化学教育、 環境教育	初等・中等教育における化学関連の内容論、教材開発、環境教育(地球環境、地域環境)		英語文献読解力、英語会話力、サモア、東チモール
	渥美茂明教授	atsumi@hyogo-u.ac.jp	生物教育、植物学	生物教育・教科内容・教材研究・重力屈性・植物生理遺伝学		英語文献読解力
	吉岡秀文教授	hyoshi@hyogo-u.ac.jp	生物教育、動物学	性分化、形態形成、転写因子、細胞増殖因子		英語文献読解力
	澁江靖弘教授	yshibue@hyogo-u.ac.jp	地学教育、 岩石鉱物学	岩石、鉱物、地球システム教育、サイエンス・リテラシー、教育内容		日本語文献読解力

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)	
33008	保坂博光教授	hosaka@hyogo-u.ac.jp	声楽	オペラと歌曲、テノール、声楽発声法	大学全 体で 7人		
	竹内俊一教授	stakeuti@hyogo-u.ac.jp	音楽科教育	音楽科教授法、スクールバンド		フィリピン	
	喜多村明里教授	kiaart@hyogo-u.ac.jp	美術史学、 視覚文化・鑑賞教育	美術史学、鑑賞教育、日本の美術館学物館学		英語(イタリア語も可)・日本語	
	河内勇講師	ikawachi@hyogo-u.ac.jp	器楽(クラリネット)	クラリネット、クラリネット教授法、スクールバンド		英語、日本語	
33009	小田俊明准教授	toda@hyogo-u.ac.jp	バイオメカニクス、トレーニング科学	健康体力学、バイオメカニクス、応用生理学、トレーニング科学			語学能力(日本語または英語)
33010	大野裕己准教授	ohnoy@hyogo-u.ac.jp	教育制度、教育行政、 学校経営	教育制度、教育行政、学校経営			インドネシア、イエメン
	浅野良一教授	royasano@hyogo-u.ac.jp	学校経営、人材育成	学校経営、人材育成			
33011	黒岩 督准教授	kuroiwa@hyogo-u.ac.jp	教育心理学	教授学習過程			英語文献読解力、日本語文献読解力
33012	谷田増幸教授	tanida@hyogo-u.ac.jp	道徳教育	価値、道徳性、倫理学			
	安原一樹准教授	hiroki@hyogo-u.ac.jp	社会教育	地域教育、生涯教育、家庭教育支援			日本語文献読解力、英語文献読解力
	新井 肇教授	araiha@hyogo-u.ac.jp	生徒指導	教師のバーンアウト、生徒指導体制			日本語文献読解力、英語文献読解力
	松本 剛准教授	tmatsumt@hyogo-u.ac.jp	教育相談	教育相談、ひきこもり			日本語文献読解力、英語文献読解力
	古川雅文教授	kogawa@hyogo-u.ac.jp	キャリア教育	キャリア教育、学校適応		日本語文献読解力、英語文献読解力	



神戸大学 (兵庫県)



附属学校の協力のもと、教育現場での体験や見学の機会が用意されています。

◇大学紹介

○大学の概要

神戸大学は、1902(明治35)年に高等教育機関として設置され、100年を超える歴史を有し、現在国立大学法人として11学部・14研究科を開設し、1研究環・1研究所と多数のセンターを持つ総合大学です。

神戸大学は、国際都市である神戸という環境を反映し、種々の学問分野で外国の大学との国際交流に重点を置いて活動しており、高い学術的評価を受けています。そして、多様な個性と専門性をもった異分野の学生や教員との交流の中で学ぶことができる教育研究環境を備えています。

○国際交流の実績

海外の基幹大学との学術交流や留学生の交換を積極的に進めており、世界47か国・地域の著名な大学や研究所など、延べ217機関と学術交流協定を結んでいます。

- ・留学生数 (2011.5現在)

学部学生	111名
大学院学生	759名
研究生等	238名
計	1,108名 (78か国・地域)

・受入実績

平成23(2011)年度	0名
平成22(2010)年度	0名
平成21(2009)年度	2名
平成20(2008)年度	1名
平成19(2007)年度	0名
平成18(2006)年度	3名

◇教員研修コースの概要

○プログラムの特色

座学教育に加え、教育現場での体験学習や公共施設見学及び地域における日本的文化行事との交流を行う。

○受入定員：2人

○研修コースの概要

・日本語教育

(1)期間：2012年10月～2013年3月

(2)内容

最初の6ヶ月は、本学留学生センターで日本事情及び基礎的な日本語の教育を受けます。

・専門教育

(1)期間：2013年4月～2014年3月

(2)内容

必要な授業を聴講したり、指導教員から指導を受けて研究します。また、指導教員の指導・助言により、市内の公立学校で研究する場合があります。

4月～7月	授業(6月：懇親会)
8月・9月	夏季休業(地域交流イベント他)
10月～3月	授業(日帰り旅行及び日本の文化行事)
12月	レポート提出
2月	発表会
3月	修了式

- ・見学・地域交流等の参加型科目：座学教育の一環として実施
- ・その他：学校訪問、公民館・博物館の公共施設の見学、会社訪問等の研修を予定しています。

◇修了生へのフォローアップ

修了生には、本学の海外同窓会ネットワークへの加入(登録)を呼びかけ、本学の各種情報をお知らせしています。

また、修了生からの相談やキャリアアップのための支援など指導教員が適宜対応しており、修了生の今後の活躍をサポートしています。

◇宿 舎

神戸大学では、留学生数の増加にともない、希望者全員が大学の留学生用宿舎に入居できるとは限りません。

なお、夫婦室や家族室は手配できません。

(1)神戸大学(インターナショナルレジデンス宿舎)

- ・入居期間は、1年間
- ・寄宿料は、月額5,900円
- ・通学時間は、電車を利用して30～40分

(2)民間アパートの場合は、家賃月額50,000円程度です。

*家賃には、光熱水料は含まれません。

*民間の場合、日本独特の制度で敷金、礼金が別途必要になります。

◇問い合わせ先

大学所在地：657-8501 神戸市灘区鶴甲3-11

担当部署名：人間発達環境学研究科教務学生係

TEL：+81-78-803-7924, FAX：+81-78-803-7929

E-mail：hudev-kyomu@office.kobe-u.ac.jp

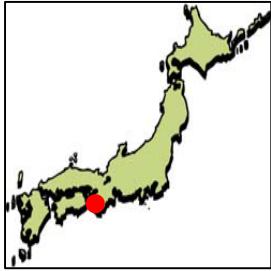
大学のホームページアドレス：

<http://www.kobe-u.ac.jp>

大学名： 神戸大学（大学番号34）

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

人間発達環境学研究科						
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）
34001	渡部 昭男 教授	akiowtnb@port.kobe-u.ac.jp	1. 教育制度・政策 2. 教育行政 3. 教育・学校行政 4. 障害児教育	4分野に関する日本の状況について	1人	日本語初級、または英会話初級（メキシコから2人、エジプトから1人の受入実績あり）
34002	末本 誠 教授	suemoto@kobe-u.ac.jp	1. 生涯学習・社会教育	生涯学習・成人教育に関する学習方法の修得	1人	日本語初級、または英会話初級



奈良教育大学 (奈良県)



教員養成大学として120年以上の歴史を持ち、附属学校もあるので研究だけでなく実践の場も具体的に学べる

◇大学紹介

○大学の概要

本学は、日本の古都「平城京」の時代より伝統と文化の薫り高い奈良の地にあり、教員養成系の単科大学として、これまで多くの教員を世に送り出している。

1888年奈良県立尋常師範学校として創設されて以来、120年の歴史を有している。戦後、1949年に奈良学芸大学が設置され、さらに1966年に奈良教育大学と改称し、現在に至っている。

その後、2006年からは全国に先駆けて、新任教員に求められる資質能力目標に基づく「教員養成のためのカリキュラムフレームワークの構築」に取組み、2008年には卓越した教員の養成を使命として「教職大学院の新設」など、教員養成教育の質の保証・向上に不断の努力を続けている。

<学生数>

教育学部 1,153名
大学院 175名 合計1,328名

<奈良県の特徴>

奈良県は、710年から794年（又は784年）の間、我が国古代の都があった所で世界遺産に登録された法隆寺をはじめ文化財の宝庫となっている。

また、京都や大阪にも大変近く日本の歴史ある数多くの文化に日常的に触れることができる。

○国際交流の実績

- ・留学生数：13ヶ国74名 平成23年12月現在
- ・受入実績：9名（過去5年間）
- ・出身国：タイ・ミャンマー・コロンビア・スーダン・シンガポール・中国・フィリピン

◇教員研修コースの概要

○プログラムの特色

- ・教員養成大学なので、附属学校もあり研究だけではなく実践の場も具体的に学ぶことができる。
- ・教員の専門分野は多岐にわたっており広範囲で受入可能。

○受入定員：11名

○研修コースの概要

- ・日本語教育
期間：通年 形態：クラス授業
+ 日本語・・・週2回(計4時間)専任教員による授業
+ 日本文化・・・週1回(2時間)。
研修生のタイプによっては英語で授業
- ・専門教育
受入担当教員の個別指導による。
(大学院の授業に参加し、レポートを書くなど)
特に、理数教育に関して特別なプログラムを提供する。
- ・見学・地域交流等の参加型科目
+ 5月 春季留学生懇談会
実地見学旅行（世界遺産見学、文化体験等）
+ 8月 文楽鑑賞（伝統文化の見学）
+ 10月 秋季留学生懇談会
+ 11月 実地見学旅行（世界遺産見学、文化体験等）
正倉院展見学
+ 12月 春日若宮おん祭り（伝統行事）
+ 1月 新春歌舞伎鑑賞
+ 3月 大相撲見学（伝統文化の見学）
+ その他：防災センターでの体験型防災セミナーなど

◇修了生へのフォローアップ

メールを媒体として、教育関係の資料送付、（必要に応じて）指導教員によるコンサルテーション等を行う。

◇宿 舎

○宿舎数

- ・ 単身用 奈良教育大学国際学生宿舎
日本人学生：60名
外国人留学生：40名
(昨年度：希望者は全員入居)

○宿舎費 16,000円/月（居室光熱費は別途）

○宿舎設備・備品

- 居室：机、イス、洋服ダンス、ベッド完備
トイレ有
- 共同スペース：
キッチン、シャワー室、洗濯機、乾燥機

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

奈良公園の南東にある閑静な住宅街の中にあ
り、奈良公園の自然に隣接している。また、春
日大社などの文化的遺産も多くあり、日本の文
化を学ぶ上では絶好のロケーションとなってい
る。

(主な所要時間)
大学：徒歩10分 バス停：徒歩5分
駅：バス7分

◇問い合わせ先

大学所在地 奈良県奈良市高畑町

担当部署 学生支援課

連絡先 TEL0742-27-9148

FAX0742-27-9146

E-mail: ryugaku@nara-edu.ac.jp

WEB: <http://www.nara-edu.ac.jp>

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

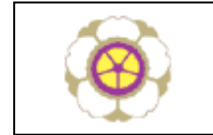
教育学研究科						
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
35001	渋谷 真樹 准教授	shibuya@nara-edu.ac.jp	教育社会学	多文化社会に生きる子どもたちのアイデンティティ形成	1人	
35002	豊田 弘司 教授	htoyota@nara-edu.ac.jp	教育心理学	記憶の符号化に関する研究	1人	
35003	棚橋 尚子 教授	tanahasi@nara-edu.ac.jp	国語科教育	漢字・語彙指導の実証的研究、国語科教育におけるイメージの研究	1人	
35004	加藤 久雄 教授	katohs@nara-edu.ac.jp	国語学	現代日本語の語彙論・文法論	1人	タイ 1名
35005	前田 広幸 教授	maedah@nara-edu.ac.jp	国語学	日本語音声・音韻の研究	1人	インドネシア 1名
35006	岩本 廣美 教授	iwamoto@nara-edu.ac.jp	社会科教育	子どもの地理的空間認識と社会科カリキュラム	1人	
35007	佐野 誠 教授	sano@nara-edu.ac.jp	法律学	近代ドイツ、とくにナチズム期の法と国家	1人	
35008	重松 敬一 教授	shigek@nara-edu.ac.jp	数学科教育	数学教育の心理的側面から研究	1人	フィリピン 1名、ミャンマー 1名、ペルー 1名
35009	近藤 裕 准教授	ykondo@nara-edu.ac.jp	数学科教育	数学教育学	1人	スーダン 1名
35010	川崎 謙一郎 准教授	kawaken@nara-edu.ac.jp	代数学	可換代数学	1人	
35011	河上 哲 教授	kawakami@nara-edu.ac.jp	解析学・応用数学	作用素環論と表現論	1人	

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学 能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人 数)
35012	高木 祥司 准教授	takagi @nara-edu.ac.jp	確率・統計	推定・検定問題における漸近最適性	1人	
35013	伊藤 直治 教授	naoharu @nara-edu.ac.jp	応用数学	情報数理システム理論・システム制御理論の研究	1人	
35014	森本 弘一 教授	morimoto @nara-edu.ac.jp	理科教育	科学認識を育てる理科授業プログラムの開発	1人	ミャンマー 1名
35015	山崎 祥子 教授	yamazaks @nara-edu.ac.jp	物質科学	新しい有機合成法の開発	1人	
35016	常田 琢 准教授	tsuneta @nara-edu.ac.jp	物質科学	固体物理学、ナノ科学・工学	1人	
35017	掘田 弘樹 准教授	hotta @nara-edu.ac.jp	物質科学	新規な化学分析手法の開発	1人	
35018	松井 淳 教授	kmatsui @nara-edu.ac.jp	生命・地球科学	木本植物の繁殖生態・湿原の保全生態学	1人	
35019	石田 正樹 教授	masaki @nara-edu.ac.jp	生命・地球科学	原生動物を用いた細胞生物学	1人	
35020	平賀 章三 教授	hiragas @nara-edu.ac.jp	生命・地球科学	活断層の熱ルミネッセンス年代測定	1人	
35021	菊池 淳一 准教授	kikuchi @nara-edu.ac.jp	生命・地球科学	外生菌根とキノコの生態学	1人	
35022	和田 穰隆 准教授	ywada @nara-edu.ac.jp	生命・地球科学	野外地質調査と室内試料解析による火山活動の研究	1人	
35023	藤井 智康 准教授	fujii @nara-edu.ac.jp	生命・地球科学	陸水物理学、沿岸海洋学	1人	
35024	金原 正明 教授	kanehara @nara-edu.ac.jp	文化財科学	環境考古学	1人	

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学 能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人 数)
35025	前田 則子 教授	maeda @nara-edu.ac.jp	器楽	ピアノ演奏法、フランス近代音楽の研究	1人	
35026	福光 佐今 教授	fukumitu @nara-edu.ac.jp	書道	漢字書法の研究	1人	
35027	岡澤 祥訓 教授	okazawa @nara-edu.ac.jp	保健体育科教育	体育授業における教授技術の研究	1人	
35028	高橋 豪仁 教授	takahasi @nara-edu.ac.jp	体育学	スポーツ観戦・応援文化に関する研究	1人	
35029	中谷 昭 教授	akira @nara-edu.ac.jp	運動生理学	骨格筋の糖・脂質代謝に関する研究	1人	
35030	堀端 眞彦 教授	horihata @nara-edu.ac.jp	金属加工	各種金属加工技術の研究	1人	
35031	鈴木 洋子 教授	suzukiy @nara-edu.ac.jp	家庭科教育	小学校低学年からの食育の推進	1人	
35032	杉山 薫 准教授	sugiyama @nara-edu.ac.jp	食物学	食品の製造過程で生じる副産物の栄養評価と有効利用	1人	
35033	渡邊 一保 教授	kazuwata @nara-edu.ac.jp	英語科教育	英語科教育法、英語ライティングの指導、児童英語教育	1人	コロンビア 1名、 シンガポール 1名
35034	門田 守 教授	kadotam @nara-edu.ac.jp	英米文学	19世紀イギリス詩及び小説の研究	1人	
35035	生田 周二 教授	ikuta @nara-edu.ac.jp	教育実践研究部門	人権教育・異文化間教育の社会教育的研究	1人	
35036	伊藤 剛和 准教授	takekazu @nara-edu.ac.jp	研究・開発部門	学習環境の構築・運用に関する研究	1人	フィリピン 1名、 韓国 1名
35037	松山 豊樹 教授	matsuyat @nara-edu.ac.jp	理数教育研究センター	素粒子論、場の量子論及び巨視的量子効果の研究	1人	



奈良女子大学 (奈良県)



附属学校園及び近隣諸学校との連携による実践的指導及び研究テーマに対応した少人数教育の徹底

◇大学紹介

○大学の概要

本学は、明治41年に創設された奈良女子高等師範学校を前身としており、平成21年5月には創立100年を迎えました。この間我が国における女性の最高教育機関としての役割を担ってきました。

歴史的遺産の宝庫でもある奈良市中心部の交通至便な場所に位置するキャンパスに、文学部、理学部、生活環境学部の文系理系がバランス良く配置された3学部を擁し、さらに高度な教育研究を担う文理融合の学際的な研究を特色とする大学院人間文化研究科を配置して、小規模ながらも個性ある教育・研究を推進することを目指しています。

平成16年度には、本学における国際交流の推進に寄与することを目的として、国際交流センターを設置しました。現在アジアを中心に29の大学と学生交流協定を締結しており、約150名の留学生が在籍しています。

○国際交流の実績

- ・留学生数 149名 (H23.10.1現在)
- ・過去10年の受入実績 計9名
内訳:
ミャンマー5名、
ラオス、ペルー、オーストラリア、中国 各1名

◇教員研修コースの概要

○プログラムの特色

- ・受入れ学部・研究科は、文学部、人間文化研究科
- ・教育学・人間学コースを中心に、各専門分野の教員と連携を取って指導
- ・少人数のゼミと研究テーマに応じた個別的な指導
- ・附属幼稚園、小学校、中等教育学校との連携や近隣諸学校の協力による実践的指導

○受入定員 3人

○研修コースの概要

- ・日本語教育
 - ・日本語コース実施機関で半年間の予備教育を受ける。
 - ・本学入学後は、本学開設の日本語科目の授業(中級～上級)の受講が可能。
 - ・日本語その他(専門教育分野の事項)の補助的指導を受けられるチューター制度あり。
 - ・日本語入門、ビジネス日本語の受講が可能
- ・専門教育
 - ア) 形態
 - ・講義、演習、講読、実習(実験)、実技、特殊研究
 - ・研究発表形式
 - ・研究テーマに応じた個別的な指導
 - ・10～20人の少人数教育
 - イ) 英語による授業科目
 - ・研修生のための特別授業、「日本の教育の現状と課題」
 - ・原書講読(2レベル)
 - ウ) その他
 - ・附属校園での実践的研究
 - ・野外巡見・調査

◇宿 舎

【日本語教育期間(大阪第一国際交流会館)
ただし、必ずしも入居できるとは限りませんので、民間住宅を探していただく場合があります。

【専門教育期間(国際交流会館又は国際学生宿舎)
どちらも空室があれば入居することができます。

○宿舎数

- ・単身用 国際交流会館36室、国際学生宿舎32室
- ・夫婦用 国際交流会館1室
- ・世帯用 国際交流会館1室

○宿舎費

- 国際交流会館(単身室): 保証金10,000円(入居時)、
清掃費10,000円(入居時)、家賃5,900円/月
- 国際学生宿舎: 家賃4,700円/月、共益費1,200円/月
- どちらの宿舎も光熱水費が別途必要

○宿舎設備・備品

どちらの宿舎もベッド、机、イス、本棚、クローゼット、トイレ、バス完備。キッチン、洗濯室は共用。

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

国際学生宿舎は本学正門の向かい側、国際交流会館は大学から徒歩5分のところにあり、どちらも通学に便利です。最寄り駅から徒歩5分程度で、駅周辺には店もたくさんあり生活にも便利なところです。

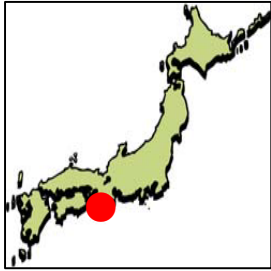
◇問い合わせ先

〒630-8506 奈良市北魚屋東町
奈良女子大学国際課留学生係
Tel: 0742-20-3240 Fax: 0742-20-3309
E-mail: ryugakusei@cc.nara-wu.ac.jp
URL: <http://www.nara-wu.ac.jp/>

大学名：奈良女子大学(大学番号36)

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

文学部・人間文化研究科						
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
36001	藤井康之 准教授	yakororin@yahoo.co.jp	音楽教育	音楽教育に関する指導	計3人	大学での講義等が理解できる専門的基礎知識、英語能力必須
36002	伊藤一也 准教授	k.ito@cc.nara-wu.ac.jp	教育哲学	教育哲学に関する指導、ならびに 附属校園での実践的研究		大学での講義等が理解できる専門的基礎知識、英語能力必須(3名: ミャンマー、中国)
36003	功刀俊雄 教授	kunugi@cc.nara-wu.ac.jp	身体文化史	身体文化史に関する指導		大学での講義等が理解できる専門的基礎知識、英語能力必須
36004	柳澤有吾 教授	y-yanagi@cc.nara-wu.ac.jp	倫理学	倫理学の理論と応用に関する指導		大学での講義等が理解できる専門的基礎知識、英語能力必須
36005	西村拓生 教授	takuo@cc.nara-wu.ac.jp	教育史	教育史に関する指導、ならびに附属校園での実践的研究		大学での講義等が理解できる専門的基礎知識、英語能力必須
36006	鈴木康史 准教授	kosuzu@cc.nara-wu.ac.jp	身体文化学	身体の文化学的研究に関する指導		大学での講義等が理解できる専門的基礎知識、英語能力必須
36007	保田 卓 准教授	tyasuda@cc.nara-wu.ac.jp	教育社会学	教育社会学に関する指導		大学での講義等が理解できる専門的基礎知識、英語能力必須



和歌山大学(和歌山県)



各留学生の希望に沿ったカリキュラム構成と教職員が一体となったアドバイザー制度

◇大学紹介

○大学の概要

1. 大学の特色

和歌山大学は、1949年(昭和24年)に新制大学として設置されました。本学は、学芸学部(現・教育学部)・経済学部の2学部をもって発足し、1995年(平成7年)10月にシステム工学部を開設、2008(平成20年度)4月に新たに観光学部を開設し、4学部からなる和歌山県下唯一の国立大学として順調な発展を遂げています。

2. 担当大学院紹介

本プログラムは大学院教育学研究科(修士課程)において実施されます。この大学院には、学校教育専攻(学校教育, 発達支援教育)と教科教育専攻(国語教育, 社会科教育, 数学教育, 理科教育, 音楽教育, 美術教育, 保健体育, 技術教育, 家政教育, 英語教育)があります。小学校, 中学校, 高等学校で教員として豊富な経験を持つ多くの人たちが学生として学んでいます。

3. 地域の特色

和歌山大学のある和歌山市は大阪から約1時間、関西国際空港から約30分のところに位置する人口約37万人の都市です。美しい山と海に囲まれ、機構の温暖な暮らしやすい町です。また、万葉集に歌われた和歌の浦や和歌山城などの史跡や名所に恵まれた伝統の町でもあります。

○国際交流の実績

・留学生数 147名(9カ国)

・受入実績

2007年度 4名
2008年度 3名
2011年度 2名

◇教員研修コースの概要

○プログラムの特色

- ・留学生の希望に応じカリキュラムを構成し少人数教育を行います。
- ・附属学校等の協力をもとに実践的な指導を行います。
- ・日本における研究、生活面でのアドバイザー制度があります。

○受入定員 16名程度

○研修コースの概要

(1)日本語教育

日本語予備教育(大阪大学で半年間)
日本語ⅠA～ⅠD
日本語ⅡA～ⅡD
日本文化と入門ビジネスジャパニーズ
日本事情
日本語補講

(2)専門教育

①形態: 講義, 演習, 実習

留学生の希望する研究テーマをもとに、その分野の担当教員が指導教員となり、研究指導を行う。
希望があれば研究分野以外の講義等の受講も認める。

②英語による授業科目: なし

(3)その他

留学生のための研修旅行
留学生による日本語スピーチコンテスト
日本文化紹介講座(夏・冬)

◇修了生へのフォローアップ

WEBサイト「留学生の広場」

本学の事業の連絡、様々な情報を発信し、交流できるサイトをつくっています。

◇宿 舎

○宿舎数

- ・単身用 24室
- ・夫婦用 なし
- ・世帯用 なし

○宿舎費 月額9,500円

【賃料5,900円+共益費3,600円(水道料含む)】

○宿舎設備・備品

ベッド、テーブル、机、ロッカー、靴箱、ミニキッチン、ユニットバストイレ、空調器、インターネット

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

所在地: 和歌山市西高松(和歌山市の中心地付近)
大学までバスで約30分~40分。

◇問い合わせ先

大学所在地: 和歌山市栄谷930

担当部署: 和歌山大学国際教育研究センター

連絡先: TEL073-457-7524 FAX073-457-7520

E-mail kokusai@center.wakayama-u.ac.jp

ホームページアドレス:

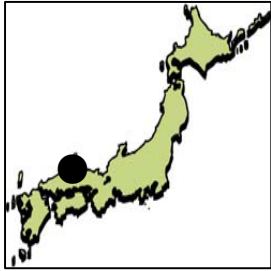
<http://www.wakayama-u.ac.jp/>

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

教育学研究科				コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力・専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)	
37001	久保富三夫 教授	kubofumi@center.wakayama-u.ac.jp	教育行政学・学校経営	日本の学校教育に関連した諸問題	1	研究遂行に十分なレベルの日本語	モンゴル1名(2007年度) フィリピン1名(2007年度)				
	松浦善満 教授	matsuura@center.wakayama-u.ac.jp	教育社会学・教育調査論								
	船越勝 教授	funakosm@center.wakayama-u.ac.jp	生活指導・道德教育論								
	越野章史 准教授	koshinos@center.wakayama-u.ac.jp	教育思想・教育哲学								
	豊田充崇 准教授	toyoda@center.wakayama-u.ac.jp	情報教育								
	二宮衆一 准教授	nshuichi@center.wakayama-u.ac.jp	カリキュラム研究・教育方法								
	平田知美 講師	thirata@center.wakayama-u.ac.jp	教育評価・授業論								
37002	竹田真理子 教授	takedam@center.wakayama-u.ac.jp	心理学	学校心理学、特に教育心理学・発達心理学・教育臨床心理学に関する研修を行う	1	特になし	インドネシア1名(2007年度)				
	菅千索 教授	suga@center.wakayama-u.ac.jp									
	米澤好史 教授	yonezawa@center.wakayama-u.ac.jp									
	則定百合子 講師	norisada@center.wakayama-u.ac.jp									
37003	江田裕介 教授	eda@center.wakayama-u.ac.jp	特別支援教育	障害児の教育について、①教育学、②心理学、③医学、④指導法、⑤社会福祉の各分野から知識・技能を学ぶ	1	特になし	ブラジル1名(2008年度)				
	山崎由可里 教授	yukari25@center.wakayama-u.ac.jp									
	小野次朗 教授	onoj@center.wakayama-u.ac.jp									
	武田鉄郎 教授	takeda7@center.wakayama-u.ac.jp									
	古井克憲 講師	kfurui@center.wakayama-u.ac.jp									
37004	丸山範高 准教授	noritaka@center.wakayama-u.ac.jp	国語科教育	学校教育における国語科の教育法を研究する。特に中学校・高等学校の国語科の教育法が中心となる。	1	研究遂行に足る水準の日本語					
	菊川恵三 教授	kikukawa@center.wakayama-u.ac.jp	国語科教育・日本文学	古代から現代までの日本文学作品を読み、日本文学・日本文化を総合的に理解する。また、学校教育の教材としての分析も試みる。							
	柏原卓 教授	kashiwbr@center.wakayama-u.ac.jp	日本語学	古代から現代までの日本語史を研究するとともに、現代日本語の方言も研究する。							
	平澤啓 教授	hirasawa@center.wakayama-u.ac.jp		現代日本語の構造を研究するとともに歴史的変遷についても研究し、通時的・共時的な研究をすすめ、総合的に日本語を理解する。							
	佐藤和正 教授	satoh@center.wakayama-u.ac.jp	近代文学	近現代の日本文学のうち、小説・評論を中心に研究する。							
	松村巧 教授	matsu28@center.wakayama-u.ac.jp	中国思想・中国文学	古代から現代に至る中国の思想・宗教・文化・言語などを総合的に研究する。あわせて、中国と日本との比較文化論の課題を研究する。							

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)	
37005	川本治雄 教授	kawamoto@center.wakayama-u.ac.jp	社会科教育	日本の社会科教育の動向や特色について理解を深める	1	特になし	
	藤本清二郎 教授	fujisei@center.wakayama-u.ac.jp	日本史				
	海津一朗 教授	kaizu@center.wakayama-u.ac.jp					
37005	三品英憲 准教授	mishina@center.wakayama-u.ac.jp	世界史	日本における世界史研究の動向や特色についての理解を深める	1	研究遂行に足りる水準の日本語	
	島津俊之 准教授	shimazu@center.wakayama-u.ac.jp	人文地理学	日本の地誌及び都市の歴史地理学的研究法		特になし	
	内田みどり 准教授	midoriu@center.wakayama-u.ac.jp	政治学	政治学の基本的概念の理解と応用		英会話の基礎能力があり、専門分野の内容を1年以上学習していること	
	米田頼司 准教授	7yoneda@center.wakayama-u.ac.jp	社会学			特になし	
	天野雅郎 教授	mamano@center.wakayama-u.ac.jp	哲学史				
	小関彩子 准教授	ozeki@center.wakayama-u.ac.jp	哲学				
37006	片岡啓 教授	kataoka@center.wakayama-u.ac.jp	数学教育・数学	数学の基礎(代数、幾何、解析、数学教育など)	1	特になし	
	田川裕之 准教授	tagawa@center.wakayama-u.ac.jp					
	片山聡一郎 教授	katayama@center.wakayama-u.ac.jp					
	川上智博 准教授	kawa@center.wakayama-u.ac.jp					
37007	石塚亙 教授	ishizuka@center.wakayama-u.ac.jp	理科教育・物理学	教科専門の指導(物理学)、物理教育	1	物理学もしくは自然科学に関する教育経験を有する者、または、高等教育機関で物理学を専攻した経験がある者	
	木曾田寛治 教授	kisoda@center.wakayama-u.ac.jp					
	顧 萍 准教授	guping@center.wakayama-u.ac.jp					
37008	神田和香子 教授	kanda@center.wakayama-u.ac.jp	理科教育	化学の実験・研究、化学教育についての研究	1	特になし	
	山口真範 准教授	masayama@center.wakayama-u.ac.jp	理科教育・化学				
	木村憲喜 准教授	nkimura@center.wakayama-u.ac.jp					
37009	高須英樹 教授	takasu@center.wakayama-u.ac.jp	生物学	動物生理学(魚類を中心とする)、動物行動・生態学(カニ類を中心とする)及び植物形態学・生態学(高等植物を中心とする)のいずれかを選択して研修を行う。	1	特になし	
	梶村麻紀子 准教授	kajimur@center.wakayama-u.ac.jp					
	古賀庸憲 教授	tkoga@center.wakayama-u.ac.jp					
37010	久富邦彦 教授	hisatomi@center.wakayama-u.ac.jp	堆積学	セミナー、レクチャー及び実験・実習指導	1	英会話の基礎能力があり、専門分野の内容を1年以上学習していること	
	此松昌彦 教授	matsu@center.wakayama-u.ac.jp	古環境学・防災教育				
	富田晃彦 准教授	atomita@center.wakayama-u.ac.jp	天文学・科学教育				
37011	嶋田由美 教授	shimada@center.wakayama-u.ac.jp	音楽科教育	音楽の基礎、並びに音楽教育の基礎	1	音楽の教科書類や音楽事典が読める程度の語学力	
	菅道子 教授	kan@center.wakayama-u.ac.jp					
	山名仁 教授	yamana@center.wakayama-u.ac.jp					器楽(ピアノ)
	泉健 教授	izumi@center.wakayama-u.ac.jp					音楽学

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)		
37012	永守基樹 教授	nagamori@center.wakayama-u.ac.jp	美術科教育		1	英会話の基礎能力があり、専門分野の内容を2年以上学習していること		
	高木栄一 教授	takagi@center.wakayama-u.ac.jp	絵画					
	永沼理善 准教授	naganuma@center.wakayama-u.ac.jp	彫刻					
	山崎直秀 教授	yamazaki@center.wakayama-u.ac.jp	デザイン					
37012	寺川剛央 准教授	terakawa@center.wakayama-u.ac.jp	工芸			英会話の基礎能力があり、専門分野の内容を2年以上学習していること		
	高橋健一 准教授	kenichit@center.wakayama-u.ac.jp	美術理論・美術史					
37013	片渕美穂子 准教授	mkata@center.wakayama-u.ac.jp	体育学	健康観及び身体観に関する歴史的研究	1			
	池田拓人 准教授	takuto@center.wakayama-u.ac.jp		近代日本における柔道教育の歴史的研究				
	加藤弘 教授	katotai@center.wakayama-u.ac.jp	運動学	運動生理学及びバイオメカニクス(キネシオロジー)の側面からスポーツの動きや日常生活における動きを扱う。				
	矢野勝 教授	yano@center.wakayama-u.ac.jp		トレーニング及び柔道技術の分析とその指導法				
	本山貢 教授	motoyama@center.wakayama-u.ac.jp		運動医学・健康科学				中高年者の体力と筋力を維持増進するための運動処方について。
37014	佐藤史人 教授	satofumi@center.wakayama-u.ac.jp	職業・技術教育	中等教育段階における職業・技術教育の実証的研究	1	特になし		
	池際博行 教授	ikegiwa@center.wakayama-u.ac.jp	機械・木材加工	木材の切削加工に伴う作業環境				
	井嶋博 准教授	ijima@center.wakayama-u.ac.jp	電気電子・メカトロニクス	ものづくりのための電子工学とメカトロニクス教材開発に関する研究				
37015	赤松純子 教授	akamatsu@center.wakayama-u.ac.jp	家庭科教育	教材開発及び消費者教育に関する研究	1	特になし		
	山本奈美 講師	namiyama@center.wakayama-u.ac.jp	食物学・家庭科教育	調理学及び食教育に関する研究				
	今村律子 教授	ritsuko@center.wakayama-u.ac.jp	被服学	衣生活、衣環境に関する研究				
	本村めぐみ 准教授	motomura@center.wakayama-u.ac.jp	家族関係学	家族関係及びシティズンシップ教育に関する研究				
37016	江利川春雄 教授	erikawa@center.wakayama-u.ac.jp	英語科教育	英語科教育、英語学、英米文学、言語情報	1	特になし	ミャンマー1名 (2011年度)	
	尾上利美 講師	onoe@center.wakayama-u.ac.jp						
	土井仁 教授	jjindoi@center.wakayama-u.ac.jp	英米文学					
	坂本正雄 教授	sakamoto@center.wakayama-u.ac.jp						
	今村隆男 教授	imamura@center.wakayama-u.ac.jp						
	小栗栖等 教授	ogurisu@center.wakayama-u.ac.jp	仏語					仏語、仏文学
	永井邦彦 教授	nagaiku@center.wakayama-u.ac.jp	独語					独語、独文学
	兵頭俊樹 准教授	hyodo@center.wakayama-u.ac.jp						
千田まや 准教授	chida@center.wakayama-u.ac.jp							



鳥取大学 (鳥取県)



地域が抱える多種多様な問題を学術的かつ実践的に解決するための教育研究

◇大学紹介

○大学の概要

鳥取大学は「知と実践の融合」を教育理念とし、地域社会との連携を重視する実学に秀でた大学です。構成学部は、地域学部、医学部、工学部、農学部であり、何れの学部においても知識と共に実践的な能力を養うことに力を注いでいます。研究面でも毎回のようCOEへも採択されており、その活動は高く評価されています。

地域学研究科は、地域社会の再生・発展に向けて、地域が抱える多種多様な問題を学術的かつ実践的に解決するための教育研究を行うとともに、地域政策、地域文化、地域環境、地域教育という個別専門領域に関わるスペシャリスト（高度専門職業人）を養成することを目的としています。

○国際交流の実績（2011年5月1日現在）

・留学生数 169名（25国・地域）

・受入実績

2011年：1名 2010年：0名 2009年：0名
2008年：0名 2007年：1名

◇教員研修コースの概要

○プログラムの特色

本プログラムでは、山陰地方及び環日本海文化圏の地域特性を考慮して、教育の国際化・情報化及び生涯教育・環境教育・福祉教育など、幅広い分野について学ぶことができます。

○受入定員 4人

○研修コースの概要

・日本語教育

7) 期間：2012年10月～2013年3月（半年間）

1) 形態・内容

日本語集中研修コース

国際交流センターにおいて生活や修学のために必要な日本語教育を集中的に行い、基本的な自己表現やコミュニケーションが行えるようにします。

〈基礎日本語〉10コマ・〈漢字と文章〉2コマ・

〈日本語総合学習〉1コマ・〈日本語とコンピュータ〉1コマ

〈専門日本語〉1コマ・〈日本事情〉1コマ

2) 試験・評価

ミニクイズや中間テストの成績と、修了発表、出席率、授業内容での活動などから総合的に評価します。

・専門教育

7) 期間：2013年4月～2014年3月（1年間）

1) 形態・内容

大学院の留学生と同様に指導教員による個別指導をうけて、各自の研修課題について深く研究します。留学生のニーズに応じて、専攻分野に関連する科目を受講します。

・見学・地域交流等の参加型科目

日本事情において、地域文化・産業を見学する機会を設けています。

・その他

留学生研修バス旅行・スキー研修・企業見学会
着物着付け教室・日本語スピーチコンテスト等、地域社会と連携して実施している様々な行事にも参加することができます。

◇修了生へのフォローアップ

フォローアップに対応できるよう、帰国者の連絡先・名簿を保存しています。修了後のキャリアパスについては本人に任せています。

◇宿 舎

○宿舎数

・1人用 50室
・2人用 6室
・3人用 3室

○宿舎費

・1人部屋 5,000円～6,000円
・2人部屋 12,000円
・3人部屋 15,000円

○宿舎設備・備品

室内にはベット、机、エアコン、書棚、タンス、シューズボックスを設置。共用設備として、シャワー室、ランドリーラウンジ、和室。

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

・周辺に病院・スーパーあり
・通学時間 徒歩15分

◇問い合わせ先

大学所在地 鳥取市湖山町南4-101

担当部署 鳥取大学地域学部教務係

連絡先 (TEL、FAX、E-mail)

TEL : 0857-31-5178

FAX : 0857-31-5076

E-mail : reg-kyoumu@adm.tottori-u.ac.jp

ホームページアドレスなど

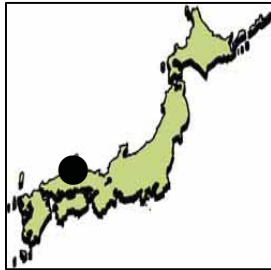
<http://www.rs.tottori-u.ac.jp/>

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

地域学研究科						
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
38001	門田 眞知子 教授	kadota@rstu.jp	仏文学・比較文化	フランス文学・比較文化論	1人	文科省の応募資格を満たしていれば良い。
	ケイツ・キッペン 教授	kcates@rstu.jp	応用言語学	異文化交流・異文化理解		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
	田中 仁 教授	tanaka-h@rstu.jp	国文学	日本の古典文学		大学在学中に日本古典文学を専攻していることが望ましい。
	内藤 久子 教授	hnaito@rstu.jp	音楽学	音楽学に関すること		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
	野田 邦弘 教授	nomad@rstu.jp	都市学	都市の文化・計画・開発		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
	吉村 伸夫 教授	yoshi121@rstu.jp	英米文学	17世紀イングランドの文学と社会		大学在学中に英文学を専攻していることが望ましい。
	茨木 透 准教授	ibaraki@rstu.jp	文化人類学	西アフリカの社会と文化		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
	榎木 久薫 教授	enoki@rstu.jp	日本語学	音韻史を中心とした日本語学		大学在学中に日本語学を専攻していることが望ましい。
	岸本 覚 准教授	kishimoto@rstu.jp	日本史	19世紀日本における政治と社会		大学在学中に歴史学を専攻していることが望ましい。
	北川扶生子 准教授	fukiko@rstu.jp	国文学	日本近代文学の研究		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
	長柄 裕美 准教授	nagara@rstu.jp	英文学	イギリス近現代小説の研究		大学在学中に英文学を専攻していることが望ましい。
	福元 広二 准教授	fukumoto@rstu.jp	英語学	英語史、社会言語学、語用論		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
	柳原 邦光 教授	k.yanagi@rstu.jp	西洋史	フランス革命史		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
	高阪 一治 教授	kosaka@rstu.jp	美術理論・美術史	美術史・美術理論研究		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
	石谷 孝二 教授	ishitani@rstu.jp	彫刻	彫刻研究		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
	新倉 健 教授	niikura@rstu.jp	作曲	作曲に関すること		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
	佐分利育代 教授	saburi@rstu.jp	舞踊学	ダンス指導・障害児の動きとダンス指導		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
	西岡 千秋 教授	ciachi@rstu.jp	声楽	声楽教育に関すること		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
平井 覚 教授	hirai@rstu.jp	デザイン	デザイン研究	文科省の応募資格を満たしていれば良い。		
五島 朋子 准教授	tgoto@rstu.jp	アートマネジメント	舞台芸術におけるアートマネジメント	文科省の応募資格を満たしていれば良い。		

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
38002	安藤 由和 教授	andoh@rstu.jp	物理学	固体物理学	1人	大学在学中に物理学を専攻した者。
	田村 純一 教授	itamura@rstu.jp	化学	有機化学		大学在学中に有機化学を専攻した者
	鶴崎 展巨 教授	ntsuru@rstu.jp	生物学	動物分類学, 進化生物学		大学在学中に生物学を専攻した者。
	錦織 勤 教授	nisikori@rstu.jp	日本史学	日本中世史		大学在学中に日本史学を専攻した者
	松本 健治 教授	kenji@rstu.jp	学校保健	学校保健に関すること		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
	矢野 孝雄 教授	yano@rstu.jp	地質学	層序学・構造地質学		大学在学中に地質学を専攻した者
	小玉 芳敬 教授	kodama@rstu.jp	地形学	動的地形学		大学在学中に自然地理学を専攻した者
	高田 健一 准教授	takata@rstu.jp	考古学	弥生時代、古墳時代、文化遺産		大学在学中に考古学を専攻した者。
	中原 計 准教授	nakahara@rstu.jp	考古学	環境考古学、植物考古学		大学在学中に考古学を専攻した者。
	田川 公太郎 准教授	tagawa@rstu.jp">tagawa@rstu.jp	物理学	自然エネルギーに関すること		大学在学中に物理学を履修した者。
	永松 大 准教授	daina@rstu.jp	生物学	植物生態学, 保全生物学		大学在学中に生物学を専攻した者。
	平田 佐和子 准教授	horais@rstu.jp	化学	環境生物無機化学		大学在学中に無機化学を専攻した者。
38003	小枝 達也 教授	koeda@rstu.jp	障害児等病理	神経生理学の研究	1人	文科省の応募資格を満たしていれば良い。
	高取憲一郎 教授	takatori@rstu.jp	教育心理学	ピアジェとウイゴツキーの心理学		大学在学中に心理学を専攻した者。
	山根 俊喜 教授	haruhi@rstu.jp	教育方法学	教育評価論, 教育課程論		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
	塩野谷 斉 教授	shionova@rstu.jp	保育学	保育環境		大学在学中に保育学を専攻した者
	寺川志奈子 教授	shinako@rstu.jp	障害児等教育	障害児の心理学		大学在学中に心理学を専攻した者。
	一盛 真 准教授	ichimori@rstu.jp	教育史	教育史、人権教育		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
	児島 明 准教授	akirak@rstu.jp	教育社会学	教育社会学		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
	河合 務 准教授	tkawai@rstu.jp	教育思想史	教育に関する思想史的研究		大学在学中に教育学を専攻した者。教育に関する思想史的研究に関心のある者。
	高橋 千枝 准教授	c-takahashi@rstu.jp	発達心理学	幼児期の発達・教育		大学在学中に心理学および教育学を専攻した者。
	田中 大介 准教授	tanaka@rstu.jp	発達・認知心理学	認知発達、認知機能に関する実験的アプローチ		大学在学中に心理学を専攻した者。
	三木 裕和 准教授	hmiki@rstu.jp	障害児教育	障害児教育実践論		文科省の応募資格を満たしていれば良い。

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
38004	足立 和美 教授	kaz@rstu.jp	英語科教育	英語教育における理論と実践・教材開発	1人	文科省の応募資格を満たしていれば良い。
	小川 容子 教授	yogawa@rstu.jp	音楽科教育	音楽科教育に関すること		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
	杉本 良一 教授	sugi@rstu.jp	理科教育	理科のカリキュラムと指導		大学在学中に物理学・理科教育学を専攻した者。文科省の応募資格を満たしていれば良い。
	住川 英明 教授	sumikawa@rstu.jp	書 道	漢字仮名交じりの書の指導法		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
	高橋ちぐさ 教授	takahashi@rstu.jp	理科教育・生物学	理科教育・理科内容学(生物)		大学在学中に遺伝学, 生物学または理科教育学を専攻した者。 受入れ実績 ミャンマー:1人
	土井 康作 教授	doi@rstu.jp	技術科教育	技術教育の目的		大学在学中に教育学を専攻した者。
	矢部 敏昭 教授	tsyabe@rstu.jp	数学教育学	算数・数学の教授-学習		文科省の応募資格を満たしていれば良い
	小笠原 拓 准教授	taku@rstu.jp	国語科教育	教育の実践的研究		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
	喜久山 悟 教授	kikuyama@rstu.jp	美術科教育	美術科教材開発		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
	関 耕二 准教授	sekikoji@rstu.jp	体育学	運動生理学・体育方法学分野からの研究		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
	福田 恵子 准教授	k-fukuda@rstu.jp	家庭科教育	家庭科の教材開発		文科省の応募資格を満たしていれば良い。
	高橋 健司 准教授	ktakahasi@rstu.jp	社会科教育	社会科の実践的研究・教材開発研究		文科省の応募資格を満たしていれば良い。



島根大学 (島根県)



伝統文化が色濃く残る地方都市で、地域の教育団体との交流も交えながら研修を行う

◇大学紹介

○大学の概要

島根大学は法文学部、教育学部、生物資源科学部、総合理工学部、医学部で構成される中規模総合大学である。温かい指導と人情豊かな雰囲気の中で行われる少人数教育が大学の特色の一つで、授業内外で教員とのふれあいの機会も多く、留学生同士また日本人学生との交流も活発である。

松江市は、宍道湖、日本海、中国山地に囲まれた自然豊かな美しい地方都市であり、国際文化観光都市にも指定されている。城下町として知られ、古くから茶道や和菓子の文化が栄え、周辺には神社や仏閣、史跡、温泉が点在している。他県と比べ、島根県内に在住する外国人は少ないが、地域の人々との交流が盛んである。治安もよく、冬には時々雪が降るが、年間を通して気候は穏やかで住みやすい。

○国際交流の実績

(2011年10月1日現在)

- ・留学生数:191名
- ・教員研修留学生受入実績(過去5年)
インドネシア、メキシコ3、パラグアイ、フィリピン2、ミャンマー、タイ、ケニア、ベラルーシ、モロッコ

◇教員研修コースの概要

○プログラムの特色

附属学校を始めとする地域の教育施設や、教育団体との連携による個別指導を中心とした研修を実施

○受入定員 10名

○研修コースの概要

- ・日本語教育

文部科学省が指定する大学の日本語研修コースで半年間日本語研修を受ける。島根大学での日本語補講も実施する。

- ・専門教育

留学生各人の研究テーマに沿った特別カリキュラムと個人指導との組み合わせによる講義・自習を行う。

- ・見学・地域交流等の参加型科目

伝統工芸や地場産業の見学など日本の文化や地域への理解を深めることを目的とした留学生見学旅行を年4回程度実施する。

- ・その他

ホームステイへの参加や地域イベントの参加もある。

◇修了生へのフォローアップ

修了生には修了証を発行する。



島根伝統芸能: どりょうすくい(安来節)



◇宿舎

○宿舎数

- ・単身用 26室
- ・夫婦用 1室

○宿舎費

単身用 月額5,900円 夫婦用 月額9,500円

○宿舎設備・備品

単身用のシャワー、共用調理室、インターネット等

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

大学から徒歩5分のところに留学生用宿舎「国際交流会館」がある。入居希望者が多い場合、民間アパートを斡旋する。

◇問い合わせ先

〒690-8504

島根県松江市西川津町1060

島根大学国際交流課留学生係

Tel: +81-(0)852-32-6106

Fax: +81-(0)852-32-6481

E-mail: gak-ryugaku@jn.shimane-u.ac.jp

H.P: <http://www.shimane-u.ac.jp/>

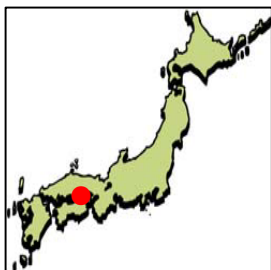


◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

教育学研究科, 教育学部						
コースコード	教員名	メールアドレス @edu.shimane-u.ac.jp	分野	研修の内容	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
39001	富竹 徹 教授	tomitake@	数学教育	数学的な考え方	1	日本語または英語での会話が可能であること
	権藤 誠剛 教授	gondo@	教育方法学	授業研究	1	日本語または英語での会話が可能であること
	加藤 寿朗 准教授	kato@	社会科教育	社会科教育	1	日本語または英語での会話が可能であること(ミャンマー1名)
	川路 澄人 准教授	kawaji@	美術科教育	美術科教育	1	日本語または英語での会話が可能であること
	廣兼 志保 准教授	shiho-h@	体育科教育	体育科教育,ダンス教育	1	大学で当該分野を専攻した者、日本語の十分な能力を有する者
	松本 一郎 准教授	chromim@	岩石・鉱床学、環境科学	地学教育、環境教育	1	日本語または英語での会話が可能であること
	丸橋 静香 准教授	inoues@	家政教育学	家政教育、環境教育	1	日本語または英語での会話が可能であること
	百合田 真樹人 准教授	yurita@edu.	教師教育・教育哲学	教師教育・教育哲学	2	英語または日本語の会話が可能であること
39002	堤 雅雄 教授	tutumi@	青年心理学	青年心理学,人格心理学	1~2	日本語または英語での会話が可能であること
	高山 草二 教授	takayama@	学習心理学	学習心理学	1	日本語または英語での会話が可能であること
	肥後 功一 教授	higo@	教育臨床心理学	教育臨床心理学	1	当該分野を専攻し日本語または英語での会話が可能であること
	岩宮 恵子 教授	iwamiya@	臨床心理学	臨床心理学	1	当該分野を専攻し日本語での複雑な会話が可能であること
	稲垣 卓司 教授	inagaki@	児童・思春期精神医学	児童・思春期精神医学	1	日本語または英語での会話が可能であること
	三宅 理子 准教授	riko@	臨床心理学	臨床心理学	1	当該分野を専攻し日本語での複雑な会話が可能であること
39003	足立 悦男 教授	adachie@	日本語教育	日本語教育	1~2	日本語のできる者
	福田 景道 教授	afukuda@	日本古典文学	日本古典文学	1	日本語の十分な能力を有する者
	福田 哲之 教授	t-fukuda@	書道	書道	1	日本語のできる者

コースコード	教員名	メールアドレス @edu.shimane-u.ac.jp	分野	研修の内容	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学 能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人 数)
39003	竹田 健二 教授	takeda@	漢文学	漢文学	1	日本語のできる者
	林 高宣 教授	hayashit@	英語学, 言語学	意味論, 語用論	1	当該分野を専攻し、日本語及び英語能力に支障のないこと
	縄田 裕幸 准教授	nawata@	英語学, 言語学	理論言語学, 生成文法理論, 史的統語論	1	当該分野を専攻し、日本語及び英語能力に支障のないこと
	百留 康晴 准教授	yhyakutome@	日本語学	日本語史 語彙意味論	1	日本語のできる者
	猫田 英伸 准教授	nekodah@	英語教育学	評価論, カリキュラム・シラバス論	1	関連分野を専攻し、日本語及び英語能力に支障のないこと
39004	林 正久 教授	hayashim@	自然地理学	地形学, 自然環境学, 地誌学	1	日本語または英語での会話が可能であること
	森本 直人 教授	morimoto@	社会科教育実践学	社会科教育実践学	1	日本語での会話が可能であること
	榎原 茂 教授	makihara@	西洋近代史	社会史, フランス近代史	1	日本語またはフランス語での会話が可能であること
	長谷川 博史 教授	hasegawai@	日本史	日本中世史	1	日本語での会話が可能であること
	富澤 芳亜 教授	y-tomi@	東洋史	東洋史	1	日本語での会話が可能であること
	作野 広和 准教授	hsakuno@	地理学	農業・農村問題, 人文地理学	1~2	日本語または英語での会話が可能であること
	諸岡 了介 准教授	morooka@	社会学	理論社会学, 現代社会論	1	日本語または英語での会話が可能であること
39005	青山 陽一 教授	aoyama@	代数学	代数学	1	日本語または英語ができること。
	辻 卓見 教授	tsuji@	統計学・組合せ論	統計学・組合せ論	1	日本語または英語ができること。
	泉 誠 教授	idzumi@	数理物理	数理物理	1	日本語または英語ができること。
39006	野村 律夫 教授	nomura@	地球環境科学	地学教育	1	日本語または英語ができること。
	秋重 幸邦 教授	akishige@	固体物理学	物理教育, エネルギー環境教育	1	日本語または英語ができること。(インドネシア1名)
	大谷 修司 教授	ohtani2458@	植物分類学	生物教育, 環境教育	1	日本語または英語ができること。
	西山 桂 准教授	katsura_nishiyama@	物理化学・ナノ化学	化学教育, 教材開発	1	日本語または英語ができること。
39007	多々納 道子 教授	tatano@	家政教育学	家政教育学	1	日本語または英語ができること。
	田中 昭夫 教授	tanakaki@	発達心理学	発達心理学	1	日本語または英語ができること。
	高橋 哲也 教授	ttetsuya@	被服学	被服学	1	日本語または英語の出来る者

コースコード	教員名	メールアドレス @edu.shimane-u.ac.jp	分野	研修の内容	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学 能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人 数)
39007	正岡 さち 准教授	sachi@	住居学	住居学	1	日本語または英語ができること。
	鶴永 陽子 准教授	ytsurunaga@	食物学	食物学	1	日本語または英語ができること。
39008	斎藤 重徳 教授	saitoh-s@	体育科教育	体育科教育	1	大学で当該分野を専攻した者、日本語の十分な能力を有する者
	中山 正吉 教授	nakayama@	スポーツ社会学	スポーツ社会学	1	大学で当該分野を専攻した者
	平井 章 教授	hiraisho@	体育科教育 スポーツ哲学	体育科教育・スポーツ哲学	1	大学で当該分野を専攻した者、日本語の十分な能力を有する者
	伊藤 豊彦 教授	itotoyo@	スポーツ心理学	スポーツ心理学	1	大学で当該分野を専攻した者、日本語の十分な能力を有する者
	境 英俊 教授	sakaihi@	運動学(武道)	運動学(武道)	1	大学で当該分野を専攻した者、日本語の十分な能力を有する者
	西村 覚 准教授	satoru-n@	健康教育学	健康教育学	1	大学で当該分野を専攻した者、日本語の十分な能力を有する者
	原 文貴 准教授	thara@	公衆衛生学・運動生理学	公衆衛生学・運動生理学	1	大学で当該分野を専攻した者、日本語の十分な能力を有する者
39009	永見 信久 教授	nagami@	器楽	弦楽器	1	日本語の出来る者
	高橋 正訓 教授	taka@	工芸	立体造形(金属造形)	1	日本語の出来る者
	島畑 斉 教授	simahata@	器楽	ピアノ	1	日本語の出来る者
	新井 知生 教授	arai@	絵画	絵画制作	1	日本語または英語での会話が可能であること
	河添 達也 准教授	kawasoi@	作曲	作曲	1	日本語または英語ができること。
	藤井 浩基 准教授	kofujii@	音楽科教育	音楽科教育	1	日本語または英語ができること。
	藤田 英樹 准教授	hidekif@	彫刻	彫刻制作	1	日本語の出来る者
	小谷 充 准教授	kotani@	デザイン	デザイン制作	1	日本語の出来る者
	佐々木 直樹 准教授	n-sasaki@	声楽	声楽	1	日本語の出来る者



岡山大学(岡山県)



コースの特色

滞日期間を3学期に等分し、第1学期では日本語と日本文化・日本事情の講義等に重点をおき、第2学期、第3学期となるに従って、専門分野に関する研修時間を多く取ります。

◇ 大学紹介

(1) 大学の特色と概要

岡山大学は、1949年に設立された国立大学ですが、その前身は1922年設立の岡山医科大学、1900年設立の第六高等学校など長い伝統があります。設立後発展を重ね、現在では11の学部及び7つの大学院を擁する全国で有数の総合大学です。

国際交流に力を入れているのが本学の特色のひとつです。本学に在籍している外国人留学生に対しての日本語教育は、言語教育センターが担当し、生活面のサポートは国際センターが行っています。

(2) 学生数

学部学生 10,287名 (2011年5月1日現在)
大学院生 3,273名 (2011年5月1日現在)

(3) 国際交流の実績

留学生在籍数 508名 (40ヶ国)
(2011年5月1日現在)
(教員研修留学生は、1980年から毎年1~8名受入れ、現在までに延べ16ヶ国125名を受け入れています。)

(4) 岡山市の特色

岡山大学のある岡山市は岡山県の県庁所在地で、この地方の政治、経済、教育、文化の中心地のひとつです。岡山市の人口は約70万人で、2009年4月から政令指定都市になりました。岡山市へは交通が大変便利です。新幹線を利用すれば、東京から3時間30分、新大阪から45分で岡山市に着きます。

◇ 教員研修コースの概要

研修プログラムの特色

日本語ができない研修生に6ヶ月間初歩から日本語と日本事情に関する研修を集中的に行う。その後、それぞれの研修生が深めたい専門教育を1年間行い、研修生の研修目的を十分に達成させます。

(1) 受入定員 12人以内

(2) 日本語予備教育

a) 基本コース

- ・ 10月から3月までの6ヶ月間、言語教育センターにおいて日本語予備教育として、日本語及び日本事情を原則として600時間実施します。
- ・ 研修生の日本語学習歴に応じ、また漢字圏、非漢字圏に分けてクラス編成しています。

b) 補講

- ・ 研修生のレベルに応じて補講を行っています。

(3) 専門教育

a) 形態

第1学期では週2時間、第2学期では週4時間、第3学期では週6時間の専門分野についての研修期間をとり、留学生1人につき1人以上の定められた指導教員が指導を行っています。

b) 英語による授業科目

一部の授業においては、英語による授業も可能です。

◇ 修了生へのフォローアップ

2011年10月に岡山大学留学生同窓会設立記念式典及び第1回総会が開催されました。今後、更に海外での活動を充実させ、本学修了生へのフォローアップに務めていく予定です。

◇ 宿舎

岡山大学外国人留学生・研究員宿泊施設に入居できます。この宿泊施設は大学の中心キャンパスである津島キャンパスから徒歩5~10分程度のところに位置しており、通学に大変便利です。

教員研修留学生は、研修期間中、優先して入居することができます。

宿舎料及び光熱水料は次のとおりです。

寄宿料 月額8,000円~18,000円
その他、電気、ガス、水道料金を負担

◇ 問い合わせ先

岡山大学教育学系教職支援グループ

所在地: 〒700-8530

岡山県岡山市北区津島中3丁目1番1号

TEL : 086-251-7588

FAX : 086-251-7586

E-mail : yamaoka-h@adm.okayama-u.ac.jp

URL : <http://www.okayama-u.ac.jp>

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

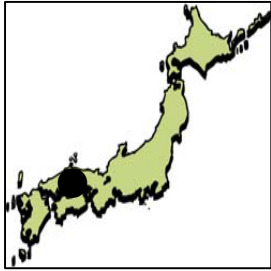
教育学研究科						
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
40001	田中智生 教授	tanakano@cc.okayama-u.ac.jp	国語科教育	母国語教育	国語教育講座全体で1	日本語で、読む・書く・話す・聞くことが、十分にできる者
	伊土耕平 教授	idoko@cc.okayama-u.ac.jp	日本語学	日本語の表現の分析		日本語で、読む・書く・話す・聞くことが、十分にできる者
	木村 功 教授	kimutaku@cc.okayama-u.ac.jp	日本文学	日本近代文学の研究		日本語で、読む・書く・話す・聞くことが、十分にできる者
	篤尾和宏 准教授	tsutao@cc.okayama-u.ac.jp	日本文学	日本中世文学の研究		日本語で、読む・書く・話す・聞くことが、十分にできる者
	土屋 聡 講師	tsuchi-s@cc.okayama-u.ac.jp	漢文学	漢文学の研究		日本語で、読む・書く・話す・聞くことが、十分にできる者
40002	菅 浩伸 教授	kan@cc.okayama-u.ac.jp	自然地理学	地形、土地利用とそれらの保護についての調査研究	1	英語もしくは日本語の話せる者、ガーナ 1
	岸本廣司 教授	kishi@cc.okayama-u.ac.jp	政治学	政治思想および政治史	1	日本語を読み・書き・話すことができる者
	野邊政雄 教授	nobe@cc.okayama-u.ac.jp	社会学	日本の農山村に住む高齢者	1	英語もしくは日本語のできる者
	平田公夫 教授	kihirata@cc.okayama-u.ac.jp	法律学	日本近代法の成立史	1	日本語を読み・書き・話すことができる者
	川田 力 准教授	tkawada@cc.okayama-u.ac.jp	人文地理学	日本地誌および地理教育	1	日本語もしくは英語、独語の話せる者
	桑原敏典 准教授	kuwabara@cc.okayama-u.ac.jp	社会科教育	社会科教育のカリキュラム、授業構成についての研究	1	日本もしくは英語を読み・話すことができる者
	斎藤夏来 准教授	saitou-n@cc.okayama-u.ac.jp	日本史学	日本史	1	日本語を読み・書き・話すことができる者
	宮崎宏志 准教授	sophia@cc.okayama-u.ac.jp	倫理学	倫理的見地からの道德教育	1	日本語を読み・書き・話すことができる者
山田秀和 准教授	hiyamada@cc.okayama-u.ac.jp	社会科教育	社会科教育のカリキュラム、授業構成についての研究(歴史教育中心)	1	日本語を読み・書き・話すことができる者	

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
40003	池田 章 教授	aikedada@cc.okayama-u.ac.jp	幾何学	微分幾何学	数学教育講座全体で3	日本語又は英語が話せること
	曾布川拓也 教授	sobu@cc.okayama-u.ac.jp	①解析学 ②数学科教育	解析学に関する研究, 中等教育における数学教育		日本語又は英語が話せること, インドネシア 1
	成瀬 弘 教授	rdcv1654@cc.okayama-u.ac.jp	代数学	群論		日本語又は英語が話せること
	平井安久 准教授	gdca1385@cc.okayama-u.ac.jp	数学科教育	小学校算数の指導法の研究		英語で論文を読んで, 英語で論文を書くことが可能であること, ミャンマー1, フィリピン1
	岡崎正和 准教授	masakazu@cc.okayama-u.ac.jp	数学科教育	算数・数学教育における理解論、授業設計論		日本語又は英語が話せること
40004	喜多雅一 教授	kitam@cc.okayama-u.ac.jp	化学教育・環境教育	南アフリカ・ガーナ・フィリピン・カンボジア・アフガニスタン・インドネシアなどの国々に有効な理科・環境教育カリキュラムと教材の開発	1	英語が話せること, ミャンマー1
	田中賢二 教授	k_tanaka@cc.okayama-u.ac.jp	理科教育	理科教育の比較・歴史的研究	1	日本語と英語を読み・書き・話すことができる者
	安藤元紀 准教授	andom@cc.okayama-u.ac.jp	生物学	細胞生理学, 生物物理学, 形態学	1	英語又は日本語ができること
	石川彰彦 准教授	teruhiko@cc.okayama-u.ac.jp	化学	新規合成反応の開発	1	英語又は日本語ができること
40004	稲田佳彦 教授	y-inada@cc.okayama-u.ac.jp	物理学	強相関電子系の物性研究。超伝導。磁性。極低温実験研究。物理教育	1	英語又は日本語ができること、フィリピン1
	加藤内蔵進 教授	kuranos@cc.okayama-u.ac.jp	気象学	東アジアの気候・水循環システム、及びその変動(梅雨、各季節のモンスーンとの関係など)	1	英語ができること、パラグアイ1
	藤井浩樹 准教授	fujii-hi@cc.okayama-u.ac.jp	理科教育	理科カリキュラム、理科学習指導の研究	1	英語又は日本語ができること
40005	山本宏子 教授	moro@cc.okayama-u.ac.jp	音楽学	音楽の理論と歴史等	1	大学学部卒業者、ブラジル 1
	齊藤 武 教授	saitake@cc.okayama-u.ac.jp	作曲・指揮法	作曲・作曲理論、指揮・指揮法	1	大学学部卒業以上の学力のある者及び現職教員
	長岡 功 准教授	isaon@cc.okayama-u.ac.jp	器楽	ピアノ演奏法	1	大学学部卒業以上の学力のある者及び現職教員
40006	泉谷淑夫 教授	izumiya@cc.okayama-u.ac.jp	絵画	構想画、鑑賞教育	美術教育講座全体で1	日本語が話せること
	上田久利 教授	hisa@cc.okayama-u.ac.jp	彫刻	彫刻制作、ワークショップの研究、障害者の造形活動支援研究		日本語が話せること

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
40006	橋ヶ谷佳正 教授	h1952712@cc.okayama-u.ac.jp	デザイン	デザイン教育、タイポグラフィーを基本とした ヴィジュアルデザイン	美術教育講 座全体で1	日本語が話せること
	赤木里香子 准教授	rikako@cc.okayama-u.ac.jp	美術科教育	美術、工芸教育、指導法		日本語が話せること、フィリピン1
	山本和史 准教授	kazuyama@cc.okayama-u.ac.jp	木材工芸	木材工芸、材料の加工法		日本語が話せること
40007	加賀 勝 教授	mkaga@cc.okayama-u.ac.jp	運動学	身体運動の分析	1	英語又は日本語が話せること
	徳永敏文 教授	ttokunag@cc.okayama-u.ac.jp	体育社会学	みんなのスポーツ、コミュニティスポーツ	1	日本語が話せること
	足立 稔 教授	adachi@cc.okayama-u.ac.jp	学校保健学	健康教育, 予防医学	1	日本語が話せること
	関根正美 教授	spsekine@cc.okayama-u.ac.jp	体育学	スポーツ哲学、生涯学習	1	日本語が話せること
	山口立雄 教授	tvama@cc.okayama-u.ac.jp	学校保健学	健康教育、喫煙防止教育	1	英語又は日本語が話せること
	原 祐一 講師	yuichi@cc.okayama-u.ac.jp	体育科教育	体育科教育	1	日本語が話せること
40008	河田哲典 教授	kawatat@cc.okayama-u.ac.jp	食物学	栄養化学	家政教育講 座全体で1	日本語が話せること
	佐藤 園 教授	ssono@cc.okayama-u.ac.jp	家庭科教育	家庭科教育		日本語が話せること
	李 環媛 准教授	leekw@cc.okayama-u.ac.jp	家庭管理学	家族関係		日本語が話せること
	篠原陽子 講師	sw20@cc.okayama-u.ac.jp	被服学	被服整理学		日本語が話せること
40009	大橋和正 教授	kazumasa@cc.okayama-u.ac.jp	機械(生産教育)	生産管理工学・生産教育を研究テーマとし、その内容は製造システムにおける工程計画論や作業者の技能訓練論を含む。	1	講義を理解できる日本語能力、希望する専門分野に関する基礎的知識
	平田晴路 教授	s-hirata@cc.okayama-u.ac.jp	技術科教育法、木材加工	技術科教育法:指導方法、教材開発、環境を配慮した技術教育 木材加工:手工具、加工動作、木材の硬さ	1	講義を理解できる日本語能力、希望する専門分野に関する基礎的知識
	入江 隆 准教授	irie@cc.okayama-u.ac.jp	情報処理	計測実験による情報の取得とその解析方法	1	講義を理解できる日本語能力、希望する専門分野に関する基礎的知識
40010	高塚成信 教授	eng_taka@cc.okayama-u.ac.jp	英語科教育	コミュニケーション方略研究	1	

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
40010	福永信哲 教授	shinfuku@cc.okayama-u.ac.jp	英文学	イギリス文学、特にヴィクトリア朝小説	1	講義を理解できる英語のレベルに達している人
	瀬田幸人 教授	yseta@cc.okayama-u.ac.jp	比較文化学	語彙を中心とする言語と文化の関係	1	英語もしくは日本語の話せる者
	岡田和也 准教授	kazokada@cc.okayama-u.ac.jp	英文学	英文学の指導	1	英語もしくは日本語が高いレベルで理解できる者
	脇本恭子 准教授	kwakimot@cc.okayama-u.ac.jp	英語学	18世紀の英国文学作品の言語・文体に関する研究	1	英語もしくは日本語が高いレベルで理解できる者、タイ1
	小山尚史 講師	tkoyama@cc.okayama-u.ac.jp	英語科教育	英語の聴解に関する研究	1	英語もしくは日本語でコミュニケーションができる者 オマーン1
	スコット・ガードナー 准教授	scott@cc.okayama-u.ac.jp	英語コミュニケーション	英語ライティング、異文化コミュニケーション、Bakhtinian Dialogue	1	
40011	佐藤 暁 教授	sato2ru@cc.okayama-u.ac.jp	障害児心理学	障害児心理臨床	1	
	眞田 敏 教授	kabasan@cc.okayama-u.ac.jp	障害児臨床	自閉症, ADHD, LDの基盤にある病態について	1	
	柳原文文 教授	yanagi@cc.okayama-u.ac.jp	障害児心理学	障害児、者に対する態度 障害児の認知発達	1	
	仲矢明孝 教授	nakaya@cc.okayama-u.ac.jp	障害児教育	知的障害児授業論	1	
	大竹喜久 教授	ohtake@cc.okayama-u.ac.jp	障害児教育	知的障害児教育課程・方法論	1	
	吉利 宗久 准教授	yositosi@cc.okayama-u.ac.jp	障害児教育	障害児教育法制	1	
40012	梶谷信之 教授	kajitani@cc.okayama-u.ac.jp	運動学	身体運動の分析	1	日本語が話せること
	高橋敏之 教授	foxbat@cc.okayama-u.ac.jp	保育内容学, 児童文化学, 芸術教育学	幼児の表現、言葉、環境、児童文化と、それに関連する保育実践、家庭教育、幼小一貫教育、小学校生活科教育について研究する。	1	日本語がある程度話せること
	片山美香 准教授	kmika@cc.okayama-u.ac.jp	発達臨床心理学	就学前から児童期に至る心理社会的発達支援に関する研究	1	日本語の文献が読めること
	横松友義 准教授	yokoma@cc.okayama-u.ac.jp	幼児教育	幼児教育の研究	1	日本語がある程度話せること
40013	高瀬 淳 准教授	takase@cc.okayama-u.ac.jp	教育経営・教育行政	日本の教育行政・制度について	1	日本語の文献が読めること

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
40013	山中芳和 教授	yama_na@cc.okayama-u.ac.jp	日本教育史	日本の教育の歴史について	1	日本語の文献が読めること
	尾上雅信 教授	onoue@cc.okayama-u.ac.jp	西洋教育史	日本におけるフランス教育史研究の概要	1	日本語の文献が読めること
	熊谷慎之輔 准教授	kumagai@cc.okayama-u.ac.jp	社会教育学	日本の社会教育・生涯学習について	1	日本語の文献が読めること
	山口健二 准教授	yama_ken@cc.okayama-u.ac.jp	教育社会学	日本の教育制度の社会学的研究	1	日本語の文献が読めること
	尾島 卓 准教授	ojitaku@cc.okayama-u.ac.jp	教育方法学	日本における学校教育実践に関する研究	1	日本語の文献が読めること、インドネシア1
40014	古市裕一 教授	furuichi@cc.okayama-u.ac.jp	教育臨床心理学	日本における児童・生徒の問題行動	教育心理学 全体で1	日本語の文献が読めること
	寺澤孝文 教授	terasawa@cc.okayama-u.ac.jp	学習心理学	学習・記憶に関する研究		日本語もしくは英語の話せる者
	山田剛史 准教授	tyamada@cc.okayama-u.ac.jp	教育評価・心理測定	教育測定または心理統計学に関する研究		日本語または英語が話せること ミャンマー1
	林 創 准教授	hajimu@cc.okayama-u.ac.jp	認知発達心理学	認知発達心理学に関する研究		日本語または英語が話せること
40015	山本 力 教授	tsutomu@cc.okayama-u.ac.jp	臨床心理学	悲嘆の心理臨床, スクールカウンセリング	教育臨床心理学専攻全体で1以内	日本語でのコミュニケーション能力が十分な者
	上地雄一郎 教授	ykamiji@cc.okayama-u.ac.jp	臨床心理学	パーソナリティの問題を抱えた人への心理療法		日本語でのコミュニケーション能力が十分な者
	東條光彦 教授	tojo_m@cc.okayama-u.ac.jp	臨床心理学	認知行動療法		日本語でのコミュニケーション能力が十分な者
	安藤美華代 准教授	miando@cc.okayama-u.ac.jp	臨床心理学	心の問題を予防するための心理的支援に関する研究		日本語でのコミュニケーション能力が十分な者
	桑原晴子 講師	harukuwa@cc.okayama-u.ac.jp	臨床心理学	心理療法		日本語でのコミュニケーション能力が十分な者



広島大学 (広島県)



教育における理論と実践の統合をめざして

◇大学紹介

○大学の概要

1949年広島文理科大学、広島高等師範学校などを包括して設置された。西日本の教育系大学の代表格としての伝統を持ち、国立大学としては、全国有数規模の学生数を誇る。11の学部と12の大学院があり、情報化、国際化、生涯学習及び国際協力へのニーズに対応した教育・研究が行われている。学部以外にも、高等教育研究開発センター、平和科学研究センター、国際センター、原爆放射線医科学研究所などのユニークなセンター・研究所を持つ。

教育学部・大学院教育学研究科は伝統ある学部・研究科であり、幼児教育・初等教育・中等教育・特別支援教育に携わるすぐれた教師を育ててきた。また、大学等における研究者も数多く輩出している。国際交流も盛んで、最近では常時140人を超える留学生が学んでいる。

医学部、歯学部等を除く東広島市への統合移転が1995年度に完了し、市街地を離れた広大な東広島キャンパスは、自然に恵まれ静かに落ち着いて勉学に打ち込める環境にある。

学部名：総合科学部、文学部、教育学部、法学部、経済学部、理学部、医学部、歯学部、薬学部、工学部、生物生産学部

大学院名：総合科学研究科、文学研究科、教育学研究科、社会科学研究科、理学研究科、先端物質科学研究科、保健学研究科、工学研究科、生物圏科学研究科、医歯薬学総合研究科、国際協力研究科、法務研究科

○国際交流の実績

- ・留学生数 1085名 [2011.11.1 現在]
- ・受入実績 3名 [2011.11.1 現在]

◇教員研修コースの概要

○プログラムの特色

広島大学では、教員研修留学生プログラムが開始されて以来、297名を受け入れている。各自の研修課題に沿った個別指導を指導教員から受けることができるだけでなく、日本語・日本事情・日本文化等の授業を受けることができる。

○受入定員

2012年度の受入定員は30名とする。

○研修コースの概要

・日本語教育

基礎的教育期における日本語および日本に関する研修として、最初の6カ月(10月～3月)に国際センターで日本語・日本文化集中コースを履修する。すでに日本語を習得している場合は、中・上級の「日本語・日本事情」を受講することができる。

専門に関する研修としては、日本の教育入門を受講する。これらの授業科目は英語を用いて行われる。また、必要に応じて個別の研修課題に即した授業を受講することができる。

・専門教育

専門的教育期として後半の1年間(4月～3月)に、大学院の留学生と同様に指導教員による個別指導をうけて、各自の研修課題について深く研究する。研修の終わりに「研修修了報告書」を提出する。

・見学・地域交流等の参加型科目

国際センターを中心として、日本人学生とともに学校訪問や各交流会、歴史探訪旅行、ホームステイ等の企画が行われている。

◇修了生へのフォローアップ

組織的なフォローアップよりは、主指導教員による個別のフォローアップを重視している。修了生は、高度な専門的能力をもつ教育者として活躍している。

◇宿 舎

広島大学の留学生数の増加に伴い、全ての者が大学内の留学生用宿舎、東広島市内の公的宿舎へ入居できるとは限らない。やむを得ず民間アパートに入居しなければならない場合もある。

広島大学内の留学生用の宿舎

「国際交流会館」：広さ 13.3㎡、家賃 5,900円/月、共益費 2,700円/月、積立金25,000円、国際センターまで徒歩20分、自転車7分

留学生用の公的宿舎(東広島市内)

「サンスクエア東広島」：広さ 17.46㎡、家賃 20,000円/月、共益費2,500円/月、備品使用料 1,000円/月、敷金60,000円、国際センターまでバス15分、自転車40分

民間アパート(平均的相場)

広さ15㎡～17㎡、家賃25,000～45,000円/月、共益費1,000～3,000円/月、敷金 家賃の1～3ヶ月分、礼金 家賃の約1ヶ月分、斡旋料 家賃の約1ヶ月分

奨学金支給までの生活費、宿舎入居のための資金として、少なくとも10万円程度を用意しておくことが望ましい。

◇問い合わせ先

大学所在地：
〒739-8524 広島県東広島市鏡山1丁目1-1

担当部署：
広島大学大学院教育学研究科学生支援室
(大学院課程担当)

連絡先：

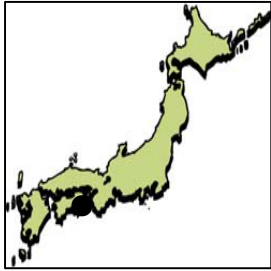
TEL +81-82-424-6719, FAX +81-82-424-7108,
E-mail kyoiku-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp
ホームページアドレスなど：
<http://www.hiroshima-u.ac.jp/ed/>

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

教育学研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)	
41001	樋口 聡	higuchis@hiroshima-u.ac.jp	教育思想	日本の教育思想	1	英語・日本語	
41002	井上 弥	winoue@hiroshima-u.ac.jp	発達心理	発達心理	1	英語・日本語	
41003	柴 一実	kashiba@hiroshima-u.ac.jp	理科教育	科学カリキュラム論	1	日本語	
41004	木原 成一郎	kiharas@hiroshima-u.ac.jp	体育科教育	体育科の教育法	1	英語・日本語	2(中国)
41005	朝倉 淳	aasakura@hiroshima-u.ac.jp	生活科教育	生活科の教育法	1	英語・日本語	1(メキシコ)
41006	木村 博一	hkimura@hiroshima-u.ac.jp	社会科教育	社会科の教育法	1	英語・日本語	1(韓国)
41007	植田 敦三	aeda@hiroshima-u.ac.jp	算数科教育	算数科教育	1	英語・日本語	4(ケニア, メキシコ, フィリピン)
41008	山崎 敬人	tyamasa@hiroshima-u.ac.jp	理科教育	理科教育	1	英語・日本語	1(ミャンマー)
41009	権藤 敦子	gondoat@hiroshima-u.ac.jp	音楽科教育	音楽科の教育法	1	英語・日本語	1(中国)
41010	寺内 大輔	terauchi@hiroshima-u.ac.jp	音楽科教育	音楽づくり	1	英語・日本語	
41011	中村 和世	knakamur@hiroshima-u.ac.jp	図画工作科教育	図画工作	1	英語・日本語	1(フィリピン)
41012	落合 俊郎	tochiai@hiroshima-u.ac.jp	特殊教育	障害児指導法	1	英語	9(メキシコ, 中国, 韓国, フィリピン, 英国, タイ, バングラデッシュ, ブルネイ)
41013	若松 昭彦	wakama@hiroshima-u.ac.jp	知的障害教育	自閉性障害児の指導	1	日本語	
41014	川合 紀宗	nkawai@hiroshima-u.ac.jp	音声言語病理学 特別支援教育	コミュニケーション障害の臨床・アセスメント法開発	1	英語・日本語	1(ロシア)
41015	鳶岡 孝則	tsutaok@hiroshima-u.ac.jp	物理教育	教材開発(物理的内容)	1	英語・日本語	1(ケニア)
41016	山崎 博史	hnmn@hiroshima-u.ac.jp	地学教育	地学の教材開発	1	英語	
41017	前原 俊信	tmaehar@hiroshima-u.ac.jp	物理教育	物理教材の開発	1	英語	1(ミャンマー)
41018	今岡 光範	imaoka@hiroshima-u.ac.jp	幾何教育	幾何的内容	1	英語・日本語	1(モンゴル)
41019	岩崎 秀樹	hiwasaki@hiroshima-u.ac.jp	数学教育	数学教育	1	英語・日本語	3(フィリピン, 内モンゴル)
41020	小山 正孝	mkoyama@hiroshima-u.ac.jp	数学教育	数学教育方法	1	英語・日本語	5(フィリピン, ケニア, タイ, インドネシア, マダガスカル)

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)	
41021	入川 義克	yirikawa@hiroshima-u.ac.jp	数学教育	数学教育	1	英語・日本語	
41022	寺垣内 政一	teragai@hiroshima-u.ac.jp	幾何教育	離散的内容	1	英語	
41023	池畠 良	ikehatar@hiroshima-u.ac.jp	解析教育	基礎解析学	1	英語・日本語	
41024	向谷 博明	mukaida@hiroshima-u.ac.jp	制御工学	情報ネットワーク	1	英語	
41025	池野 範男	nikeno@hiroshima-u.ac.jp	社会科教育	社会科教育 歴史教育	1	英語・独語・日本語	1(ホンジュラス)
41026	小原 友行	tkobara@hiroshima-u.ac.jp	社会科教育	社会科教育(小中高)	1	英語・日本語	3(フィリピン)
41027	三宅 紹宣	tumiyake@hiroshima-u.ac.jp	日本近代史	日本近代史	1	日本語	
41028	下向井 龍彦	shimoken@hiroshima-u.ac.jp	社会科教育	日本史	1	日本語	1(中国)
41029	前杵 英明	maemoku@hiroshima-u.ac.jp	地理教育	地理的内容	1	英語・日本語	1(インドネシア)
41030	草原 和博	kusahara@hiroshima-u.ac.jp	社会科教育	(特に地理領域の)カリキュラム研究, 授業研究	1	英語・日本語	2(ミャンマー, アルゼンチン)
41031	深澤 清治	sfukaza@hiroshima-u.ac.jp	英語科教育	英語科教育	1	英語・日本語	2(中国) 2(タイ)
41032	迫田 久美子	ksakoda@hiroshima-u.ac.jp	日本語教育	第二言語としての日本語の習得研究	1	日本語・英語	2(エジプト, 韓国)
41033	倉地 曉美	akemi@hiroshima-u.ac.jp	異文化間教育	異文化間教育, 文化学習, 教育における民族誌学的研究	1	日本語(上級)	
41034	白川 博之	hshirak@hiroshima-u.ac.jp	日本語教育	日本語教育のための日本語文法	1	日本語(1級)	
41035	酒井 弘	hsakai@hiroshima-u.ac.jp	対照言語学 心理言語学	対照言語学 心理言語学	1	英語	
41036	松見 法男	nmatsu@hiroshima-u.ac.jp	第二言語教育・学習	第二言語の認知過程	1	英語・ドイツ語・日本語	
41037	西原 大輔	west@hiroshima-u.ac.jp	日本文学・日本文化	近代日本文学, 近代日本美術	3	日本語・英語・中国語	
41038	柳澤 浩哉	yanagisa@hiroshima-u.ac.jp	日本語表現・修辞学	日本語表現, 修辞学	1	日本語1級以上	2(韓国, インドネシア)
41039	畑佐 由紀子	yhatasa@hiroshima-u.ac.jp	日本語教育学	日本語教育学	1	英語・日本語	1(インドネシア)
41040	渡部 倫子	tomokow@hiroshima-u.ac.jp	日本語教育学	日本語教育学	1	日本語	
41041	西村 大志	hnishi@hiroshima-u.ac.jp	文化社会学・日本文化	近・現代日本の文化社会学	1	日本語(1級)	
41042	松尾 千秋	chima@hiroshima-u.ac.jp	体育科教育	舞踊教育論	1	日本語	
41043	平田 道憲	mhirata@hiroshima-u.ac.jp	人間生活教育学	家庭経営的内容	1	英語・日本語	
41044	柴 静子	szshiba@hiroshima-u.ac.jp	人間生活教育学	家政教育学	1	日本語	

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学 能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人 数)	
41045	木下 瑞穂	kinosita@hiroshima-u.ac.jp	人間生活教育学	被服学	1	日本語	
41046	横田 明子	yokota@hiroshima-u.ac.jp	人間生活教育学	生活経済学, 消費者教育	1	日本語	2(中国)
41047	今川 真治	imakawa@hiroshima-u.ac.jp	人間生活教育学	生涯発達学	1	日本語	
41048	松原 主典	kmatsuba@hiroshima-u.ac.jp	人間生活教育学	食品化学・栄養学	1	日本語・英語	
41049	高田 宏	takatah@hiroshima-u.ac.jp	人間生活教育学	住居学	1	日本語	
41050	千葉 潤之介	chibajun@hiroshima-u.ac.jp	音楽学	日本音楽史	1	日本語	
41051	三村 真弓	mimuram@hiroshima-u.ac.jp	音楽教育学	日本音楽教育史	1	日本語	
41052	濱本 恵康	yhamamo@hiroshima-u.ac.jp	器楽	ピアノ演奏法	1	日本語・伊語	
41053	枝川 一也	edagawak@hiroshima-u.ac.jp	声楽	発声法 演奏法	1	日本語・伊語	
41054	松永 光紗	mmatsun@hiroshima-u.ac.jp	声楽	発声法 演奏法	1	日本語・伊語	
41055	高旗 健次	kent-violin@hiroshima-u.ac.jp	器楽	ヴァイオリン演奏法	1	日本語・独語	
41056	徳永 崇	t-tokunaga@hiroshima-u.ac.jp	作曲	現代音楽の作曲	1	日本語	
41057	伊藤 真	itoshin@hiroshima-u.ac.jp	音楽教育学	音楽科教育法	1	日本語	
41058	菅村 亨	storu@hiroshima-u.ac.jp	日本美術史	日本美術史研究	1	日本語	
41059	三根 和浪	kmine@hiroshima-u.ac.jp	美術教育学	美術科教育法	1	日本語	
41060	蜂谷 昌之	mhachiya@hiroshima-u.ac.jp	造形芸術教育学	美術科教育法	1	日本語	
41061	坂越 正樹	sakakosi@hiroshima-u.ac.jp	教育原理	道徳教育法	1	英語	1(パラグアイ)
41062	大塚 豊	yotsuka@hiroshima-u.ac.jp	比較教育学	比較教育学	2	英語・日本語・中国語	
41063	山崎 博敏	hyamasak@hiroshima-u.ac.jp	教育社会学	学校教育と高等教育に関する社会学的 研究	1	英語	
41064	中矢 礼美	anakaya@hiroshima-u.ac.jp	比較国際教育学	異文化教育論	2	英語・日本語・インドネシア語	6(タイ、マレーシア、アフガニスタ ン、ロシア、コスタリカ、中国)
41065	七木田 敦	nanakida@hiroshima-u.ac.jp	幼児教育学	幼児教育指導法	1	英語・日本語	
41066	中坪 史典	nakatsub@hiroshima-u.ac.jp	幼児教育学	幼児教育学	1	英語・日本語	1(マレーシア)
41067	恒松 直美	ntsunema@hiroshima-u.ac.jp	比較国際教育学	ジェンダー論・国際教育	1	英語・日本語	



鳴門教育大学 (徳島県)



共通科目「日本の教育と文化」を設定し、指導教員により個別指導が行われる他、大学院の授業を聴講できる。

◇大学紹介

○大学の概要

本学は、社会的要請に基づき、主として現職教員に高度の研究・研鑽の機会を確保する大学院と、初等教育教員及び中学校教員の養成を行う学部を持ち、学校教育に関する理論的・実践的な教育研究を進める「教員のための大学」及び学校教育の推進に寄与する「開かれた大学」として1981年10月1日に創設された。

大学院学校教育研究科「修士課程」において教科・領域等における専門性を培い、優れた教育実践を展開できる能力を、「専門職学位課程」では、幅広い視点からの問題分析力・対応力・解決力を培い、学校や地域で指導力を発揮できる力量を、それぞれ有する初等中等教育教員を養成することを目的としている。

・地域の特徴

本学が所在する鳴門市は、日本の南西、四国の東部徳島県東北部に位置し、本学のキャンパスは鳴門市の中心部から北へ約4kmの位置にあり、紺碧の海と緑の丘陵に囲まれた勉学にいそしむ場として最適の環境の地である。

また、日本の古都京都、日本第2の経済都市大阪に近く、西日本の海外の玄関、関西国際空港から約2時間の地にあり、生活を営む地域として最適である。

・学生数 (2011年10月1日現在)

学部 460人、大学院 (修士課程) 598人

○国際交流の実績 (2011年10月1日現在)

- 協定締結校 15校
- 留学生数 55人
- 教員研修留学生受入実績 (専門研修)
 - 2003年度 6人、2004年度 5人、2005年度 3人
 - 2006年度 6人、2007年度 5人、2008年度 5人、
 - 2009年度 9人、2010年度 9人、2011年度 3人

◇教員研修コースの概要

○プログラムの特色

専門家から教育事情についての最新情報を得るため、また、日本の教育制度、文化について理解を深めるために、教員研修留学生を対象に、共通科目「日本の教育と文化」を設定している。この科目では、教育史、教育制度を学ぶ他、附属学校 (園) の研究授業を見学したり、藍染めなどの日本文化体験実習などを行う。

また、指導教員により、一人一人の研修目的に応じた個別指導が行われる他、大学院の授業を聴講できる。

○受入定員 約 10人

○研修コースの概要

・日本語教育

日本語クラス

徳島大学で6か月の日本語集中コースの教育を受ける。

日本語クラス (補講) (前期・後期)

レベル・技能別の日本語補講を受講できる。

日本語Ⅰ、日本語Ⅱ (前期：4月～7月)

日本語Ⅲ、日本語Ⅳ、日本事情・日本文化 (後期：10月～2月)

各自レベルに応じて大学院で開講している日本語授業を聴講できる。

・専門教育

日本の教育と文化 (前期：4月～7月)

現代日本の教育事情について専門家から最新の情報を得ること

と、日本文化を出来るだけ実地体験させることを目的とする。

テーマ：日本の家族、学校制度、教育課程、教科書行政、教員養成・教育実習、附属学校 (園) 研究授業見学等

個別研修

専攻及びコースの教員研修留学生受入れ指導教員による研究指導と、大学院の授業科目を聴講できる。

なお、日本事情・日本文化、数学科に関する授業については、英語又は、英語と日本語で講義が行われる。

・その他

見学実習 (工場・施設見学等) 日帰り、一泊研修など

行事等 入学式、小学校訪問、国際交流パーティ、日本文化体験、健康診断、研究発表会及び修了式など

◇修了生へのフォローアップ

帰国後のネットワーク作りを目的とし、本学修了生に対し、日本語と英語のメールマガジンを配信している。

◇宿舎

学生の勉学のための生活環境を提供するため、大学キャンパス内に学生宿舎が設置されている。教員研修留学生は、宿舎への入居が可能である。

区分	室数	宿舎料
単身棟 (男) 10 m ²	160室	4,300円
単身棟 (女) 10 m ²	240室	4,300円
世帯棟 40 m ²	40室	9,500円
世帯棟 52 m ²	40室	11,900円

(注) 寄宿料は月額 (2011年4月1日現在) である。

・宿舎備品・設備 (単身棟)

机、イス、本棚、衣類収納ロッカー、ベットと収納庫、照明器具、テレビ配線、電話配線、インターネット配線



◇問合せ先

鳴門教育大学学生課国際交流チーム

〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島宇中島748

TEL: +81-88-687-6116, FAX: +81-88-687-6107

E-mail: kokusai@naruto-u.ac.jp

ホームページアドレス: <http://www.naruto-u.ac.jp/>

シラバス掲載アドレス:

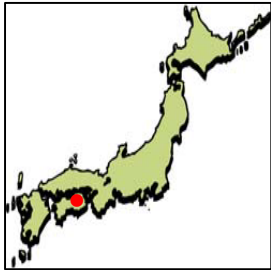
<http://www.naruto-u.ac.jp/campuslife/04/004.html>

◇研修内容，受入可能人数，資格及び条件など

学校教育研究科						
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）
42001	木内 陽一 教授	kiuchi@naruto-u.ac.jp	教育哲学	日・独の教育理論や教育思想の歴史と構造	1人	ドイツ語の可能な者
	伴 恒信 教授	bann@naruto-u.ac.jp	教育社会学	道德的社会化の国際比較	1人	英語の可能な者
	山崎 勝之 教授	ky341349@naruto-u.ac.jp	発達健康心理学	学校における健康と適応のための予防教育	1人	
	梶井 一暁 准教授	kkajii@naruto-u.ac.jp	教育史	日本を中心とする教育史に関する研究	1人	同じ専門分野であること
	皆川 直凡 准教授	minagawa@naruto-u.ac.jp	教育認知心理学	心を育てる文化的活動についての心理学的研究	1人	英語の可能な者
42002	田村 隆宏 教授	takatam@naruto-u.ac.jp	幼児心理学	幼児の言葉の獲得	1人	同じ専門分野であること
42003	太田 直也 教授	ota@naruto-u.ac.jp	人間科学	学校教育における文学・芸術の有用性	2人(状況に応じて変更する可能性がある)	受入分野と同じ専門分野であること
	小西 正雄 教授	masao@naruto-u.ac.jp	人間科学	文化間教育論		
	谷村 千絵 准教授	tanimura@naruto-u.ac.jp	人間科学	教育哲学，メディア論		
	藤村 裕一 准教授	fujimura@naruto-u.ac.jp	教育工学，情報人間学	情報社会学，情報教育，遠隔教育，教育情報システム開発		
	田村 和之 講師	ktamura@naruto-u.ac.jp	環境教育	環境教育		
42004	栗飯原 良造 教授	raihara@naruto-u.ac.jp	教育相談・臨床心理	教育相談と教育臨床心理学	1人	フィジー（1，2010年）
	葛西 真記子 教授	mkasai@naruto-u.ac.jp	教育相談・臨床心理	教育相談と臨床心理学		
	吉井 健治 教授	kyoshii@naruto-u.ac.jp	教育相談・臨床心理	教育相談と教育臨床心理学		
	今田 雄三 准教授	yimada@naruto-u.ac.jp	教育相談・臨床心理	教育相談と児童青年期精神医学		
	中津 郁子 准教授	inakatsu@naruto-u.ac.jp	教育相談・臨床心理	教育相談と幼児教育		
	小倉 正義 講師	mogura@naruto-u.ac.jp	教育相談・臨床心理	教育相談と臨床心理学		
	久米 禎子 講師	tkume@naruto-u.ac.jp	教育相談・臨床心理	教育相談と教育臨床心理学		
42005	田中 淳一 教授	tanakaj@naruto-u.ac.jp	認知脳科学	記憶・学習の神経機構	1人	同じ専門分野であること
42006	伊東 治己 教授	itohh@naruto-u.ac.jp	英語科教育	外国語教育法・異文化理解教育	2人	英語の使用可能な者 メキシコ（1，2008年） ブラジル（1，2010年） パラグアイ（1，2010年），インドネシア（1，2011年）
	前田 一平 教授	kmaeda@naruto-u.ac.jp	米文学	20世紀アメリカ文学		
	藪下 克彦 教授	yabuchan@naruto-u.ac.jp	英語学，言語学	理論言語学（形式意味論）		
	山森 直人 准教授	yamamor i@naruto-u.ac.jp	英語科教育	英語科教育法・海外の英語教育		
	杉浦 裕子 講師	yuko.sugi@naruto-u.ac.jp	イギリス文学	近代初期イギリス演劇		
	眞野 美穂 講師	mmano@naruto-u.ac.jp	英語学，言語学	統語論，日英対照言語学		
42007	梅津 正美 教授	umezu@naruto-u.ac.jp	社会科教育学	社会科教育学	2人	英語の使用可能な者
	大石 雅章 教授	oishi@naruto-u.ac.jp	日本史	日本中世史		
	齋木 哲郎 教授	saiki@naruto-u.ac.jp	東洋倫理学	中国哲学，東洋倫理学		
	立岡 裕士 教授	tatuoka@naruto-u.ac.jp	人文地理学	人文地理学		
	山本 準 教授	jun@naruto-u.ac.jp	社会学	社会学		

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）	
42007	青葉 暢子 准教授	aoba@naruto-u.ac.jp	経済学	経済学, 保険理論, 金融論, 財政学, 公共経済学	2人	英語の使用可能な者	
	麻生 多聞 准教授	tamon@naruto-u.ac.jp	憲法	憲法学			
	伊藤 直之 准教授	naoyuki@naruto-u.ac.jp	社会科教育学	社会科教育学			
	原田 昌博 准教授	mharada@naruto-u.ac.jp	西洋史	ヨーロッパ現代史			
	町田 哲 准教授	machida@naruto-u.ac.jp	日本史	日本近世史			
	井上 奈穂 講師	ninoue@naruto-u.ac.jp	社会科教育	社会科教育学			
42008	秋田 美代 教授	akitam@naruto-u.ac.jp	数学教育学	指導方法及び評価論, 教材論	7人	専門教育において英語での指導が可能 英語能力を有する者	インドネシア (1, 2010年)
	成川 公昭 教授	knaru@naruto-u.ac.jp	解析学	非線形解析学, 常・偏微分方程式			
	平野 康之 教授	yahirano@naruto-u.ac.jp	代数学	代数学			
	松岡 隆 教授	matsuoka@naruto-u.ac.jp	幾何学	トポロジー, 力学系理論			フィリピン(1, 2007年) メキシコ(1, 2009年)
	佐伯 昭彦 准教授	asaeki@naruto-u.ac.jp	数学教育学	教材論, テクノロジー活用			ウガンダ (1, 2010年)
	坂井 武司 准教授	tsakai@naruto-u.ac.jp	数学教育学	指導方法, 教材論			
	宮口 智成 准教授	tmiyaguchi@naruto-u.ac.jp	数理科学	非線形力学, 確率論			
42009	香西 武 教授	kozai@naruto-u.ac.jp	地球科学, 理科教育	地質学, 古生物学, 初等・中等理科教育	2人	英語	
	佐藤 勝幸 教授	kksato@naruto-u.ac.jp	生物学, 理科教育	生物学, 理科教育			パラオ (1, 2010年)
	村田 守 教授	atarumm@naruto-u.ac.jp	地球科学	地質学, 岩石学			
	粟田 高明 准教授	tawata@naruto-u.ac.jp	物理学	放射線物理学・物性物理学			
	工藤 慎一 准教授	skudo@naruto-u.ac.jp	進化生物学	行動生態学			
	武田 清 准教授	takeda@naruto-u.ac.jp	物理化学	物性物理化学			
42010	頃安 利秀 教授	koro@naruto-u.ac.jp	声楽	歌唱表現に関する研究	1人	ドイツ語	
	長島 真人 教授	nagashi@naruto-u.ac.jp	音楽科教育学	音楽科教育のカリキュラムと学習指導の研究	1人	英語	セルビア(1, 2009年) スウェーデン (1, 2010年)
	松岡 貴史 教授	matuoka@naruto-u.ac.jp	作曲	作曲法及び音楽理論の研究	1人	ドイツ語, 英語	
	森 正 准教授	morishou@naruto-u.ac.jp	ピアノ	ピアノ演奏法及び指導法の研究	1人	ドイツ語	
	山田 啓明 准教授	hyamada@naruto-u.ac.jp	指揮	指揮法及びアンサンブル指導の研究	1人		
	山根 秀憲 准教授	yamane@naruto-u.ac.jp	オーボエ	管楽器演奏法及び指導法の研究	1人		
42011	山木 朝彦 教授	yamaki@naruto-u.ac.jp	美術科教育	日本の美術教育について	1人	英語	
42012	乾 信之 教授	inui@naruto-u.ac.jp	運動制御, 運動学習	運動学	2人	英語	
	梅野 圭史 教授	umeno@naruto-u.ac.jp	体育科教育	体育科教育			
	木原 資裕 教授	kihara12@naruto-u.ac.jp	体育社会学, 武道論	体育社会学, 武道論			
	田中 弘之 教授	tanakah@naruto-u.ac.jp	運動生理学	運動論			
	廣瀬 政雄 教授	hirose@naruto-u.ac.jp	学校保健	学校保健学			

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）	
42012	吉本 佐雅子 教授	Ysachiko@naruto-u.ac.jp	学校保健	学校保健学	2人	英語	
	綿引 勝美 教授	watahiki@naruto-u.ac.jp	スポーツ運動論	体育学			
42012	藤田 雅文 准教授	fijitam@naruto-u.ac.jp	体育経営学	体育経営学	2人	英語	
	松井 敦典 准教授	matsui@naruto-u.ac.jp	スポーツ・バイオメカニクス	運動学			
	南 隆尚 准教授	minami@naruto-u.ac.jp	野外運動論	運動学			
42013	伊藤 陽介 教授	ito@naruto-u.ac.jp	情報	情報	2人	英語	
	尾崎 士郎 教授	ozakis@naruto-u.ac.jp	木材加工, 技術科教育	木材加工, 技術科教育			
	菊地 章 教授	kikuchi@naruto-u.ac.jp	情報	情報			
	畑中 伸夫 教授	nhatanaka@naruto-u.ac.jp	金属加工	塑性加工, 有限要素法			
	宮下 晃一 教授	miyashita@naruto-u.ac.jp	機械	機械			
	曾根 直人 准教授	naosone@naruto-u.ac.jp	情報	情報			
	林 秀彦 准教授	hhayashi@naruto-u.ac.jp	知識科学	知識科学			
	宮本 賢治 准教授	kmiyamot@naruto-u.ac.jp	電気	電気			
米延 仁志 准教授	yn@naruto-u.ac.jp	木材加工	木材加工				
42014	金 貞均 教授	kim@naruto-u.ac.jp	住居学	住様式及び居住システムに関する研究, 東アジアの住文化に関する研究, ネットワーク居住からみた居住計画論, 住教育の課題	1人	英語	
	黒川 衣代 教授	kinuyo@naruto-u.ac.jp	家族関係学	家族・子ども・ジェンダー	1人		
	渡邊 廣二 教授	watanabk@naruto-u.ac.jp	生活経済学	家計及び消費者問題	1人		
	西川 和孝 准教授	nishikw@naruto-u.ac.jp	食物学	食教育及び食文化	1人		
	福井 典代 准教授	fukui@naruto-u.ac.jp	衣生活教育	衣生活に関連した教材の開発	1人		
	速水 多佳子 講師	thayami@naruto-u.ac.jp	家庭科教育	家庭科教育	1人		
42015	近森 憲助 教授	chika@naruto-u.ac.jp	環境教育	環境教育	1人	英語	ミャンマー(1, 2007年) 南アフリカ(1, 2008年)
	石坂 広樹 准教授	hishizaka@naruto-u.ac.jp	教育調査・教育政策	国際教育・統計学	1人	英語・フランス語・スペイン語	
	石村 雅雄 准教授	maishim@naruto-u.ac.jp	教師教育・教育政策	日本や諸外国の教師教育・教育政策に関する研究	1人	英語又はフランス語の可能な者	ラトビア(2, 2009年, 2010年)
	小澤 大成 准教授	hiroaki@naruto-u.ac.jp	地球科学・理科教育	地質学・初中等の理科教育	1人	英語	
42016	久我 直人 教授	kuga@naruto-u.ac.jp	学校・学級経営実践論	省察と協働による学校, 学級改善に関する研究	1人		
	阪根 健二 教授	sakane@naruto-u.ac.jp	学校教育学	いじめ研究・危機管理			
	佐古 秀一 教授	sako@naruto-u.ac.jp	学校経営学	学校の組織と経営に関する研究			
	芝山 明義 准教授	sibayama@naruto-u.ac.jp	教育社会学	学校文化, 教師文化に関する研究			
大学全体の受入可能人数					10人		



香川大学 (香川県)



大学の教員研修コースは、各専攻において留学生の関心に基づいた個別指導を中心としたプログラムを用意している。

◇大学紹介

○大学の概要

(1) 本学は1949年に設置された新制大学である。

2003年10月にそれまでの香川大学と香川医科大学が統合し新しい香川大学となり、教育学部、法学部、経済学部、医学部、工学部及び農学部の6つの学部と2つの専門職大学院を持つ総合大学である。

それぞれの学部大学院(修士課程)を設置している。医学部には医学系研究科(博士課程)、農学部には大学院連合農学研究科(博士課程)がある。2004年4月からは工学部の博士課程、専門職大学院として、地域マネジメント研究科、香川大学・愛媛大学連合法務研究科が設置された。

○国際交流の実績(平成23年5月1日現在)

・留学生数

学部生	40人
大学院生	71人
研究生等	37人

・受入実績

平成19年度～平成21年度	各1名
平成22年度、平成23年度	各2名

◇教員研修コースの概要

○プログラムの特色

本学大学院教育学研究科には学校教育専攻、特別支援教育専攻、学校臨床心理専攻及び教科教育専攻があり、教科教育専攻には、国語教育、社会科教育、数学教育、理科教育、音楽教育、美術教育、保健体育教育、技術教育、家政教育、英語教育の各専修がある。各専攻において、留学生の関心に基づいた個別指導を中心としたプログラムを用意している。

○受入定員 5人

○研修コースの概要

・日本語教育(最初の6ヶ月:2012年10月～2013年3月)

文部科学省が指定する日本語研修コースで、当該学生のレベルに応じて、半年間の日本語及び日本事情教育を提供する(以下のいずれか)。

- ・日本語初級 週12回程度
- ・日本語中級 週12回程度
- ・日本語上級 週12回程度

・専門教育(上記に続く1年間:2013年4月～2014年3月)

形態 指導教員による個別指導

留学生の専攻分野に関する大学院の授業又は学部の授業への参加

・見学・地域交流等の参加型科目

1. 附属学校や協力校である公立小中高等学校での学校での授業参加や研究発表会への参観
2. 休日にキャンパスを開放し、地域の幼児・児童・生徒を大学に招き学習や研究活動を体験してもらう行事への参加活動

◇修了生へのフォローアップ

・香川大学国際交流基金(招聘援助事業制度)にて来日可能。

◇宿 舎

香川大学留学生会館

○宿舎数

・単身用 32室

○宿舎費

月額5,900円(光熱水料等は別途負担)

○宿舎設備・備品

共 同 : キッチン、洗濯室、シャワー室等

居室内 : タンス、書棚、椅子、エアコン

冷蔵庫、机、ベッド

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

幸町キャンパス(教育学部・法学部・経済学部)まで
自転車40分、電車と徒歩35分。

空室がない場合は、キャンパス周辺の民間アパート(月3万円程度)を大学生協等を通じて紹介する。

◇問い合わせ先

大学所在地 〒760-8521

香川県高松市幸町1-1

担当部署 香川大学教育学部学務係

連絡先 TEL: +81-87-832-1411

FAX: +81-87-832-1414

E-MAIL: lgakum2@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

米 | は数字の1ではない。

担当部署 香川大学国際グループ

連絡先 TEL: +81-87-832-1193

FAX: +81-87-832-1192

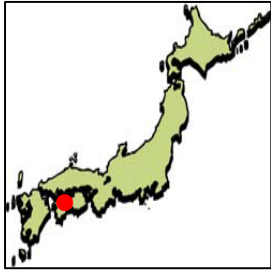
E-MAIL: soryugat@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

ホームページアドレス

<http://www.kagawa-u.ac.jp>

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

教育学研究科						
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
43001	柳澤 良明 教授	yanayosi@ed.kagawa-u.ac.jp	学校経営学 比較教育学	学校経営学・比較教育学に関する講義演習	1人	専攻分野の基礎を学習していること
43002	高橋 尚志 准教授	naoshi@ed.kagawa-u.ac.jp	表面物性 物理教育(実験)	表面物性研究、物理教育研究	1人	専攻分野の基礎を学習していること
43003	高木 由美子 教授	ytakagi@ed.kagawa-u.ac.jp	有機化学	有機化学教育	1人	専攻分野の基礎を学習していること
43004	磯田 誠 教授	misoda@ed.kagawa-u.ac.jp	凝縮系物理学の理論	凝縮系物理学(物性物理学)の理論	1人	専攻分野の基礎を学習していること フィリピン・1人(平成21年度)
43005	松本一範 准教授	kmatsu@ed.kagawa-u.ac.jp	動物生態学	動物の行動や生態に関する研究	1人	専攻分野の基礎を学習していること
43006	加藤 みゆき 教授	kato@ed.kagawa-u.ac.jp	食品学	伝統食品の風味について	1人	専攻分野の基礎を学習していること
43007	小川 育子 教授	ogawa@ed.kagawa-u.ac.jp	家庭科教育	被服教育	1人	専攻分野の基礎を学習していること
43008	竹中 龍範 教授	dragon-boo@circus.ocn.ne.jp	英語科教育	英語教授法・英語教育史	1人	専攻分野の基礎を学習していること エルサルバドル・1人(平成19年度)、カンボジア・1人(平成23年度)、 ホンジュラス・1人(平成23年度)
43009	新見 治 教授	shimmi@ed.kagawa-u.ac.jp	地理学	水文地理学と環境教育研究	1人	専攻分野の基礎を学習していること
43010	平 篤志 教授	taira@ed.kagawa-u.ac.jp	人文地理学 地域研究	人文地理学的研究・地域研究	1人	専攻分野の基礎を学習していること
43011	風間 喜美江 教授	kazama@ed.kagawa-u.ac.jp	数学教育	中学校数学教育の教科内容論	1人	専攻分野の基礎を学習していること ペルー・1人(平成22年度)



愛媛大学 (愛媛県)



専門教育・日本語教育・日々の生活支援愛媛大学は全てをサポートします

◇大学紹介

○大学の概要

愛媛大学は、法文、教育、理学、医学、工学、農学の6学部と大学院を有する総合大学です。本学には附属の幼稚園、小学校、中学校、高校、特別支援学校があり、近年特にFD研修にも力を入れています。H21年4月に新設された国際連携推進機構は大学の国際化に力を注ぎ、大学全体でも外国人留学生に対しての支援が充実しています。

本学のある松山市は暮らしやすく、交通手段は自転車です。大学から市の中心地へも自転車で5分以内で行くことができます。留学生は自転車をボランティアグループから無料で提供してもらえます。

○国際交流の実績

- ・留学生数 326人 (H23.11.1現在)
- ・教員研修留学生受入実績 H23年度 1人

◇教員研修コースの概要

○プログラムの特色

本プログラムでは、専門教育・日本語集中コース開始前にも日常生活で最低限度必要な日本語と生活習慣について修得できるプログラムを用意しています。また、日本語の授業では、日本人学生による支援体制が整っており、相互交流が盛んです。



1. 受入定員 5人程度

2. 研修コースの概要

・日本語教育

a) サバイバルコース：入学直後の2週間で日常生活するうえで最低限必要な日本語と生活習慣を学びます。

b) オリエンテーション：2日間のオリエンテーションを通して、学生生活において不可欠な情報を提供します。また、ウェルカムパーティーなどを通して、学生同士お互いをよく知り合うことができます。

c) 予備教育コース：教員研修留学生のために、日本語予備教育コース（日本語教育及び日本文化・日本事情）の講義を半年間集中的に行っています。

d) 補講コース：上記のコース受講後、引き続き学習できる様々なクラスを開講しています。

e) 実地見学旅行：2年に一度、雪体験をしに出かけます。それ以外の年には、歴史・文化にふれるため、京都や奈良に出かけます。

3. 専門教育

a) 半年間の日本語予備教育コースと併せて、それぞれの専門分野に応じ、学部の専門教育を受けることができます。専門教育は、教員のアドバイスで学習計画を立て、それをもとに必要な指導を指導教員から受けることになります。

b) 学習計画：学習計画は希望に沿って立てることができます。研究分野によっては、フィールドワークや実験・調査・授業観察にも参加することができます。研修の終わりには「研究報告書」を提出します。

c) 英語による授業科目：Japanese culture, Issues in Research Today, Global English Literature, & Intercultural Communication等の授業は英語で行われます。多くの教授が英語であなたと研究に取り組むことができ、研究報告書も英語で提出することができます。

◇修了生へのフォローアップ

研修終了後も、担当教員がメールやスカイプを通じて指導します。

◇宿舎

愛媛大学国際交流会館：

城北キャンパスへの通学には自転車で20～30分かかります。全室にユニットバス、エアコン、ガスコンロ、冷蔵庫、洗濯機等、設置しています。

御幸寮：

城北キャンパスへの通学には自転車で10～15分かかります。全室にユニットバス、エアコン、IHコンロ、冷蔵庫があり、建物内にはコインランドリーや売店があります。

民間住宅：

大学ではキャンパス周辺の安価な賃貸アパートの紹介をしています。

◇問い合わせ先

所在地 〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番
愛媛大学

担当部署 国際連携支援部国際連携課

TEL 089-927-9157 FAX 089-927-8967

E-mail kokuryu@stu.ehime-u.ac.jp

<http://www.ehime-u.ac.jp/>

<https://campus.stu.ehime-u.ac.jp/Portal/Public/Syllabus/SearchMain.aspx?>

(syllabus)

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

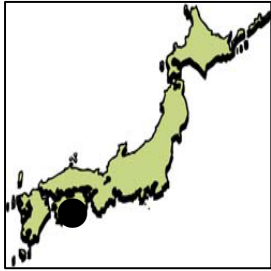
教育学部						
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
44001	岸啓子 教授	kishi.keiko.mb@ehime-u.ac.jp	音楽学	音楽学の基礎	1人	日本語か英語が理解できること。音楽の基礎能力を有していること。
44002	木村勢津 教授	kimura.setsu.mk@ehime-u.ac.jp	声楽	歌唱法および歌唱指導法	1人	日本語が理解できること。音楽の基礎能力を有していること。
44003	長尾秀夫 教授	nagao.hideo.mx@ehime-u.ac.jp	発達障害学	発達障害(学習障害等)	1人	
44004	高橋信雄 教授	takahashi.nobuo.m@ehime-u.ac.jp	教育オーデション(聴覚障害学)	聴覚障害、聴覚リハビリテーション、聴覚補償	1人	フィリピン 1名
44005	立入哉 教授	tachiiri.hajime.mx@ehime-u.ac.jp	教育オーデション(聴覚障害学)	聴覚障害、聴覚リハビリテーション、聴覚補償	1人	
44006	吉松靖文 准教授	yoshimatsu.yasufumi.mk@ehime-u.ac.jp	発達障害学	発達障害児の心の理解	1人	
44007	佐野 栄 教授	sano.sakae.mm@ehime-u.ac.jp	地球科学	地球科学分野の教材作成(岩石標本など)	1人	特になし。受入実績なし。
44008	向 平和 講師	muko.heiwa.mm@ehime-u.ac.jp	理科教育	基礎生物実験(顕微鏡観察・植物を用いた実験)	1人	特になし。受入実績なし。
44009	日詰雅博 教授	hizume.masahiro.mx@ehime-u.ac.jp	植物学	植物細胞学分野の教材研究	1人	英語が堪能で、日本語の会話ができること。受入実績なし。
44010	福山 隆雄 准教授	fukuyama.takao.mf@ehime-u.ac.jp	物理学	プラズマ物理学, 物理教育	1人	特になし
44011	隅田学 准教授	sumida.manabu.mm@ehime-u.ac.jp	科学才能教育、幼児期の科学教育、理科学習	日本における実践校と連携しながら、先駆的な科学教育に関する理論的・実践的に学ぶ。	1人	特になし。受入実績なし。
44012	熊谷隆至 准教授	kumagai.takashi.mb@ehime-u.ac.jp	化学	化学教材の開発	1人	特になし。受入実績なし。
44013	吉村 直道 准教授	naomichi@ehime-u.ac.jp	数学教育	算数・数学科教育, 指導法, 授業研究, 教材開	1人	日本語文献読解力

工学部						
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学 能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人 数)
44014	野村 信福 教授	shin_nomu@eng.ehime-u.ac.jp	熱流体工学	伝熱工学基礎	1~2人	英語能力または日本語能力 マレーシア1名, インドネシア 1名
44015	青山 善行 准教授	aoyama@dpc.ehime-u.ac.jp	熱流体工学	熱流体工学	1人	英語能力または日本語能力
44016	八木 秀次 准教授	yagi@dpc.ehime-u.ac.jp	特殊加工学	特殊加工学	1人	英語能力または日本語能力
44017	豊田 洋通 准教授	toyota@eng.ehime-u.ac.jp	特殊加工学	プラズマプロセスの基礎	1人	英語能力または日本語能力 マレーシア6名
44018	山田 芳郎 教授	yamada@ee.ehime-u.ac.jp	画像処理	実用的な画像処理	1人	英語能力または日本語能力, 中国1名
44019	市川 裕之 准教授	hichikaw@dpc.ehime-u.ac.jp	光工学	光学設計・数値解析	1人	英語能力または日本語能力
44020	岡本 好弘 教授	okamoto@rec.ee.ehime-u.ac.jp	情報ストレージ	情報ストレージの信号処理	1人	英語能力または日本語能力
44021	神野 雅文 教授	mjin@mayu.ee.ehime-u.ac.jp	プラズマ科学・照明科学	プラズマの制御・計測・診断、照明光源開発	1人	英語能力または日本語能力
44022	岡村 未対 教授	okamura@cee.ehime-u.ac.jp	地盤工学	地盤工学	2人	英語能力または日本語能力
44023	伊福 誠 教授	ifuku@dpc.ehime-u.ac.jp	河口沿岸域工学	河川干潮域の流れ構造と物質輸送	1人	英語能力または日本語能力, ネパール1名
44024	大賀 水田生 教授	ohga@ehimegw.dpc.ehime-u.ac.jp	構造力学	コンピュータ構造解析の学習と演習	1人	英語能力または日本語能力, ネパール1名 スリランカ2 名
44025	矢田部 龍一 教授	yatabe@dpc.ehime-u.ac.jp	土質力学	土質力学, 地盤災害	1人	ネパール1名, 中国1名
44026	氏家 勲 教授	iuike@cee.ehime-u.ac.jp	コンクリート工学	コンクリート工学の基礎	1人	英語能力または日本語能力, ネパール1名
44027	中村 孝幸 准教授	nakamura@dpc.ehime-u.ac.jp	海岸・海洋工学	海岸・海洋構造物の設計	1人	英語能力または日本語能力, ミャンマー1名
44028	森 伸一郎 准教授	mori@dpc.ehime-u.ac.jp	地震工学, 防災工学, 耐震設計	構造と地盤の地震工学と耐震設計	1人	英語能力または日本語能力

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
44029	田中 寿郎 教授	ttanaka@eng.ehime-u.ac.jp	機能性セラミクス	機能性セラミクスの基礎	1人	英語能力または日本語能力 中国2名
44030	武部 博倫 教授	takebe@eng.ehime-u.ac.jp	機能性ガラス	ガラス科学および工学	1人	英語能力または日本語能力
44031	藤井 雅治 教授	fujii.masaharu@eng.ehime-u.ac.jp	有機エレクトロニクス、絶縁破壊	有機エレクトロニクスまたは絶縁破壊の基礎	1人	英語能力または日本語能力
44032	日野 照純 教授	hino@eng.ehime-u.ac.jp	物性科学	導電性有機物質の導電特性・電子状態	1~2人	英語能力または日本語能力
44033	八尋 秀典 教授	hvahiro@eng.ehime-u.ac.jp	触媒	触媒化学の基礎	1人	英語能力または日本語能力
44034	高橋 寛 教授	takahasi@cs.ehime-u.ac.jp	情報工学	ディペンダブルコンピューティング	1人	英語能力
44035	小林 真也 教授	kob@cs.ehime-u.ac.jp	情報工学	分散処理, 並列処理	1人	英語能力または日本語能力, インドネシア2名
44036	伊藤 宏 教授	ito@cs.ehime-u.ac.jp	解析学	解析学	1人	数学解析・線形代数の知識必要
44037	井門 俊 講師	ido@cs.ehime-u.ac.jp	画像処理・バーチャルリアリティ	画像処理の研修・バーチャルリアリティの研修	1人	英語能力または日本語能力, 初歩的なプログラミング能力が必要

農学研究科

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
44038	秋山浩一准教授	dramem31@agr.ehime-u.ac.jp	生物資源利用科学	微生物トランスポーター遺伝子の機能解析	1人	英語または日本語でコミュニケーションがとれる。



高知大学 (高知県)



教育学部の各分野の教員が留学生の専門分野に応じて指導します。

◇大学紹介

○大学の概要

高知大学は、1949年高知師範学校、高知青年師範学校等を包括して新制大学として設立されました。

2003年10月、それまでの高知大学と高知医科大学が統合し、新たな高知大学となり、翌年4月には国立大学法人高知大学として、人文学部、教育学部、理学部、医学部及び農学部の5つの学部と大学院をもつ総合大学に生まれ変わりました。

高知大学は、太平洋を南に臨み、四国山脈を背に四季の変化に富んだ高知県の中央、高知市に位置し、自由と寛容な気質を背景に、より高質な教育、研究活動を行っています。

○国際交流の実績 (2011年5月現在)

- ・在籍留学生数—157名 (25ヶ国)
- ・協定校—大学間協定44機関
一部局間協定21機関

◇教員研修コースの概要

○プログラムの特色

教育学部の各分野の教員が留学生の専門分野に応じて指導します。

○受入定員 若干名

○研修コースの概要

- ・日本語教育
留学生来日後、半年間は本学の国際・地域連携センター（国際連携部門）で日本語を研修した後受け入れます。また、留学生の希望により、人文学部及び共通教育開講の日本語科目を受講することができます。
- ・専門教育形態
 - a) 講義・演習・実験を組み合わせ、留学生の必要に応じて個別に指導を行っています。
 - b) 英語による授業科目
一部の授業を除いて、特別には設定していません。
- ・見学・地域交流等の参加型科目
「異文化理解」授業での歴史文化施設見学（前後期各2回）。
附属学校における国際交流授業や国際クラブ活動での交流（月1回）。
大豊町の「地域の祭り」への参加。
高知市内の着物試着体験への参加。
高知県国際交流協会との懇親行事への参加。
外国人留学生課外活動（年1回）

◇修了生へのフォローアップ

- ・窓口教員が毎年協定校を訪問し、留学後の学習状況について懇談を行います。安徽大学、天津師範大学、東海大学、東国大学校、イェーテボリ大学で実施。
- ・2010年・2011年に修了生と次期留学生との懇談会を漢陽大学で開催しました。
- ・2012年2月にゼミ生と修了生との交流会を韓国ソウルで開催予定です。
- ・ゼミ通信（『ダイナミック』現在17号）の発行します。修了生からも原稿をもらい、ゼミ生と修了生との交流を図っています。
- ・高知大学帰国留学生同窓会ネットワークに教育学部留学生も登録、参加しています。

◇宿 舎 (2011年5月現在)

朝倉キャンパス

女子寮 (3部屋) 約 7,500円

キャンパスから寮まで自転車で10分。

○宿舎設備・備品

※寮：机・椅子・ベッド・ロッカー・本棚・共同自炊設備・共同バス・トイレ

多くの学生が、大学周辺の民間アパートに入居しています。（家賃月額2万円～5万円）

◇問い合わせ先

担当部署： 研究協力部地域連携課国際連携室
大学所在地：高知県高知市曙町2-5-1
連絡先 TEL：088-844-8145
FAX：088-844-8718
E-MAIL：kt07@kochi-u.ac.jp

ホームページアドレス：

<http://www.kochi-u.ac.jp/>

シラバス掲載アドレス：

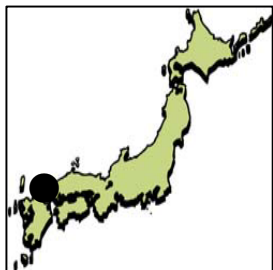
<http://www-kulas.jimu.kochi-u.ac.jp/public/syllabus/>

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

教育学部/総合人間自然科学研究科教育学専攻						
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
45001	岡谷 英明准教授	okatani@kochi-u.ac.jp	教育学	教育哲学	1~2人	日常会話程度の日本語能力と講義や議論である程度日本語を理解し、話す能力
	加藤 誠之准教授	kato-masayuki@kochi-u.ac.jp	教育学	生徒指導		日常会話程度の日本語能力と講義や議論である程度日本語を理解し、話す能力
	柳林 信彦准教授	nvanagi@kochi-u.ac.jp	教育学	教育行政学		日常会話程度の日本語能力と講義や議論である程度日本語を理解し、話す能力
	内田 純一教授	uchida@kochi-u.ac.jp	教育学	社会教育学		日常会話程度の日本語能力と講義や議論である程度日本語を理解し、話す能力
	田邊 重任准教授	sigetou@kochi-u.ac.jp	教育学	道德教育		日常会話程度の日本語能力と講義や議論である程度日本語を理解し、話す能力
	金山 元春准教授	kanayama@kochi-u.ac.jp	心理学	発達心理学		日常会話程度の日本語能力と講義や議論である程度日本語を理解し、話す能力
	藤田 尚文教授	fujita@kochi-u.ac.jp	心理学	教育心理学		日常会話程度の日本語能力と講義や議論である程度日本語を理解し、話す能力
	馬場園 陽一教授	babazono@kochi-u.ac.jp	心理学	教育心理学		日常会話程度の日本語能力と講義や議論である程度日本語を理解し、話す能力
	古口 高志准教授	kogutaka@kochi-u.ac.jp	心理学	発達心理学	日常会話程度の日本語能力と講義や議論である程度日本語を理解し、話す能力	
45002	是永 かな子准教授	sverige@kochi-u.ac.jp	特別支援教育学	障害児教育学	1~2人	日常会話程度の日本語能力
	稲富 眞彦教授	inatomi@kochi-u.ac.jp	特別支援教育学	障害児教育学		議論に必要な日本語能力・日本語の論文の読解力
	寺田 信一教授	stera@kochi-u.ac.jp	特別支援教育学	障害児心理学		議論に必要な日本語能力・日本語の論文の読解力
	鈴木 恵太講師	keita@kochi-u.ac.jp	特別支援教育学	発達障害指導法		議論に必要な日本語能力・日本語の論文の読解力
	北添 紀子講師	kitazoe@kochi-u.ac.jp	特別支援教育学	障害児病理学		議論に必要な日本語能力・日本語の論文の読解力
45003	渡邊春美 教授	h.watanabe@kochi-u.ac.jp	国語科教育学	国語教育史, 国語科授業論, 古典教育論	1人	日常会話程度の日本語能力 日本語の論文が読め、日本語の講義を受けられる
	武久康高准教授	takehisa@kochi-u.ac.jp	国文学	中古・中世の文学, 古典文学の享受史		日常会話程度の日本語能力 日本語の論文が読め、日本語の講義を受けられる
	玉木尚之准教授	ntamaki@kochi-u.ac.jp	漢文学	中国古代の思想の研究, 漢字・漢字教育の研究		日常会話程度の日本語能力 日本語の論文が読め、日本語の講義を受けられる
	北川修久教授	nobukita@kochi-u.ac.jp	書道	書写書道教育, 文字の表現, 古典の研究		日常会話程度の日本語能力 日本語の論文が読め、日本語の講義を受けられる
45004	藤田 詠司教授	efujita@kochi-u.ac.jp	社会科教育学	社会科教育学	2~3人	議論に必要な日本語能力
	遠藤 隆俊教授	endou@kochi-u.ac.jp	歴史学	東洋史		日常会話程度の日本語能力
	藤塚 吉浩教授	fujituka@kochi-u.ac.jp	地理学	都市地理学		議論に必要な日本語能力
	山崎 聡准教授	yamazaki@kochi-u.ac.jp	経済学	経済思想		議論に必要な日本語能力
	藤本 富一教授	tomikazu@kochi-u.ac.jp	政治学	憲法学		日本語で書かれた法律書を読める能力

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
45005	國本 景亀教授	coonie@kochi-u.ac.jp	数学教育学	数学教育学	1～2人	議論に必要な日本語能力・英語で書かれた数学教育論文の読解力
	中野 俊幸教授	tnakano@kochi-u.ac.jp	数学教育学	数学教育学		議論に必要な日本語能力・英語で書かれた数学教育論文の読解力
	織田 進	ssmoda@kochi-u.ac.jp	数学教育学	代数学		議論に必要な日本語能力・英語で書かれた数学教育論文の読解力
	佐藤淳郎	junro@kochi-u.ac.jp	数学教育学	代数学		議論に必要な日本語能力・英語で書かれた数学教育論文の読解力
	山口俊博	tyamag@kochi-u.ac.jp	数学教育学	幾何学		議論に必要な日本語能力・英語で書かれた数学教育論文の読解力
45006	中城 満 講師	mit-na@kochi-u.ac.jp	理科教育学	理科教育学	2～3人	日常会話程度の日本語能力
	國府 俊一郎 教授	koh@kochi-u.ac.jp	物理学	物性物理学		日常会話程度の日本語能力
	普喜 満生 教授	fuki@kochi-u.ac.jp	物理学	宇宙線物理学		日常会話程度の日本語能力
	蒲生 啓司 教授	kgamoh@kochi-u.ac.jp	化学	分離化学, 有機材料化学		日常会話程度の日本語能力
	原田 哲夫 教授	haratets@kochi-u.ac.jp	生物学	環境生理学, アメンボの生物学, 時間生物学		日常会話程度の日本語能力
	伊谷 行准教授	itani@kochi-u.ac.jp	生物学	底生生物学, 海洋生物学		日常会話程度の日本語能力
	赤松 直 教授	akamatsu@kochi-u.ac.jp	地学	地球惑星物質科学		日常会話程度の日本語能力
45007	山中文 教授	a-ymnk@kochi-u.ac.jp	音楽科教育学	音楽科教育学	1人	日本語の論文が読め、日本語の講義を受けられる
	脇岡総一 教授	ob39@kochi-u.ac.jp	器楽	オーボエ		日常会話程度の日本語能力
	宮田 信司 教授	shmiyata@kochi-u.ac.jp	器楽	ピアノ		日常会話程度の日本語能力
	小原 浄二 教授	joji@kochi-u.ac.jp	声楽	独唱		日常会話程度の日本語能力
	高橋美樹 准教授	mikitaka@kochi-u.ac.jp	音楽学	世界の諸民族の音楽, ポピュラー音楽		日本語の論文が読め、日本語の講義を受けられる
	前田克治 准教授	maedak@kochi-u.ac.jp	作曲	作曲		日常会話程度の日本語能力
45008	金子 宣正 教授	ysms-k@kochi-u.ac.jp	美術科教育学	美術に関する指導法(教科指導法)	1人	日本語の論文が読め、日本語の講義を受けられる
	土井原 崇浩 教授	doihara@kochi-u.ac.jp	絵画	西洋画		日常会話程度の日本語能力
	野角孝一 講師	nozumi@kochi-u.ac.jp	絵画	日本画		日常会話程度の日本語能力
	阿部 鉄太郎 講師	tetsutaro@kochi-u.ac.jp	彫刻	塑造		日常会話程度の日本語能力
	吉岡 一洋 准教授	yoshioka@kochi-u.ac.jp	デザイン	グラフィックデザイン		日常会話程度の日本語能力
	吉光 誠之 教授	yosimitu@kochi-u.ac.jp	木工	日本の伝統的木工芸		日常会話程度の日本語能力

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
45009	刈谷 三郎 教授	skariya@kochi-u.ac.jp	保健体育科教育学	保健体育科指導法、授業研究	1人	日常会話程度の日本語能力
	神家 一成 教授	kamiya@kochi-u.ac.jp	保健体育科教育学	保健体育科指導法、授業研究		日常会話程度の日本語能力
	辻田 宏 教授	tsujita@kochi-u.ac.jp	体育学	スポーツマネジメント論、スポーツ法学、スポーツ政策		日常会話程度の日本語能力
	矢野宏光 准教授	h-vano@kochi-u.ac.jp	体育学	スポーツ心理学、運動心理学、健康心理学		日常会話程度の日本語能力
	野地 照樹 教授	noji@kochi-u.ac.jp	運動学	コーチング論、サッカー指導法		日常会話程度の日本語能力
	駒井 説夫 教授	komai@kochi-u.ac.jp	運動学	運動生理学、体力科学		日常会話程度の日本語能力
	本間 聖康 教授	honma@kochi-u.ac.jp	健康科学, 学校保健	健康科学, 体力科学		日常会話程度の日本語能力
45010	増尾 慶裕 教授	masuo@kochi-u.ac.jp	技術科教育学	技術科教育学 環境教育や情報教育	1人	日常会話程度の日本語能力
	道法浩孝 教授	doho@kochi-u.ac.jp	技術科教育学	技術科教育学 情報科学及び電気教育		日常会話程度の日本語能力
	裏垣 博 教授	uragaki@kochi-u.ac.jp	機械	非破壊計測		日常会話程度の日本語能力
45011	菊地 るみ子 教授	rumiko@kochi-u.ac.jp	家政教育	家庭科教育学	1人	日常会話程度の日本語能力 日本語の論文が読め、日本語の講義を受けられる
	小島 郷子 教授	kkojima@kochi-u.ac.jp	家政教育	家庭科教育学・消費者教育		日常会話程度の日本語能力 日本語の論文が読め、日本語の講義を受けられる
	田村 和子 教授	kotamu@kochi-u.ac.jp	家政教育	被服学		日常会話程度の日本語能力 日本語の論文が読め、日本語の講義を受けられる
	柴 英理 講師	eri-shiba@kochi-u.ac.jp	家政教育	食物学		日常会話程度の日本語能力 日本語の論文が読め、日本語の講義を受けられる
	森田美佐 准教授	kaseim@kochi-u.ac.jp	家政教育	家庭経営学		日常会話程度の日本語能力 日本語の論文が読め、日本語の講義を受けられる
45012	那須 恒夫 教授	nasu@kochi-u.ac.jp	英語教育	英語教育	1人	ある程度の日本語能力を必要とする
	多良 静也 准教授	tara@kochi-u.ac.jp	英語教育	英語教育		ある程度の日本語能力を必要とする
	松原 史典 准教授	fuminori@kochi-u.ac.jp	英語学	統語論		ある程度の日本語能力を必要とする
	谷口 雅基 教授	tamasaki@kochi-u.ac.jp	英語学	英語音声学、スピーチ	1人	英語の能力は必要だが日本語能力は特に必要としない
45013	島田 希 講師	nshimada@kochi-u.ac.jp	教育方法	教育方法学・カリキュラム論	1人	日常会話程度の日本語能力 日本語の論文が読め、日本語の講義を受けられる



福岡教育大学 (福岡県)



教育学, 文学, 法学, 経済, 外国語, 理学, 工学, 農学, 芸術, 体育などの幅広い専門領域で学ぶことができます。

◇大学紹介

○大学の特色等

教育の総合的研究教育機関を目指す教員養成系大学で、教育学だけでなく文学、法学、経済、外国語、理学、工学、農学、芸術、体育等の幅広い専門領域の研究者を擁する大学です。

○国際交流の実績(2011年5月1日現在)

①留学生数

外国人留学生在籍数 81人(8カ国)

海外派遣留学生数 7人(4カ国)

②教員研修留学生数 3人(2カ国)

○学生数(2011年5月1日現在)

学部学生 2,871人

大学院生 211人



◇プログラムの概要

本学は、教育大学の名称が示すように、学校教員の養成を主目的にした九州地区唯一の国立教員養成系大学です。諸外国からの教員研修留学生を多数受け入れています。今後も教育を通して、「アジアにおける教育研究の拠点」としての役割を果たし、諸外国との交流を推進していくことを目指しています。

○受入定員 : 21名

○日本語教育

ア)コース

前期 日本語(120時間):中級レベル

日本語(30時間):上級レベル

後期 日本語(120時間):中級レベル

日本語(30時間):上級レベル

イ)補講

2012年度は、週9時間を実施予定

初中級コース、非漢字圏の留学生のための漢字コース

及び初級日本語コースを開講予定。

○専門教育

ア)形態

特別のカリキュラム(70%)、個別指導及び通常の講義の聴講(30%)との組み合わせ、及び小・中学校、高等学校、教育研究機関の実地見学等、講義及びセミナー形式の演習

イ)英語による授業科目

英語教育専攻、理科教育専攻、及び特別支援教育専攻は、部分的に英語による授業を行う。

○その他(見学実習や行事等)

・研修旅行

・学校、博物館等の見学

◇修了生へのフォローアップ

・修了後、留学生から相談のある際は、個別に対応している。

◇宿舎

・九州大学国際交流会館(18室)

宿舎費(単身:15,200円/月、一時金:8,400円)

夫婦:15,400円/月+光熱費、一時金:18,900円)

宿舎設備(ユニットバス、トイレ、ベッド、机、椅子、エアコン、冷蔵庫、洋服ダンス、下駄箱 外)

通学時間(40~50分 JR利用)

・学生寮

寮費(女子寮3,600円/月+光熱水費)

(男子寮4,800円/月+光熱水費)

設備(ベッド、机、椅子)

通学時間(女子寮:5分、男子寮:40分)

・民間アパート

料金(2万円~4万円)

◇問い合わせ先

〒811-4192

福岡県宗像市赤間文教町1番1号

福岡教育大学連携推進課

TEL: +81-940-35-1247

FAX: +81-940-35-1700

E-mail: ryugak01@fukuoka-edu.ac.jp

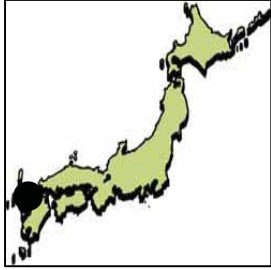
http://www.fukuoka-edu.ac.jp/

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

教育学研究科							
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件、受入実績(過去5年間)	
46001	津川 裕	—	教育学	生活科・総合的学習 教育学, 教育方法学	2	・教育学に関する教養 中国 2, 韓国 1, メキシコ 1 タイ 1, フィリピン 1 エルサルバドル1 ペルー1, ウズベキスタン2 ガーナ1	
46002	堺 正之	—		道徳教育実践学, 教育哲学			道徳授業論, 言語と教育
46003	小林 万里子	—		特別活動			道徳教育カリキュラム論, 近代ドイツ教育学
46004	木内 隆生	—		乳幼児教育			特別活動論、生活指導論、グループワークの理論と実際
46005	船越 美穂	—		国際相互理解教育, 教育史			幼児教育の歴史, 方法, 内容に関する研究
46006	飯田 史也	—		生涯学習			多文化理解教育論, 内外教育交渉史研究
46007	井上 豊久	—		メディア教育			社会教育, 生涯学習, ドイツ成人教育
46008	天野 真二	—		教育史			教育実践(情報教育), 教育工学, 心理現象の数学的取り扱い
46009	寺岡 聖豪	—					教育思想史研究
46010	竹本 英代	—					日本教育史, 教育学説史
46011	鈴木 邦治	—		教育制度学			教育経営学(地域教育経営論, 学校組織論, 学校施設・環境論, 学校マネジメント)
46012	河内 祥子	—					教育法規, 教育実践学
46013	永江 誠司	—	教育心理学	教授・学習心理学 発達心理学 教育社会心理学	1	・心理学に関する教養	
	大坪 靖直	—					
	笹山 郁生	—					
	杉村 智子	—					
	生田 淳一	—					
	黒川 雅幸	—					
松尾 剛	—						
46014	安部 順子	—	教育臨床心理学	学校臨床心理学, 遊戯療法	1	・教育臨床心理学に関する教養	
46015	中村 俊哉	—		比較心理療法, 異文化接触の研究			
46016	坂中 正義	—		カウンセリング(来談者中心療法, エンカウンター・グループ), 人間性心理学			
46017	中島 義実	—		学校における心理臨床, ロールシャッハ・テスト			
46018	岩橋 知子	—		精神分析的心理療法の過程			
46019	友清由希子	—		学校臨床心理学			

教育学研究科						
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件、受入実績(過去5年間)
46020	猪狩恵美子	—	特別支援教育	重複障害児教育	2	・特別支援教育に関する知識 ブラジル 1
46021	石坂 郁代	—		言語障害		
46022	藤金 倫徳	—		発達障害、応用行動分析		
46023	中村 貴志	—		視覚障害、認知症		
46024	見上 昌睦	—		言語障害		
46025	大平 壇	—		肢体不自由		
46026	太田 富雄	—		聴覚障害		
46027	中山 健	—		学習障害、注意欠陥多動性障害		
46028	相澤 宏充	—		聴覚障害教育		
46029	宮田 正和	—		障害児病理		
46030	保条 成宏	—		法律学		
46031	喜多加実代	—	社会学			
46032	亀井輝一郎	—	日本史			
46033	小川亜弥子	—	日本史			
46034	黒木 貴一	—	自然地理			
46035	竹島 博之	—	政治学			
46036	杉村 伸二	—	東洋史			
46037	玉置さよ子	—	西洋史			
46038	石丸 哲史	—	人文地理学			
46039	小林 知子	—	国際関係論			
46040	豊嶌 啓司	—	社会科教育			
46041	小田 泰司	—	社会科教育			
46042	堀 豊	—	哲学			
46043	鈴木 典夫	—	経済学			
46044	宮崎 義信 外22人	—	理科教育	2	・自然科学に関する基礎的素養 メキシコ 1, ミャンマー1	

教育学研究科			メールアドレス:〇〇△△@fukouka-eud.ac.jp			
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件、受入実績(過去5年間)
46045	飯田 慎司	—	数学教育	数学科教育	2	・中学校以上の数学の指導能力があること ミャンマー3
	清水 紀宏	—				
46046	品川美津男	—		数学(代数学)		
	坂本 隆則	—				
46047	岸 康弘	—		数学(幾何学)		
	櫻井 孝俊	—				
46048	岩元 隆	—		数学(解析学)		
	濃野 聖晴	—				
	原 卓哉	—				
46049	瀬片 純市	—		数学(応用数学)		
	玉利 文和	—				
	藤本 光史	—				
46050	木村 次宏 外8人	kimurat@	音楽教育	音楽科教育・演奏学・音楽学	2	・音楽教育と音楽学に関する教養及び音楽実技能力
46051	佐藤 完児郎 外11人	—	美術教育	美術科教育・実技(絵画, 彫刻, 構成・デザイン, 工芸)美術理論, 美術史, 書道教育, 書道, 書道史	2	・美術教育及び書道教育に関する教養及び実技能力 フィジー1
46052	中西 純司 外11人	—	保健体育	保健体育科教育, 体育学, 運動学, 健康教育学	2	・身体と運動・スポーツに関する諸科学の基礎的素養
46053	遠藤 秀治	endou@	技術教育	電気及び電気分野の教材開発	1	・技術教育及び技術科学分野の基礎的能力があること ハンガリー1
46054	永田 萬享	nagata		職業指導及び工業化教育		
46055	古川 稔	furukawm		金属加工		
46056	白石 正人	siraisi		情報		
46057	有川 誠	arikawa		技術教育		
46058	平尾 健二	khirao		栽培		
46059	大内 毅	tohuchi		木材加工		
46060	梅野 貴俊	t-umeno		機械		
46061	甲斐 純子	kais@	家政教育	家庭科教育学:家庭科教師養成カリキュラムについての研究	2	・家政学分野の基礎的知識と理解があること
46062	貴志 倫子	kishin@		家庭科教育学:家庭科の指導法, 教材開発に関する研究		
46063	秋永 優子	yukoaki@		食物学:食の地域性・季節性に関する研究、日常食のあり方に関する研究		
46064	長山 芳子	nagayamy@		被服学:衣生活の快適性と被服管理に関する研究		
46065	堀 雅子	horimasa@		被服学:着衣行動の季節性に関する研究、被服の温熱生理に関する研究		
46066	鈴木 佐代	suzukis@		住居学:ライフサイクルと住居に関する研究、戸建住宅地の維持・継続に関する研究		
46067	阿曾沼 樹	asonuma@		家庭工学:ヒューマンインタフェースに関する研究、大学内のサイン環境に関する研究		
46068	岡 俊房 外8人	—	英語教育	英語科教育・英米文学・言語学・英語コミュニケーション・応用言語学	1	・英語教育についての基礎知識 ミャンマー 1, フィリピン 1
大学全体の受入可能人数					21	



佐賀大学 (佐賀県)



国際化推進のためのプログラム

◇大学紹介

○大学の概要

昭和24年5月、旧制の佐賀高等学校・佐賀師範学校・佐賀青年師範学校を包括し、文理学部・教育学部(現、文化教育学部)の2学部の新制大学として発足。S30.7農学部、S41.4文理学部を改組し経済学部・理工学部、H15.10佐賀大学・佐賀医科大学統合により医学部が設置され現在の体制となった。

(学部) 文化教育学部、経済学部、
医学部、理工学部、農学部
学部生数 6,210名

(大学院) 教育学研究科、経済学研究科、
医学系研究科、工学系研究科
農学研究科
大学院生 961名

○国際交流の実績

・留学生数
世界各国・地域の138大学と交流協定を締結している。
現在、本学には286名の留学生が在籍している。

・受入実績
過去に1名の教員研修留学生を受入れている。

◇教員研修コースの概要

○プログラムの特色

本学教育学部は平成8年10月1日、文化教育学部に改組(平成9年4月から学生受入れ)し、教員研修留学生については、芸術系(音楽・美術)を含めた幅広い分野で受け入れている。

○受入定員

6人

○研修コースの概要

・日本語教育

ア)コース

留学生センターの日本語研修コースで最初の6ヶ月間集中して基礎的な日本語教育を受ける

イ)補講

日本語課外補講授業実施
指導教員により随時個別指導

・専門教育

ア)形態

演習 1コマ

講義 2コマ

イ)英語による授業科目

英米文学特別演習

・見学・地域交流等の参加型科目

日本文化教育の一環として本学の留学生を対象とした見学旅行等を実施している。教員研修留学生も、これらの行事に参加することができる。

・その他

◇修了生へのフォローアップ

帰国時に帰国後連絡先を提出させている。

◇宿 舎

○宿舎数

・単身用 40室
・夫婦用 3室
・世帯用 4室

○宿舎費

・単身用 7,200円
・夫婦用 11,000円
・世帯用 13,500円

○宿舎設備・備品

冷暖房、給湯、流し台、ユニットバストイレ、
ベッド、机、ガスコンロ、タンス等

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

宿舎周辺にはコンビニエンスストア、電器店、飲食店等あり。

宿舎は、入居制限等があり、宿舎に入居できない場合、大学周辺に留学生のための良質で家賃の安い国際下宿屋、その他、公営住宅・一般民間アパート等がある。

◇問い合わせ先

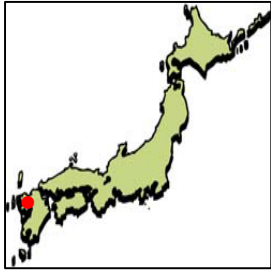
大学所在地 佐賀県佐賀市本庄町1番地
担当部署 学術研究協力部国際課
連絡先 TEL: 0952-28-8389
FAX: 0952-28-8819

E-MAIL: ryugaku@mail.admin.saga-u.ac.jp

ホームページアドレス <http://www.saga-u.ac.jp/>

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

教育学研究科						
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
47001	園田貴章 教授	sonodat@cc.saga-u.ac.jp	教育方法学	教育内容・方法論	1	日本語能力を強く求める
47002	前村 晃 教授	maemuraa@cc.saga-u.ac.jp	美術・工芸科教育	教科教育・美術教育	1	〃
47003	田中彰一 教授	tanaka@cc.saga-u.ac.jp	英語学	英語学・応用言語学	1	〃
47004	早瀬博範 教授	hayaseh@cc.saga-u.ac.jp	アメリカ文学	アメリカ文学・文化	1	英語能力を強く求める
47005	北川慶子 教授	kitagake@cc.saga-u.ac.jp	社会福祉学	老人福祉・老年学	1	日本語能力を強く求める
47006	倉本哲男 准教授	kuramoto@cc.saga-u.ac.jp	学校・学級経営学	学校・学級経営学	1	〃
47007	松下一世 准教授	d5241@cc.saga-u.ac.jp	人権教育論	人権教育論	1	〃
47008	川上泰彦 准教授	yasuh@cc.saga-u.ac.jp	教育制度論	教育制度論	1	〃



長崎大学 (長崎県)



学校教育現場で必要とされる知識・技能獲得のための研修を行います。

◇大学紹介

○大学の概要

長崎大学は、教育学部のほかに、経済学部、医学部、歯学部、薬学部、工学部、環境科学部、水産学部が設置されている総合大学である。教育学部には国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語、教育、教育心理、特別支援教育、幼児教育の各専門分野の教員(約80名)が配置されている。また、附属の小学校、中学校、特別支援学校、幼稚園もあり、留学生が学校教育の実際を見学することもできる。

○国際交流の実績

・留学生数(2011.5.1)

学部生の数は7,674人、大学院生の数は1,442人である。このうち教育学部には、学部学生1,026人、大学院生66人がいる。外国人留学生の数は、大学全体で385人、教育学部では28人である。

・受入実績

長崎大学は、外国の多くの大学と学術交流を行っている。たとえば、中山医科大学、シンガポール国立大学医学部、釜慶大学校、チェンマイ大学、中国薬科大学、ライデン大学、済州大学校、慶北大学校など113の大学と協定を結び、研究交流、学生交流などを行っている。また過去10年間の教員研修留学生の数は14人で、出身国は、フィリピン、ミャンマー、タイ、インドネシア、メキシコ、サウジアラビアなどである。

◇教員研修コースの概要

○プログラムの特色

教育学部のすべての教職員の協力のもとに「外国人留学生委員会」が設置され、教員研修留学生の研修を有意義に進めるための体制を整え、努力している。留学生のための交流パーティーや研修旅行を実施し、修学・生活上の悩みなどについても気軽に相談を受けるなど、なごやかな雰囲気での留学生の受入れを行っている。

○受入定員 8人

○研修コースの概要

・日本語教育(2012年10月～2013年3月)

ア)コース

留学生センターにおいて、日本語研修コースで6ヶ月間の日本語教育を受ける。

イ)補講

留学生センターで、週20時間、初級・中級・上級に応じたカリキュラムで実施している。

・専門教育(2013年4月～2014年3月)

教員研修留学生の希望する専門研究分野に対応して、教育学部の教員(1名～複数名)が指導教員となる。留学生は、1年間にわたってその指導教員の下で、各種のゼミナール、講義を受ける。また研修期間の最後に、研修成果を示したレポート(日本語または英語による)を作成し、発表する。

・見学・地域交流などの参加型科目

県下の小学校、中学校等に出向き、子供たちに出身国の生活習慣や文化等について説明する。これにより日本の教育現場に直接触れるとともに、子供たちとの交流を通して相互理解を深める事業を行う。

◇修了生へのフォローアップ

学術研究等の相談があった時は、メール等でいつでも応じる体制を取っている。

◇宿 舎

長崎大学には、国際交流会館(西町本館・A棟・B棟)及び坂本分館の4棟の留学生用宿舎が設置されている。但し、数に限りがあるため、希望者全員が入居できないこともある。その場合は、民間アパートを借りる。

留学生向けの居室数等は、以下のとおりである。

○宿舎数

・単身室	64室
・2人シェア	4室
・3人シェア	12室
・4人シェア	84室

○宿舎費

・単身室	¥8,177	¥11,384	¥20,589
・2人シェア	¥12,560	／人	
・3人シェア	¥12,516	／人	
・4人シェア	¥19,275	／人	

○宿舎設備・備品

エアコン・ベッド・机・椅子・洋服ダンス・電気スタンド・冷蔵庫・シャワー・トイレ・洗濯室(共有)・補食室(共有)

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

国際交流会館は、文教キャンパス(メインキャンパス)から徒歩で20分程度の距離に位置している。閑静な住宅街に立地し、付近には公務員宿舎も併設されている。国際交流会館坂本分館は、本学附属病院の敷地内に設置されており、医学部及び歯学部へは徒歩で数分の距離にある。付近には商店街もあり、生活環境が良い。文教キャンパスまでは路面電車を利用して30分程度を要する。

◇問い合わせ先

〒852-8521 長崎市文教町1-14

長崎大学研究国際部国際交流課

TEL: 095-819-2121

FAX: 095-819-2125

Email: ryugaku@ml.nagasaki-u.ac.jp

ホームページアドレス: <http://www.nagasaki-u.ac.jp/>

大学名 : 長崎大学 (大学番号 48)

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

教育学研究科						
コースコード	教員名(職名)	メールアドレス	分野	研修の内容	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力, 専門能力等), 受入実績(過去5年間の受入国, 人数)
48001	勝俣 隆 (教授)	katumata	国語教育	国文学(古典文学)	1	
48002	山本 建雄 (教授)	yamamoto	国語教育	国語科教育	1	
48003	鈴木 慶子 (教授)	keiko-s	国語教育	書写書道	1	
48004	中島 貴奈 (准教授)	takanan	国語教育	日本文学 (漢文学)	1	
48005	平瀬 正賢 (准教授)	masa-i	国語教育	国語教育	1	
48006	堀井 健一 (教授)	horii	西洋古代史	古典期アテネの歴史	1	英語による指導可
48007	永田 聖二 (教授)	seiji	経済学	経済理論又は数理経済学	1	
48008	飯塚 知敬 (教授)	iizuka	西洋哲学、倫理学	哲学・倫理学の諸問題	1	
48009	福田 正弘 (教授)	fukuda	社会科教育	社会認識の発達	1	
48010	福留 真紀 (准教授)	fukutome	日本史	日本近世政治史	1	
48011	北村 右一 (教授)	yu-kita	数学	解析学	1	英語による指導可。受入実績:ウガンダ1名(平岡)
	梶本 ひろし (教授)	kajimoto	数学	幾何学		
	平岡 賢治 (教授)	khiraoka	数学教育	数学教育		
48012	宮内 香織 (准教授)	mkaori	数学教育学	数学教育	1	英語による指導可
48013	全 炳徳 (教授)	bdjun	Web情報システム	Web用地理情報システム	1	英語による指導可
	中村 千秋 (准教授)	(sonny@i.edu.nagasaki-u.ac.jp)	情報システム	教育用コンピュータシステムの構築		
48014	古賀 雅夫 (教授)	m-koga	物理学, 物理教育	物理教育, 固体物理	1	英語による指導可。受入実績:ペルー1名
48015	星野 由雅 (教授)	hoshino	化学	無機化学, 分析化学, 化学教育	1	英語による指導可

コースコード	教員名(職名)	メールアドレス	分野	研修の内容	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力, 専門能力等), 受入実績(過去5年間の受入国, 人数)
48016	長島 雅裕(准教授)	masahiro	天文学	天文学, 宇宙物理学	1	英語による指導可
48017	山路 裕昭(教授)	yamaji	理科教育	理科教育	1	
48018	福井 昭史(教授)	a-fukui	音楽教育	音楽教育の研究	1	
48019	堀内 伊吹(教授)	horiuchi	ピアノ	ピアノ奏法の基礎	1	
48020	三上 次郎(教授)	mikami	作曲	和声学の研究	1	
48021	宮下 茂(准教授)	miyamo	声楽	声楽	1	
48022	加納 暁子(准教授)	k-akiko	ヴァイオリン	ヴァイオリンの演奏法	1	
48023	佐藤 敬助(教授)	keisuke	彫刻	彫刻(美術教育)	1	
48024	織田 芳人(教授)	m-oda	デザイン	立体構成(美術教育)	1	
48025	中川 泰(教授)	nakagawa	美術教育	美術教育	1	
48026	菅野 弘之(准教授)	kankan	陶芸	工芸(陶芸)	1	
48027	針貝 綾(准教授)	aharikai	美術教育	美術史	1	
48028	菅原 正志(教授)	sugahara	健康科学分野	運動生理学と公衆衛生学	1	英語による指導可
48029	西澤 昭(教授)	nishisho	保健体育	保健・体育に関する調査・研究	2	英語による指導可
48030	山内 正毅(教授)	yamauchi	体育心理学	スポーツ心理学と運動学習	1	英語による指導可
48031	畑 孝幸(教授)	hata	体育学	体育とスポーツの哲学	1	英語、独語による指導可
48032	藤木 卓(教授)	t-fujiki	遠隔教育、技術科教育	遠隔教育及び技術科教育について	1	英語による指導可
48033	藤本 登(教授)	n-fuji	環境技術・機械工学とその教育	環境教育、技術教育(機械)について	1	
48034	赤崎 眞弓(教授)	akasaki	家政教育	家庭科教育	1	英語による指導可
	佐々野 好継(准教授)	y-sasano	家政教育	住居学		
48035	ガンガ 伸子(教授)	tnobuko	生活経済学	食料消費	1	英語による指導可

コースコード	教員名(職名)	メールアドレス	分野	研修の内容	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力, 専門能力等), 受入実績(過去5年間の受入国, 人数)
48036	飯島 美夏(准教授)	m-ijima	被服材料学	高分子物性	1	英語による指導可
48037	及川 大地(准教授)	daichioi	食品機能学	脂質栄養学	1	英語による指導可
48038	井上 一郎(教授)	inoue	アメリカ文学	現代アメリカ文学	1	
	松元 浩一(教授)	kmata	英語学	統語論		
	池田 俊也(准教授)	t-ikeda	イギリス文学	現代イギリス文学		
	稲毛 逸郎(教授)	inage	英語教育	英語教育		
48039	上 蘭 恒太郎(教授)	kamizono	道德教育	道德教育	1	受入実績: フィリピン1名(上蘭) メキシコ1名(井口) ミャンマー2名(呉屋)
	柳田 泰典(教授)	yasunori	教育社会学	教育社会学		
	井口 均(教授)	hitoshi	幼児教育	幼児教育		
	平田 勝政(教授)	hirata	障害児教育	障害児教育		
	鈴木 保巳(准教授)	ys11	障害児生理心理学	障害児生理心理学		
	呉屋 博(准教授)	goya	教育学, 理科教育	教育学, 理科教育		
	笹山龍太郎(准教授)	sasayama	障害児教育	特別支援教育		
	楠山 研(准教授)	kusuyama	教育制度	教育制度, 学校制度		
48040	原田 純治(教授)	harada	教育社会心理学	教育心理学, 社会心理学	1	
48041	小原 達朗(教授)	labo	健康教育	子ども学	1	
48042	寺嶋 浩介(准教授)	k-tera	教育工学	メディア教育	1	英語による指導可。受入実績:エルサルバドル1名

※メールアドレスはユーザー名を示し, ドメイン名(@nagasaki-u.ac.jp)は省略しています。



熊本大学 (熊本県)



本学の教員研修プログラムは、日本の教育諸相について基礎知識及び専門知識を得ることを目的としています。

◇大学紹介

①大学の概要

熊本大学は、第五高等学校・熊本医科大学等の旧制諸学校を母体として、1949年5月に発足した国立の総合大学です。現在、本学には7学部・8大学院が設置されており、学部・大学院学生数計約10,000人、教職員数約2,100人を有しています。

学部：文学部、教育学部、法学部、理学部、医学部、薬学部、工学部
大学院：教育学研究科、社会文化科学研究科、法曹養成研究科、自然科学研究科、生命科学研究部、医学教育部、薬学教育部、保健学教育部

教員研修留学生の受入れ先となる教育学研究科には、現在2専攻（学校教育実践、教科教育実践）が設置されています。本研究科は、大学卒業者だけでなく、現職教員も受入れており、教員の資質向上を目的として教育実践に関する総合的な研究をおこなっています。

また、学内共同教育研究施設のひとつとして設置されている国際化推進センターは、本学の外国人留学生に対し、日本語及び日本事情に関する教育や修学・生活上の指導をおこなっています。

②国際交流の実績

- ・ 2011年11月1日現在の留学生在籍数：47か国431人
- ・ 最近の教員研修留学生の受入れ数
2011年度：4人（インドネシア1、ウズベキスタン1、ミャンマー1、スーダン1）
2010年度：2人（ミャンマー1、フィリピン1）
2009年度：4人（ブラジル1、インドネシア1、モンゴル1、ミャンマー1）
- ・ 国際交流協定状況
2011年10月2日現在、27か国121大学・機関と国際交流協定を締結し、学生交流及び研究者交流をおこなっています。

◇教員研修コースの概要

1. プログラムの概要

本学の教員研修プログラムは、下記分野における日本の教育諸相について基礎的及び専門的知識を得ることを目的としています。

本学教育学部では、小・中学校教諭に必要な国語科教育、社会科教育、数学教育、理科教育、音楽教育、美術教育、保健体育、技術教育、家政教育、英語教育、特別支援教育、学校教育（教育学・心理学）について、また養護教諭に必要な養護教諭教育について、それぞれ専門教育をおこなっています。

2. 受入れ定員 計32名

3. 研修の概要

①日本語教育

期間：2012年10月～2013年3月（半年間）
内容：日本での日常生活に必要な日本語および入学後の研究活動に必要な基礎的な日本語の学習をおこないます。
形態：初級から中級まで各種のクラスが用意されています。

②専門教育

期間：2013年4月～2014年3月（1年間）
形態：主に指導教員による個別指導を受けます。
また、大学院生や学部生と一緒に講義や演習に参加し、各自の研究課題をさらに深めます。学年末には、研究成果を発表します。

③その他

- ・ 指導教員による独自の現地見学をおこないます。
- ・ 教育現場の見学をおこないます。
- ・ 見学旅行をおこないます。
* 見学旅行については、大学の教育指導の一環として九州内の文化施設や史跡見学を1年に1回実施しています。

◇宿 舎

熊本大学には、キャンパスから東に1.5kmほど離れたところに、留学生のための宿舎、「熊本大学国際交流会館」があり、200人以上の留学生や研究者が入居しています。

<寄宿料> (水道・光熱費は実費)

単身室	月額	17,000円	(147室)
夫婦室	月額	26,000円	(6室)
家族室A	月額	36,000円	(3室)
家族室B	月額	34,000円	(4室)

<入居時にかかる費用>

単身室	預託金として	18,000円
夫婦室	同上	28,000円
家族室A	同上	40,000円
家族室B	同上	36,000円

<設備・備品（単身室の場合）>

流し台、シャワー・トイレ、エアコン、ベッド、冷蔵庫、電磁調理器、机、靴箱、電話機（受信専用）

◇問い合わせ先

〒860-8555 熊本市黒髪2-40-1
熊本大学 国際化推進センター
TEL: +81-96-342-2103, FAX: +81-96-342-2130
E-MAIL: gji-ryugaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp
HP: <http://www.kumamoto-u.ac.jp/>
シラバス掲載アドレス
<http://info.kumamoto-u.ac.jp/kumamoto-u/campus>

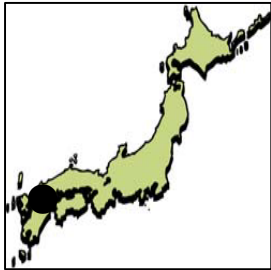


◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

教育学研究科						
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）
49001	堀畑 正臣教授	horihata@educ.kumamoto-u.ac.jp	国語教育	日本語史の諸問題	1	
49002	春田 直紀准教授	haruta@educ.kumamoto-u.ac.jp	歴史学	地域史	1	
49003	山中 守教授	yamanaka@educ.kumamoto-u.ac.jp	経済学	経済分析		
49004	山本 耕三准教授	kya@educ.kumamoto-u.ac.jp	地理学	人文地理学		
49005	八幡 英幸教授	yahata@gpo.kumamoto-u.ac.jp	倫理学	倫理学の諸問題		
49006	上田理恵子准教授	ueda@educ.kumamoto-u.ac.jp	法学	法制史		
49007	伊藤 仁一教授	j-ito@gpo.kumamoto-u.ac.jp	数学	幾何学		1
49008	正元 和盛教授	masamoto@gpo.kumamoto-u.ac.jp	生物学	植物学、生物教育	1	1（ミャンマー）
49009	田邊 力准教授	tanabe@gpo.kumamoto-u.ac.jp	生物学	生態学、動物学		
49010	島田 秀昭教授	shimada@educ.kumamoto-u.ac.jp	化学	有機化学、環境化学、化学教育		1（ヨルダン）
49011	田中 均教授	hitoshi@educ.kumamoto-u.ac.jp	地学	生層序学、地学教育		
49012	宮縁 育夫准教授	yasuo@educ.kumamoto-u.ac.jp	地球科学	火山学、地形学		
49013	福島 和洋教授	fksm@educ.kumamoto-u.ac.jp	物理学	物理教育、非線形物理学		1（エジプト）2（ミャンマー）
49014	岸木 敬太准教授	kishigi@educ.kumamoto-u.ac.jp	物理学	物理教育、物性物理学		1（エジプト）
49015	渡邊 重義准教授	shige@educ.kumamoto-u.ac.jp	理科教育	理科教育、生物教育		1（マレーシア）
49016	森 恭子准教授	mori@educ.kumamoto-u.ac.jp	音楽教育	音楽教育		1
49017	平和 孝嗣教授	hirawa@educ.kumamoto-u.ac.jp	音楽教育	声楽		
49018	吉永 誠吾教授	yoshinag@gpo.kumamoto-u.ac.jp	音楽教育	音楽教育		
49019	國枝 春恵准教授	harue@educ.kumamoto-u.ac.jp	音楽教育	作曲		
49020	袴田 和泉教授	izumy@educ.kumamoto-u.ac.jp	音楽教育	器楽		
49021	中山 孝史教授	nakayama@educ.kumamoto-u.ac.jp	音楽教育	音楽理論、音楽史		

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）
49022	梅田 素博教授	umeda@educ.kumamoto-u.ac.jp	美術教育	構成・デザイン	1	
49023	横出 正紀教授	myokode@educ.kumamoto-u.ac.jp	美術教育	美術科教育	1	
49024	吉川 登教授	nobo@educ.kumamoto-u.ac.jp	美術教育	美術理論・美術史の研究	1	
49025	松永 拓己准教授	matsu@educ.kumamoto-u.ac.jp	美術教育	絵画	1	
49026	緒方 信行准教授	nobuyuki@educ.kumamoto-u.ac.jp	美術教育	彫刻	1	
49027	坂下 玲子教授	reiko@educ.kumamoto-u.ac.jp	保健体育教育学	体育科教育, ダンス, 体操	1	1 (インドネシア)
49028	小澤 雄二准教授	phyj@educ.kumamoto-u.ac.jp	運動学	運動学, 柔道		
49029	則元 志郎教授	norimoto@gpo.kumamoto-u.ac.jp	保健体育教育学	体育科教育		
49030	後藤 貴浩准教授	goto5555@educ.kumamoto-u.ac.jp	体育学	スポーツ社会学		
49031	中川 保敬教授	nakagawa@educ.kumamoto-u.ac.jp	体育学	体育経営学	1	
49032	唐杉 敬准教授	karasugi@gpo.kumamoto-u.ac.jp	体育学	体育学		
49033	井福 裕俊教授	ifuku@kumamoto-u.ac.jp	運動学	運動生理学		
49034	大石 康晴准教授	oishi@gpo.kumamoto-u.ac.jp	運動学	運動生理学		
49035	塚本 光夫教授	tsuka@educ.kumamoto-u.ac.jp	技術教育	金属材料学	1	
49036	沼田 貴美子教授	kimiko@educ.kumamoto-u.ac.jp	家政教育	食生活、食嗜好、調理	1	
49037	鳥飼 香代子教授	torikai@educ.kumamoto-u.ac.jp	家政教育	住居学、住宅計画学、都市計画学	1	
49038	八幡 彩子准教授	ayako@educ.kumamoto-u.ac.jp	家政教育	家庭経営学、家政学原論	1	
49039	宮瀬 美津子准教授	miyase@educ.kumamoto-u.ac.jp	家政教育	家庭科教育、環境教育	1	
49040	雙田 珠己准教授	soda@educ.kumamoto-u.ac.jp	家政教育	被服科学、被服構成学	1	
49041	増田 仁講師	mmsd@educ.kumamoto-u.ac.jp	家政教育	家庭科教育学、保育学、ジェンダー論	1	研究を遂行できるだけの日本語能力を有していること 1 (中国)
49042	登田 龍彦教授	toda@educ.kumamoto-u.ac.jp	英語	英語学/言語学	1	
49043	松瀬 憲司准教授	matsusek@educ.kumamoto-u.ac.jp	英語	英語史	1	
49044	池田 志郎准教授	ikedash@educ.kumamoto-u.ac.jp	英語	米文学	1	

コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入 可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）	
49045	鈴木 蓮一教授	rsuzu@educ.kumamoto-u.ac.jp	英語	英文学	1		
49046	高木 信之教授	pigate@educ.kumamoto-u.ac.jp	英語	英語科教育（教員教育）	1	1（ブラジル）	
49047	島谷 浩准教授	shima@educ.kumamoto-u.ac.jp	英語	英語科教育（教授法）	1	1（インドネシア）1（ミャンマー）	
49048	菊池 哲平准教授	kikuchi@educ.kumamoto-u.ac.jp	特別支援教育	特別支援教育心理学	1		
49049	藤原 志帆准教授	fujihara@educ.kumamoto-u.ac.jp	特別支援教育	特別支援教育指導学	1		
49050	古田 弘子准教授	fh91@educ.kumamoto-u.ac.jp	特別支援教育	特別支援教育学	1		
49051	干川 隆教授	hosikawa@educ.kumamoto-u.ac.jp	特別支援教育	特別支援教育指導学	1	1（フィリピン）	
49052	萬羽 晴夫准教授	manba@educ.kumamoto-u.ac.jp	教育学	道德教育	2	（初級段階の）ある程度日本語の学習を積んでいること 1（中国）	
49053	堀 浩太郎教授	horiko@educ.kumamoto-u.ac.jp	教育学	教育史			
49054	白石 陽一准教授	shiro@educ.kumamoto-u.ac.jp	教育学	教育方法			1（パラグアイ）1（フィリピン）
49055	藤井 美保准教授	fujii@educ.kumamoto-u.ac.jp	教育学	教育社会学			
49056	山城 千秋准教授	qianqiu@educ.kumamoto-u.ac.jp	教育学	社会教育			
49057	小林 大祐准教授	dk2@educ.kumamoto-u.ac.jp	教育学	教育哲学			
49058	永田 憲行教授	naga@educ.kumamoto-u.ac.jp	小児科学	小児科学・学校保健	1		
49059	松田 芳子教授	matsuda@educ.kumamoto-u.ac.jp	養護教育学	養護教育・学校保健・健康教育			
49060	本田 優子准教授	honda@educ.kumamoto-u.ac.jp	看護学	健康教育、精神保健			
49061	大益 史弘准教授	fomasu@educ.kumamoto-u.ac.jp	公衆衛生学	疫学・生理学			
49062	山梨 八重子准教授	ynashiko @educ.kumamoto-u.ac.jp	養護教育学	養護教育・学校保健・健康教育			
49063	入谷 仁士准教授	iritanib @educ.kumamoto-u.ac.jp	学校保健学	学校保健 保健科教育			



大分大学 (大分県)



大分大学教育福祉科学部では、「福祉の心と実践性」をキーワードとし、こどもを支援できる質の高い教員、時代に対応し地域の文化創造に貢献できる人材、生き甲斐をもち健やかに共に生きる社会を目指す人材の養成に取り組んでいます。

◇大学紹介

○大学の概要

大分大学は、教育福祉科学部、経済学部、医学部、工学部の四学部、5大学院から成る国立大学法人です。海あり山あり温泉あり、温暖で自然豊かな大分の地で、「創造性や人間性に富む人材の育成」「国際社会の平和と発展への貢献」「人類の福祉と文化の創造」を理念とした教育を実践しています。

○教育福祉科学部の概要

教育福祉科学部の歴史は明治9年(1877年)に設立された大分県師範学校とともに始まり、教員養成学部として130年の伝統を誇っています。現在、学部生1,078名、大学院生74名の学生が学んでいます。

国際化・情報化社会に対応した情報社会文化課程、国立大学初の福祉系課程となる人間福祉科学課程の設置など、常に新しい社会の動きに目を向け、社会の期待に応える努力を続けています。

○国際交流の実績

・留学生数

大分大学は、現在19の国と地域の58大学と学生交流協定を結んでおり、170人以上の留学生が学んでいます。

・受入実績

教育福祉科学部はアジア地域を中心に、58名の留学生(研究生3名を含む)を受け入れています。

国際教育研究センターホームページ

<http://www.isc.oita-u.ac.jp/>

◇教員研修コースの概要

○プログラムの特色

教員研修留学生の研修目的に応じて、指導教員による特別指導や、大学附属の小学校・中学校・幼稚園・特別支援学校において実践的な研修もできます。少人数できめの細かい指導を行っています。

○受入れ定員 1 人

○教研コースの概要

1. 日本語教育

日本語の学習経験がない研修生は、日本語初級コースを受講することができます。日本語の学習経験がある研修生や、初級コースを修了した後も希望する研修生は、レベルに応じて日本語・日本事情科目を受講することができます。

大分大学では、初級から上級まで7レベルに分けた日本語教育を実施しています。各レベルはさらに会話、読解、作文、文法の授業に分かれており、各自のレベルと目的に応じた授業を受講することができます。

2. 専門教育

研修生の専門分野に応じた一般授業科目、専門科目の受講に加え、必要に応じて、個別指導の機会も提供されています。

3. その他

日本人家庭を訪問するホームビジットプログラム、地域のお祭り、日本人学生や地域住民との国際交流イベントなど、留学生が日本の人々と知り合う機会や、日本文化を体験できるさまざまな活動を企画しています。

大分大学HP <http://www.oita-u.ac.jp/>

◇宿 舎

留学生用宿舎として以下の3つがあります。

	国際交流 会 館	寮	留学生 寄 宿 舎
個室	30室	13室	42室
宿舎費 月 額	5,900円	20,000円(11) 25,000円(2)	4,700円
夫婦室 家族室	3室:11,900円 3室:14,200円	なし	
シャワー・台 所・トイレ・ 洗濯機	各個室にあり		各階共同
各室の 備 品	机、いす、ベッド、エアコン、本棚 など		
通学時間	JRと徒歩で 30分	徒歩3分	徒歩5分
所在地	JR大分駅から 徒歩15分	JR大学前駅か ら徒歩3分	JR大学前 駅から徒 歩1分

2012年に留学生寄宿舎の改修が予定されています。

改修後は宿舎費の改定が見込まれます。

◇問合せ先

大分大学研究・社会連携部国際交流課

住所：〒870-1192 大分市旦野原700

TEL : +81-97-554-7444

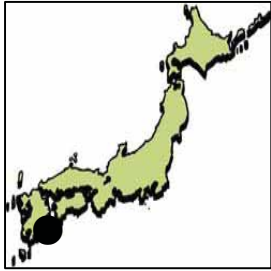
FAX : +81-97-554-7437

E-mail : ryugaku@oita-u.ac.jp

大学名： 大分大学 (大学番号50)

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

教育学研究科						
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
50001	平田利文教授	hirata@oita-u.ac.jp	社会科教育	シティズンシップ教育について	1人	日本語(又は)英語ができること、受入実績なし



宮崎大学 (宮崎県)



指導教員による個別指導のもとに、教員研修生の目的に応じ高度で実践的な研修を行う。

◇大学紹介

宮崎大学は、教育文化学部、医学部、工学部、農学部との4つの学部と教育学研究科、医科学看護学研究科、工学研究科、農学研究科、医学獣医学総合研究科、農学工学総合研究科の6つの大学院研究科で構成されている国立大学法人です。本学の概要は次のとおりです。

○課程・学科

◇教育文化学部: 学校教育課程、人間社会課程

◇医学部: 医学科、看護学科

◇工学部: 環境ロボティクス学科、環境応用化学科、社会環境システム工学科、機械設計システム工学科、電子物理工学科、電気システム工学科、情報システム工学科

◇農学部: 植物生産環境科学科、森林緑地環境科学科、応用生物科学科、海洋生物環境科学科、畜産草地球科学科、獣医学科

○学内共同教育研究施設

◇産学・地域連携センター ◇教育・学生支援センター ◇フロンティア科学実験総合センター ◇国際連携センター

○学生数及び職員数

◇学部生: 4,822名 ◇大学院生: 712名

◇教員: 664名 ◇事務職員: 751名

○留学生

◇現在の留学生数: 116名

◇教員研修生受入れ実績: 現在まで4名

◇教員研修コースの概要

○プログラムの特色

教員研修生は、日本語、日本事情の授業を研修生の日本語能力に応じて受講するほか、各自の専門領域に関連する科目を受講できる。その際、指導教員が専門内容についての個別指導を行う。さらに必要に応じて、市内の小、中、高における授業見学や児童・生徒との国際交流活動に参加する場合もある。

○受入定員: 3人

○研修コースの概要

渡日後、他機関で6ヶ月間の日本語教育を受けて、本学で下記の研修を行う。

(a) 日本語教育コース

* 中級日本語 I~VI * 日本語 I~IV
* 日本事情 I~VI * 日本語(補講)

(b) 専門教育

* 研修生のニーズに応じて、専攻分野及び専攻分野に関連する科目について指導教員の指導に基づいて計画を立て、受講する。

指導教員の理解と協力の下で英語による受講が可能な場合もある。

(c) 見学旅行・地域交流等の参加型科目

* 見学旅行(日本国内の実地を見学するため)が実施される。

(d) 授業時間数

* 半期15回(30時間)

* 前期 4月~9月; 後期 10月~3月

◇修了生へのフォローアップ

* 修了生の必要に応じ、指導教員が個別に相談にのる。

◇宿舎

○学生寮

男子寮 100室、女子寮 100室

○国際交流宿舎

単身室 167室
夫婦・家族室 8室

○宿舎費(月額)

単身室 4,700円
夫婦室 9,500円 家族室 14,200円

○宿舎設備・備品

各部屋にベッド、机、椅子、クローゼット付き
シャワー・キッチン・洗濯室は共用

○周辺環境・通学時間

近隣にスーパー、コンビニ、レストラン
キャンパス内に宿舎有り。

◇問い合わせ先

大学所在地:

〒889-2192 宮崎県宮崎市学園木花台西1-1

担当部署: 研究国際部国際連携室国際連携係

連絡先 TEL: 0985-58-7134 FAX: 0985-58-7782

E-mail: ryugaku@of.miyazaki-u.ac.jp

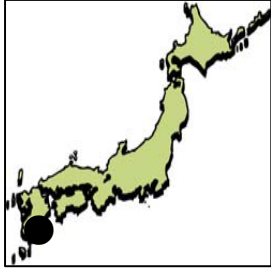
ホームページアドレス: <http://www.miyazaki-u.ac.jp>

シラバス掲載アドレス:

<http://www.of.miyazaki-u.ac.jp/gakumu/>

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

教育学研究科						
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）
51001	石川千佳子教授	e06505u@cc.miyazaki-u.ac.jp	美術理論・美術史	日本の芸術論、特に美術鑑賞理論について	1人	日本美術に関心があり、日本語の文献を読むことができる者。 教員研修留学生の受け入れ実績は無。 一般の留学生の受入実績は有。
51002	上原徳子講師	sydz@cc.miyazaki-u.ac.jp	中国古典文学（小説）	明代の中国小説について。主に日本での版本調査などに協力可能。	1人	中国語だけでも可。ただし、日本語の基礎を学習済みであることが望ましい。中国語圏以外の学生でも中国語でコミュニケーションがとれば受け入れ可能。
51003	下條恵子講師	shimojo@cc.miyazaki-u.ac.jp	アメリカ文学	文学批評理論を用いたアメリカ文学研究	1人	英語での研究が可能。日常生活に差し支えない程度の日本語を習得している者が望ましい。教員研修留学生の受け入れ実績・一般の研究生（留学生）の受け入れ実績は無。
51004	菅裕准教授	e05107u@cc.miyazaki-u.ac.jp	音楽教育学	音楽科教育。主に学校での演奏指導に関わる分野。	1人	日本語または英語。日本語の読み書きおよび日常会話ができることが望ましい。教員研修留学生の受け入れ実績は無。
51005	戸島信一教授	stoshima@cc.miyazaki-u.ac.jp	社会学	家族社会学・地域社会学・環境社会学	1人	日本語で文章を読んだり書ける能力のある者。教員研修留学生の受け入れ実績は無。中国人留学生（修士課程）受け入れ経験有。
51006	藤井久美子准教授	kumikofm@cc.miyazaki-u.ac.jp	社会言語学	近現代中国・台湾の言語政策について	1人	日本語能力試験N1認定以上。研究対象を客観的に論じることができる者。教員研修留学生の受け入れ実績は無。一般の研究生（留学生）の受入実績は有。
51007	藤元嘉安教授	fujigen@cc.miyazaki-u.ac.jp	木材加工学	木材・木質材料の加工及び利用について	1人	日本語能力試験N1認定以上。研究対象を客観的に論じることができる者。教員研修留学生、一般の研究生（留学生）の受入実績は無。
51008	山田利博教授	t-yamada@cc.miyazaki-u.ac.jp	平安朝散文	日本の古代文学・文化について	1人	日本語能力試験N1認定以上。日本古典が原文で或る程度理解できる者。教員研修留学生の受け入れ実績は無。一般の研究生（留学生）の受入実績は有。
51009	山元宣宏講師	n-yamamoto@cc.miyazaki-u.ac.jp	漢文学・書道	漢字を中心とした文字文化 書道史	1人	日本語能力試験N1認定以上。研究対象を客観的に論じることができる者。教員研修留学生の受け入れ実績は無。一般の研究生（留学生）の受入実績は有。



鹿児島大学 (鹿児島県)



個別的できめ細かな教育・指導を実施

◇大学紹介

○大学の概要

鹿児島大学は、九州最南端に位置する9学部、10研究科および国際島嶼教育研究センター等12の教育・研究施設を有する国立の総合大学である。教育学部は、鹿児島師範学校を前身とし、創立100年余にわたって多くの有為な人材を世に送り、地域の教育界・研究界に貢献してきた。

1994年には大学院教育学研究科（修士課程）が設置され、また1997年には「生涯教育総合課程」が新設され、幅広く活躍できる人材の育成を目指している。

気候も温暖で、年間を通して過ごしやすく、生活環境、勉学環境も整い快適な留学生活が保証されるであろう。

○国際交流の実績

・留学生数	
大学院生	167名
学部学生	57名
短期（交換）留学生	37名
研究生 他	16名

・受入実績

これまで教員研修留学生を2年に1名程度受け入れてきた。

◇教員研修コースの概要

○プログラムの特色

教員研修留学生の研修目的に応じて、教育学部の各講座における受入れ指導教員によるきめ細かな個別指導を行う。

○受入定員 3人

○研修コースの概要

- ・日本語教育

本学の留学生センターにて、教員研修留学生の日本語能力に応じて日本語予備教育を行う。日本語未習者は基本的な文型と技能の修得を目指す。また、留学生生活に対する適応力を高めるため、異文化相互理解のための留学概論を受講する。一方、日本語既習者は中級レベル以上の日本語クラスを日本語のレベルに応じて受講する。

- ・専門教育

学部及び研究科で行われる講義や演習へ参加するとともに、希望する研究テーマに応じて指導教員からの個別指導を受ける。また、教員の指導のもと研修論文を作成する。

- ・見学・地域交流等の参加型科目

分野によっては、見学実習や各種行事に参加可能である。

◇修了生へのフォローアップ

修了生へは、鹿児島大学Newsletterを送付するとともに、必要に応じ指導教員が適宜メールでも連絡を行う。また、鹿児島大学の広報活動を担う元教員研修留学生には「鹿児島大学友好大使」の任命を検討中である。

◇宿 舎

○宿舎数

- ・単身用 65室
- ・夫婦用 7室
- ・世帯用 4室

○宿舎費

- ・単身用 4,700～5,900円/月
 - ・夫婦用 9,500～11,900円/月
 - ・家族用 14,200円/月
- ※光熱費等が別に必要です。

○宿舎設備・備品

- ・設備 集会室
- ・備品 机・ベッド・クローゼット

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

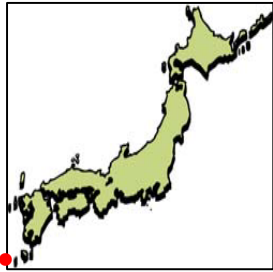
教育学部まで徒歩約20分です。

◇問い合わせ先

鹿児島県鹿児島市郡元1-21-24
鹿児島大学研究国際部国際事業課
TEL: 099-285-3015
FAX: 099-285-7328
E-mail: ryugaku2@kuas.kagoshima-u.ac.jp
URL: <http://www.kagoshima-u.ac.jp/>

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

教育学部・教育学研究科						
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件（語学能力、専門能力等）、受入実績（過去5年間の受入国、人数）
52001	小柳正司 教授	koyanagi@edu.kagoshima-u.ac.jp	教育学	道徳教育	1人	
52002	大坪治彦 教授	ohtsubo@edu.kagoshima-u.ac.jp	教育心理学	教育心理・認知心理	1人	
52003	上谷順三郎 教授	jkami@edu.kagoshima-u.ac.jp	国語教育	国語科教育	1人	
52004	梅崎 光 准教授	umezaki@edu.kagoshima-u.ac.jp	国語教育	国語学	1人	
52005	新名主健一 教授	shinmyo@edu.kagoshima-u.ac.jp	国語教育	言語教育・児童文学	1人	
52006	松清秀一 教授	matukiyo@edu.kagoshima-u.ac.jp	国語教育	書道	1人	
52007	亀井 森 准教授	turtle@edu.kagoshima-u.ac.jp	国語教育	国文学	1人	
52008	伊藤 正 教授	ito@edu.kagoshima-u.ac.jp	社会科教育	西洋史学（古代ギリシア史）	1人	
52009	磯川幸直 教授	isokawa@edu.kagoshima-u.ac.jp	数学教育	応用数学、数理モデルとコンピュータシミュレーション	1人	
52010	齊藤 祐 教授	saitoh@edu.kagoshima-u.ac.jp	音楽科教育	声楽	1人	
52011	山下 晋 教授	yamashita@edu.kagoshima-u.ac.jp	音楽科教育	ピアノ	1人	
52012	小江和樹 教授	oe@edu.kagoshima-u.ac.jp	美術教育	美術教育	1人	
52013	池川 直 教授	ikegawa@edu.kagoshima-u.ac.jp	美術教育	彫塑	1人	
52014	桶田洋明 准教授	okeda@edu.kagoshima-u.ac.jp	美術教育	油彩画、テンペラ画、アクリル画	1人	
52015	下原美保 教授	miho@edu.kagoshima-u.ac.jp	美術教育	日本美術史	1人	
52016	高岡 治 准教授	takaoka@edu.kagoshima-u.ac.jp	保健体育	運動技術の指導法	1人	
52017	中森誠一 教授	nakamori@edu.kagoshima-u.ac.jp	技術教育	信号処理、信号推定	1人	
52018	樋口晶彦 教授	higuti@edu.kagoshima-u.ac.jp	英語教育	日本におけるTEFL, ESP	1人	
52019	濱崎孔一廊 教授	hamasaki@edu.kagoshima-u.ac.jp	英語教育	英語教師のための英語学	1人	
52020	中島祥子 准教授	sachikon@edu.kagoshima-u.ac.jp	国際理解教育	日本語教育、異文化理解教育	1人	修士の学位を持たない者のみ受け入れ可 過去5年間の受入実績（韓国2名、ウクライナ1名、ウガンダ1名）



琉球大学 (沖縄県)



沖縄という地理的、文化的特性を活かしながら実践的な教育・指導を実施

◇大学紹介

○大学の概要

琉球大学は、沖縄県が米国の施政権下にあった1950年5月22日開学し、1972年5月15日の沖縄の本土復帰に伴い国立大学となりました。創設当初は、ミシガン州立大学から指導を受けており、現在も米国の大学制度の良さ伝統を保持しており、本学が現在掲げているメイン・イメージは「地域特性と国際性を併せ持つ大学」です。現在は、法文・観光産業科学・教育・理・医・工・農学部の7学部に大学院修士課程（観光科学、教育学、医学及び農学の4研究科）、大学院博士課程（人文社会科学、医学、保健学、理工学、鹿児島大学大学院連合農学研究科）、専攻科（特別支援教育特別専攻科）及び専門職学位課程（法務研究科）を加え、約8,400名の学生と約1,700名の教職員を有する総合大学となっています。

○国際交流の実績（2011年11月現在）

- ・留学生数：278人（48ヶ国）
- ・海外の大学との交流協定：69大学（27ヶ国・地域）
- ・教員研修留学生受入実績（1993～）

ミャンマー	6	タイ	4	サモア	1
中国	1	ブラジル	1	アルゼンチン	1
韓国	1	ペルー	1		

◇教員研修コースの概要

○プログラムの特色

教員研修留学生一人ひとりの研修目的に応じて、受入教員による個別指導を行う。また、現職教員が大学院生として在籍しており、教育現場についての情報を交換することができる。

○受入定員：8～9名

○研修コースの概要

- ・日本語教育：
 - ア) 日本語研修コース（原則として日本語未習者を対象）
留学生センターでは基礎的な日本語及び日本事情・文化科目が用意されており、集中的な日本語力アップを目的としたプログラムとして定評がある。
 - イ) 研究生・大学院生のための日本語クラス
留学生の希望により、日本語の授業（初級から上級）を受けることができる。
- ・専門教育：
 - ア) 配属した研究室で個々の専門分野に必要な基礎的な勉強をできるように個別指導を行う。
 - イ) 専門分野の教員の指導の下に、学部・大学院の授業科目を聴講することができる。
 - ウ) 研究の成果として研究論文を作成し、プログラムの修了時に修了証書を発行。
- ・その他
 - ア) 教育実習の場として附属小・中学校がある。
 - イ) チューター制度：学習・生活上必要なことなどを支援する。
 - ウ) 留学生祭り、パーティ等各種イベントが計画されている。

◇宿 舎

基本的に学内の宿舎を提供していますが、満室の場合は、できるだけ大学近くのアパートを紹介するなどしています。

○宿舎数

- ・単身用 46（国際交流会館）・152（学寮）
- ・夫婦用 14（国際交流会館）
- ・世帯用 12（国際交流会館）

○宿舎費

- ・単身用の場合：国際交流会館、学生寮共に月額0.5～1.5万（維持費・光熱水料費除く）

○宿舎設備・備品

- ・国際交流会館には机、いす、ベッド、書棚、台所、風呂、トイレが備え付けてあります。
- ・学生寮には机、いす、ベッド、書棚はありますが、台所、風呂、トイレは共同（一部新棟に完備）で使用となります。

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

- ・国際交流会館、学生寮ともキャンパス内にあるので非常に便利です。周辺には病院、公共施設、スーパーなどもあります。

◇問い合わせ先

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
琉球大学学術国際部国際課
TEL: 098-895-8103 FAX: 098-895-8102
E-mail: koshogak@to.jim.u-ryukyuu.ac.jp
Website: <http://www.u-ryukyuu.ac.jp>

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

教育学研究科・教育学部						
コースコード	教員名	メールアドレス	分野	研修の内容	受入可能数	当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)
53001	米盛 徳市 教授	yonemori@edu.u-ryukyu.ac.jp	教育工学	初等教育現場におけるコンピューターを使った教材利用及び手法の開発	1人	英語の読解・会話が可能、アルゼンチン1名(2010年)
53002	大城 賢 教授	koshiro@edu.u-ryukyu.ac.jp	英語教育	日本における小学校の英語教育	1人	小学校の教員で英語による指導が可能、ミャンマー1名(2007年)
53003	清水 洋一 教授	shimv@edu.u-ryukyu.ac.jp	機械工学、エネルギー・環境教育	機械工学の基礎、計測技術、エネルギー・環境教育の教材及びカリキュラム開発	1人	機械工学の基礎知識を十分に有する者、英語による指導が可能
53004	福田 英昭 教授	fukudah@edu.u-ryukyu.ac.jp	技術教育又は木材加工学	技術教育のカリキュラム開発、木材加工機械のマニュアル作成	1人	技術教育の基礎知識を十分に有する者、英語による指導が可能
53005	小林 豊 准教授	ppp@p.nifty.jp	美術、環境アート	学校及び地域コミュニティと連携した環境アート及びエコロジカルアートプロジェクトの企画、実践	1~2人	英語又は、日本語によるコミュニケーション能力必須